

# **取扱説明書**

パブリックディスプレイ

**MultiSync M431**

**MultiSync M491**

**MultiSync M551**

**MultiSync M651**

MODEL: M431, M491, M551, M651

# 目次

ご使用の前に .....	1	安全のために必ず守ること .....	2
--------------	---	--------------------	---

## 1 章 設置

設置の概要 .....	11	取り付け場所について .....	17
設置（お客様へ）.....	14	取り付け向きについて .....	18
転倒防止のために.....	14	据付条件 .....	18
ロゴオーナーメント位置の変更 .....	15	壁掛け用や天吊り用として使用する場合 .....	19
設置（設置業者様へ）.....	16	別売の自立スタンドを使用する場合 .....	20

## 2 章 各部の名称

コントロールパネル .....	23	リモコン .....	26
ターミナルパネル .....	24		

## 3 章 接続

配線図 .....	29	内部映像ソース .....	34
コンピューターとの接続 .....	30	メディアプレーヤー .....	34
HDMI 出力端子のある機器との接続 .....	31	本機で利用できるオプションボード .....	34
HDMI-CEC 対応コマンド .....	33	USB 機器との接続 .....	35

## 4 章 基本操作

電源オンモードと電源オフモード .....	37	ピクチャーモードの切り替え .....	39
リモコンの使用範囲 .....	38	アスペクト変更 .....	40
パワーマネージメント機能 .....	38	画面調節（OSD 機能） .....	41
インフォメーション .....	39	メディアプレーヤーメニューの使い方 .....	43
Plug&Play 機能（DisplayPort および HDMI） .....	39	メディアプレーヤーメニュー .....	43

## 5 章 高度な操作

電源スケジュールの作成 .....	47	パスワードによるセキュリティー .....	50
ピクチャーモードの使い方 .....	48	ボタン操作のロック .....	51
セキュリティー設定とボタン操作のロック .....	49	リモコン ID モード機能について .....	53

## 6 章 外部制御

RS-232C 経由でのディスプレイ制御 .....	55	コマンド .....	63
LAN 経由でのディスプレイ制御 .....	56	Proof of Play 機能 .....	64
HTTP を使用したブラウザー によるネットワークの設定 .....	57		

## 7 章 困ったとき

故障かな?と思ったら… .....	66	その他 (リモコン、スピーカー) .....	68
表示されないときは… .....	66	その他 (RS-232C または LAN で接続している) .....	69
表示がおかしいときは… .....	67	メディアプレーヤーを使用するとき .....	69
案内画面/注意画面が表示されたら… .....	68	映像機器を使用するとき .....	69
その他 (コンピューターと接続している場合) .....	68		

## 8 章 仕様

対応信号一覧 .....	71	M551 .....	74
M431 .....	72	M651 .....	75
M491 .....	73		

## 付録 A 商標・ライセンスについて

## 付録 B 外部のリソース

## 付録 C OSD 調節リスト

入力 .....	79	スロット .....	87
映像設定 .....	81	ネットワーク .....	88
音声設定 .....	85	保護設定 .....	89
スケジュール .....	86	システム .....	92

## 付録 D その他

本機を廃棄するには (リサイクルに関する情報) .....	95	保証とアフターサービス .....	95
-------------------------------	----	-------------------	----

# ご使用の前に

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI - B

## お知らせ

VCCIに関するご説明文中で、「この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、」という記述をしておりますが、これは本機が VCCI クラス B というより厳しい基準に適合させていることから、協議会から指定された文章を記述したものであり、本機は住宅環境での使用を目的とはしておりません。

## 注意

添付のケーブルを使用してください。

USB、はシールドタイプでコア付きケーブルを使用してください。HDMI、DisplayPort はシールドタイプを使用してください。これ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

本商品は社団法人電子情報技術産業協会が定めた「表示装置の静電気に関するガイドライン」に適合しています。



グリーンマーク

JIS C 0950 (通称 J-Moss) とは、電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法を規定した日本工業規格です。特定の化学物質（鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE）の含有状況により、次の2種類の表示マークがあります。

- ・含有マーク： 特定の化学物質が含有率基準値を超える製品に付与するマーク
- ・グリーンマーク： 同化学物質が含有率基準値以下（但し除外項目あり）である製品にメーカーが任意で表示することができるマーク

本製品に表示されているマークは、グリーンマークです。

製品の情報は、<https://www.nec-display.com/jp/environment/j-moss.html> をご覧ください。

## お知らせ 液晶ディスプレイに関するご注意

液晶ディスプレイは、精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットが見えることがあります。これは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。本製品のドット抜けの割合は、0.000033 % (M431)、0.000037 % (M491)、0.000045 % (M551)、0.000049 % (M651) 以下です。

本製品は、ISO9241-307 基準に従い、ドット抜けの割合基準値は 1 サブピクセル（副画素）単位で計算しております。



【注】 一般的な言い方として「画素」を「ドット」という言葉で表現しておりますが、ISO9241-307 に従い、正確に表現すると、「画素」は「ピクセル (pixel)」、「ドット」は「副画素」とも呼ばれ「サブピクセル (sub pixels)」となります。つまり、「画素」は実体のある副画素と言われる発光する点から構成され、「副画素」は、画素に色または階調を与えるもので、一つの画素内で個別に処理される分割された画素内部構造を示します。

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本書に記載されている画像およびイラストは参考用のため、実際と異なる場合があります。
- (5) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項および（4）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (6) 本書はすべての地域に共通して提供されるため、他の国に関する記載を含む場合があります。




# 安全のために必ず守ること

この取扱説明書に使用している表示と意味は次のようになっています。

誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。



図記号の意味は次のとおりです。

	⚠ 記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	🚫 記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

●ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。



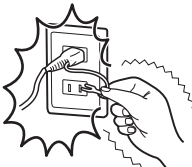






## 警告

1	 プラグを抜く	<b>故障したときは電源プラグを抜く</b> 本機から煙が出ている、変なにおいがする、変な音がする場合や、本機を落としたりキャビネットを破損した場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となるだけでなく、視力障害の原因になります。 販売店に修理をご依頼ください。 お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
2	  分解禁止  修理・改造禁止	<b>裏ぶたを外さない、修理・改造をしない</b> 内部には電圧の高い部分があり、さわるとけが・火災・感電の原因となります。 修理の場合は販売店へお問い合わせください。
3	 使用禁止	<b>ぐらつく、またはスタンド部にひびや亀裂がある場合は近づかない</b> 本機が転倒してけがの原因となることがあります。 お買い上げの販売店か、工事専門業者にご連絡ください。
4	 傷つけ禁止	<b>電源コードを傷つけない</b> 電源コードは大切に扱ってください。 コードが破損すると、火災・感電の原因となります。 <ul style="list-style-type: none"><li>・コードの上に重い物をのせない</li><li>・コードを本機の下敷きにしない</li><li>・コードの上を敷物などで覆わない</li><li>・コードを傷つけない、加工しない</li><li>・コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない</li><li>・コードを加熱しない</li></ul>  <p>下敷き コードをひっぱる やぶれ 熱器具のそば</p> 電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。
5	 接触禁止	<b>雷が鳴り出したら、電源コードなどには触れない</b> 雷が鳴り出したら電源コードなどには触れないでください。感電の原因となります。
6	 禁止	<b>添付されているもの以外の電源コードは使用しない</b> 本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用できません。



## 警告

7	 指示	<p><b>正しい電源電圧で使用する</b></p> <p>日本国内専用です。</p> <p>指定の電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。</p> <p>一般のご家庭のコンセント（AC100 V）でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100 V 以外で使用しないでください。</p>
8	 禁止	<p><b>アース線を挿入・接触しない</b></p> <p>電源コードのアース線を電源コンセントに挿入・接触させると火災・感電の原因となります。</p> 
9	 指示	<p><b>据え付け、取り付けは必ず工事専門業者または販売店に依頼する</b></p> <p>工事が不完全ですと重大事故の原因となります。</p>
10	 設置禁止   禁止   屋外での使用禁止	<p><b>設置するときに気を付けること</b></p> <p>本機はスタンドなどの取り付け器具なしで設置、運用することはできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ M491/M551/M651：自立スタンドを使用する場合は、床置きしないでください。机などに置いて使用するか、壁掛け金具をご使用ください。</li> </ul> <p>移動や設置の際は十分な安全を確保できる人数（M431/M491/M551 は必ず 2 人以上、M651 は必ず 4 人以上）でおこなってください。</p> <p>落下してけがの原因となることがあります。</p> <p>市販の取り付け器具を使用する際は、器具の取扱説明書を参照し、取り付け、取り外し方法の詳細を確認してください。</p> <p>布などで通風口をふさがないでください。</p> <p>風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因となることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 換気の悪い場所</li> <li>・ 直射日光や熱器具のそば</li> <li>・ 振動の多い所</li> <li>・ 湿気、ほこり、湯煙、湯気の当たる所</li> <li>・ 屋外</li> <li>・ 温度、湿度が急激に変化し結露ができやすい環境 結露が起きたときには、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。</li> <li>・ 本機と取付金具の総重量を恒久的に十分に保持できない場所 荷重は必ず梁などの堅牢な構造材で受けるようにし、確実に取り付けてください。強度が不十分なところに設置すると、落下して重大事項の原因となることがあります。</li> <li>・ 人が容易にぶら下がったり、寄りかけられるような場所、頭や目がぶつかってしまうような場所。</li> </ul> <p>上下逆さまに設置しないでください。</p>



## 警告



使用禁止

### 地震等での製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策をおこなう

取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものです。すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

固定しないと転倒してけがの原因となることがあります。

- ・ 丈夫なロープを用いて本機を固定する  
固定には本機またはスタンドに付属のクランプとネジ（M4）で本機にしっかりと締め付けてください。スタンドによってはスタンド側に転倒防止対策が施されている場合があります。スタンドの取扱説明書も参照ください。
- ・ 本機を十分保持できる壁や柱などに、しっかりと固定する。
- ・ ロープは本機の重さに耐えられる丈夫なものを使用する。
- ・ 本機を移動する場合は、事前にロープを取り外す。

落下すると重大事故の原因となることがあります。

- ・ 落下防止用ワイヤーのみでの壁掛け設置・天吊り設置は絶対におこなわないでください。
- ・ 建物や構造物の丈夫な箇所と本機の所定の箇所を市販のフック、金具などを用いて落下防止用ワイヤーで接続してください。
- ・ 市販のフック、金具、ワイヤーは本機を保持するのに十分強度のある物をご使用ください。
- ・ 落下防止用ワイヤーは少したるませるように設置してください。

### 安定性と危険について

本機が落下すると重大事故の原因となる恐れがあります。けがなどの危害を軽減するために、本機を設置する際は取扱説明書の手順に従い、床や壁に確実に取り付けてください。

特にお子様に関する事故の多くは簡単な方法で防ぐことができます。







- ・ 推奨されているスタンドを使用し、取扱説明書の手順に従って取り付けてください。
- ・ 本機を安全に支えることができる家具に設置してください。
- ・ 本機がはみださない大きさの家具に設置してください。
- ・ 本機にさわろうとして設置している家具に登ったりすると危険であることをお子様に説明してください。
- ・ 本機に接続するコードやケーブルは、つまずかないように、また引っ張ったりつかんだりできないように配線してください。
- ・ 本機を不安定な場所に設置しないでください。
- ・ 本機を背の高い家具に設置する場合は、本機と家具、家具と壁や柱など、それぞれをしっかりと固定してください。
- ・ 本機の下に布などを敷かないでください。
- ・ 本機や設置している家具の上に、お子様の興味を引くようなもの（玩具やリモコンなど）は置かないでください。

設置場所を変える場合は、上記をふまえ設置してください。











## 警告

12	 禁止	<b>傾斜面や不安定な場所に置かない</b> 落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。
13	  禁止	<b>異物をいれない</b> 火災・感電の原因となります。 特にお子様にご注意ください。
14	 水ぬれ禁止	<b>水のかかるところに置かない</b> 水などが本機の内部に入った場合はすぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・火災・感電などの原因となります。
15	 禁止	<b>清掃時に気を付けること</b> 付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。 火災の原因となります。
16	 禁止	<b>オプションボードをしっかりと固定する</b> オプションボードは取り外したネジを使用し、しっかりと固定してください。固定せずに使用すると、落下して重大事故の原因となります。

## ⚠ 注意

<div>1</div> <div>             プラグを持つ         </div> <div>             プラグを抜く         </div> <div>             しっかり 差し込む         </div> <div>             めれ手禁止         </div> <div>             禁止         </div> <div>             ほこりを取る         </div> <div>             アース線を 接続せよ         </div>	<p><b>電源コードは注意して取り扱う</b>            電源コードが破損すると、火災・感電の原因となることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電源プラグを奥までさしこむ</li> <li>電源コードが容易に抜けるのを防止する 電源コードを本機付属のクランプとネジで固定してください（締付トルク 120 ～ 190 N・cm）</li> <li>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</li> <li>電源コードの抜き差しはプラグ部分を持っておこなう</li> <li>お手入れの際は電源プラグを抜く</li> <li>電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く</li> <li>電源コードやケーブル類をつけたまま移動しない</li> <li>長期間の旅行、外出のときは電源プラグを抜く</li> <li>機器のアース線は確実に接続する 本機は電源コードのアース線をアースに接続することを前提に設計されているアース線つき 2 芯プラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードのアース線を、コンセントのアース端子に接続し、機器のアースを確実に接続してご使用ください。アースに接続しないと感電するおそれがあります。アース工事は専門業者にご依頼ください。アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前におこなってください。また、アース線を外す場合は、必ず電源コンセントから抜いてからおこなってください。</li> </ul> 
<div>2</div> <div>             禁止         </div>	<p><b>電源コードおよび USB ケーブルは束ねず（丸めず）使用する</b>            ケーブルが発熱して火災の原因となるおそれがあります。</p>
<div>3</div> <div>             設置禁止         </div>	<p><b>過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない</b>            本機の LAN ポートは、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。LAN ポートに過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。</p>
<div>4</div> <div>             禁止         </div>	<p><b>本機を設置している台には乗らない</b>            置き台には乗らないでください。また、キャスター付き置き台に本機を設置する場合は、必ずキャスター止めをしてください。本機が倒れたり、置き台が動いたりしてけがの原因となることがあります。</p>
<div>5</div> <div>             ケガに注意         </div> <div>             手の挟みこみに注意         </div>	<p><b>スタンドの取り付けや高さを調節する場合</b>            スタンド取り付け時、本機とスタンドの間に手や指をはさむとけがの原因となることがあります。            高さ調節が可能なスタンドは指定された位置に固定してください。誤った位置に本機を固定すると転倒してけがの原因となる恐れがあります。</p>

## ! 注意

6	 禁止	<b>本機を強く押さない、乗らない、つかまない、ぶら下がない</b> 破損して火災、感電、けがの原因となることがあります。
7	 禁止	<b>液晶パネルに衝撃を加えない</b> 破損してけがや故障の原因となることがあります。
8	 禁止	<b>乾電池は適切に取り扱う</b> 乾電池は誤った使い方をすると液もれや破裂によるけがの原因となることがあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>乾電池のプラスとマイナスを、表示のとおり正しく入れる</li> <li>乾電池は種類によって特性が異なるため、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない</li> <li>新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない 新しい乾電池の寿命を短くしたり、また、古い乾電池から液がもれるおそれがあります。</li> <li>乾電池が使えなくなったら、すぐに取り出す 液がもれて故障の原因となるおそれがあります。 また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。</li> <li>乾電池を焼却、加熱、器具での押しつぶし、切断をすると、破裂の恐れがあります。</li> <li>高温になる場所や気圧の低い場所に放置すると、破裂したり乾電池から可燃性の液やガスが漏れる可能性があります。</li> <li>乾電池を廃棄する際は、販売店、または自治体に問い合わせてください。</li> </ul>
9	 指示	<b>適度な明るさの環境で使用する</b> 画面の反射による目の疲れを防ぐために、適度な明るさの中でご使用ください。
10	 通気口の掃除	<b>キャビネットの通気口を掃除する</b> キャビネットの通気口がごみやほこりでふさがると内部に熱がこもり火災や感電の原因となることがあります。1年に一度はキャビネットの通気口を掃除してください。 特に冷却ファンを動作させて使用する場合は、通気口にごみやほこりが付着しやすくなりますので、月に一度以上は、通気口を掃除してください。
11	 内部掃除	<b>1年に一度は内部掃除を</b> 内部にほこりがたまったらそのまま使うと、内部に熱がこもり火災や故障の原因となることがあります。内部掃除は販売店にご依頼ください。

## ディスプレイの上手な使い方



国内専用

### 日本国内専用です

この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。  
日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。  
またこの商品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。

This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.



For use in Japan only



プラグを抜く

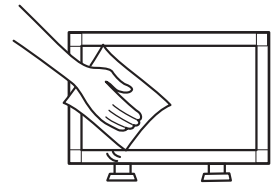
### キャビネットのお手入れ

お手入れの際は電源プラグを抜いてください。柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには水でうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。  
ベンジンやシンナー、アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、ガラスクリーナー、ワックス、研磨クリーナー、粉石鹼などでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質・ひび割れしたり、塗装がはげる原因となることがあります。(化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。) また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。キャビネットおよびスタンドが変色したり、変質・ひび割れるなどの原因となることがあります。



### 液晶パネルのお手入れ

パネル表面は傷つきやすいので、硬いもので押したりこすったりしないように、取り扱いには十分注意してください。パネル表面は触指などにより汚れることのないようにご注意ください。パネル表面が汚れた場合には、乾いた布で軽くふき取ってください。またきれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用はお避けください。



### 上手な見方

明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。  
また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。

### 部品寿命による影響

保証期間を超えて長くご使用した場合、部品劣化によるリスクが高まりますので、製品の買い替えのご検討をお願いします。

# 1 章 設置

## この章の内容：

- ⇒ 設置の概要（11 ページ）
- ⇒ 設置（お客様へ）（14 ページ）
- ⇒ 転倒防止のために（14 ページ）
- ⇒ ロゴオーナメント位置の変更（15 ページ）
- ⇒ 設置（設置業者様へ）（16 ページ）
- ⇒ 取り付け場所について（17 ページ）
- ⇒ 取り付け向きについて（18 ページ）
- ⇒ 据付条件（18 ページ）
- ⇒ 壁掛け用や天吊り用として使用する場合（19 ページ）
- ⇒ 別売の自立スタンドを使用する場合（20 ページ）

## お知らせ

お買い上げいただいたときに同梱されている付属品は付属品シートを参照ください。  
不適切な設置に起因する損傷は、保証書の対象範囲外です。

# 設置の概要

## 1. 設置する場所を決める

**⚠ 警告** 警告 9、警告 10、警告 11 を参照ください。

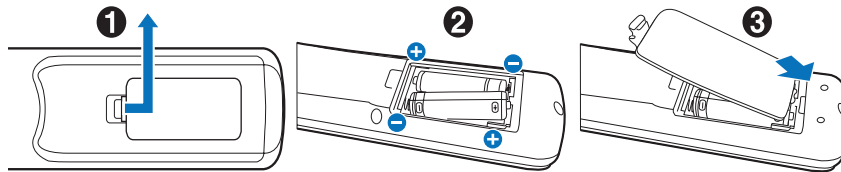
### お願い

スタンドや取付金具などを取り付けるときは、液晶パネルに引っかき傷を付けないよう、本機の下にマットや毛布など柔らかいものを敷いてディスプレイを置いてください。

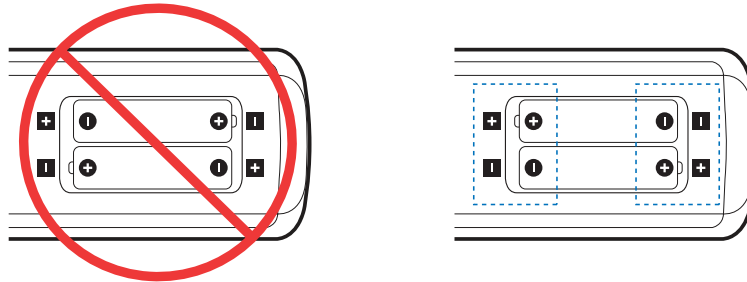
## 2. リモコンに電池を入れる

単 4 形乾電池 2 つが必要です。

下図に従って電池を入れてください。



**⚠ 注意** 注意 8 を参照ください。



### お願い

- ・リモコンに付属の乾電池は保存状態により短時間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- ・長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出して保管してください。

## 3. 外部機器を接続する

- ・接続する外部機器を保護するため、接続の際には主電源を切ってください。
- ・接続する機器のそれぞれの取扱説明書に従って接続してください。

### お願い

本機または外部機器の主電源がオンの場合、ケーブルの抜き差しはおこなわないでください。

## 4. 電源を接続する

### お願い

電源コンセントに接続するときは、本機の使用に十分な電力が供給されることを確認してください。本機の使用電力は「仕様」を参照ください。

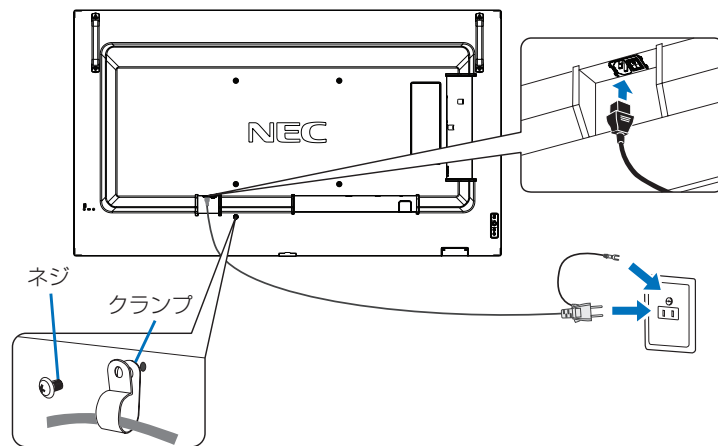
### お願い

電源コードは本機に接続してから電源コンセントに接続してください。

1. 電源コードの一方の端を、本体の電源入力コネクタに差し込む。  
奥までしっかり差し込んでください。

**⚠ 注意** 注意 1 を参照ください。

2. アース線を（アースに）接続。
3. 電源プラグを AC100 V 電源コンセントに接続する。



**⚠ 警告** 警告 7、警告 8 を参照ください。

### お願い

電源コンセント周辺は、電源プラグの抜き差しが容易なようにしておいてください。

## 5. ケーブル情報

### 注意

添付のケーブルを使用してください。

USB はシールドタイプでコア付きケーブルを使用してください。HDMI、DisplayPort、はシールドタイプを使用してください。これ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。

## 6. 主電源スイッチをオンにする

本機の電源を入れてから、コンピューターや映像機器の主電源を入れる。

## 7. 接続した外部機器を操作する

接続した外部機器に対応する入力信号を選択して、外部機器からの映像をディスプレイに表示します。

## 8. 音声の調節をおこなう

必要に応じて音量を調節してください。


## 9. 画面の調節をおこなう

- DisplayPort 入力コネクタ使用の場合は、信号の情報により自動的に設定をおこなうため画面の調節は不要です。
- VIDEO 系の入力端子 (HDMI1、HDMI2、Media Player) の場合は、調節は不要です。
- HDMI 入力コネクタ使用の場合は、OSD メニューの「入力」→「アドバンスト」→「HDMI」で「設定 1」または「設定 2」から適切な設定を選んでください。

## 10. 長くお使いいただくために

ディスプレイに使用しているバックライトには寿命があり、バックライトの明るさは使用時間に応じて低下します。また、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る「残像」という現象が発生する場合があります。

残像は画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなります。本機を長くご使用いただくために、次の点にご注意ください。

- 使用していないときは本機の主電源を切ってください。
- 本体の  ボタンまたはリモコンの STANDBY ボタンで本機をスタンバイ状態にしてください。
- OSD メニューの「保護設定」→「パワーセーブ設定」を使用してください。信号が入力されないときに自動的にパワーセーブモードに切り替わります。
- 液晶パネルにかかる負担を軽減するため、OSD メニューの「保護設定」→「スクリーンセーバー」を使用してください。
- 本体のパネル表面にガラスやアクリル製の保護カバーをかぶせると、パネル表面が密閉され内部温度が上昇します。スクリーンセーバー、コンピューターのパワーマネジメント機能を利用したり、ディスプレイの輝度を低くするなどして内部温度の上昇を防いでください。
- OSD メニューの「スケジュール」を使用して、使用する時間に合わせて自動的に電源をオンまたはスタンバイ状態にしてください。

### **お願い**

スケジュール機能を使用する場合は必ず OSD メニューの「システム」→「日付 / 時刻設定」の設定をおこなってください。



## 設置（お客様へ）

**⚠ 警告** 警告 9、警告 10 を参照ください。

設置業者の紹介につきましては、販売店へご相談ください。壁掛けや天吊り設置に関する設置業者との契約につきましてはお客様の責任においておこなってください。

### 設置後のメンテナンス

- ねじのゆるみや部品のずれ・ゆがみなど異常や不具合が発見された場合には、すぐに工事専門業者または販売店に修理を依頼してください。
- 環境によっては経年変化で取り付け部などの強度が不足するおそれがあります。定期的に工事専門業者に点検を依頼し、メンテナンスをおこなってください。

なお、据え付け・取り付けの不備、誤使用、改造、天災などによる事故損害については、当社は一切責任を負いません。設置の依頼にあたっては「設置（設置業者様へ）」の注意点を設置業者にご提示ください。

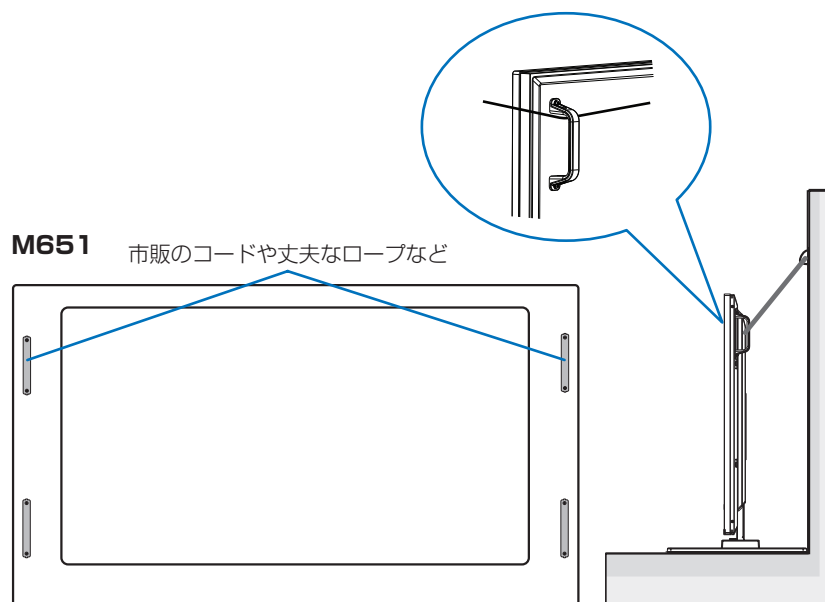
### 冷却ファン

ケース内の設置や、液晶画面の表面にアクリル板などをつけてご使用になる場合は必要に応じて冷却ファンの動作設定を変更してください。OSD メニューの「保護設定」→「温度管理」→「ファン制御」で冷却ファンを常時動作するように設定することもできます。

## 転倒防止のために

**⚠ 警告** 警告 10、警告 11 を参照ください。

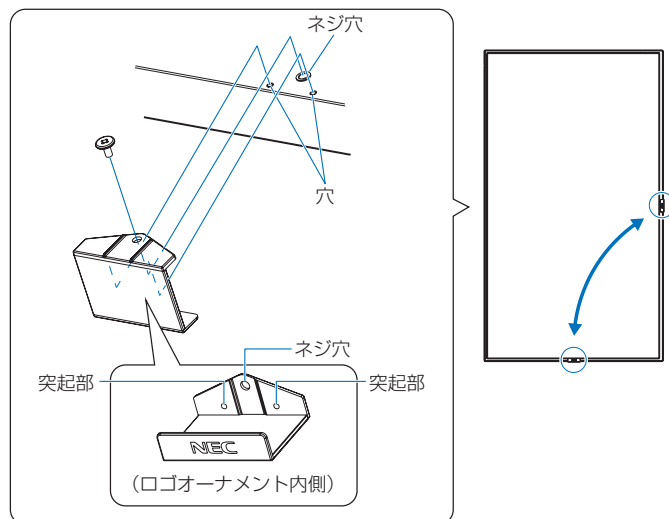
- M431、M491、M551 の転倒防止対策についてはオプションスタンドの取扱説明書を参照ください。



## ロゴオーナメント位置の変更

### 取り外し方法：

ロゴオーナメントを固定しているネジを外し、ロゴオーナメントを取り外します。



### 取り付け方法：

取り外したネジでロゴオーナメントを固定します。

ネジで固定する際はロゴオーナメント内側の突起部分をディスプレイ側面にある小さい穴に合わせます。ロゴオーナメントのネジ穴とディスプレイ側面にあるネジ穴が合っていることを確認し、ネジをまっすぐ取り付けてください。

(締付トルク 30 ～ 40N・cm)

### お願い

- 取り外したネジ以外は使用しないでください。

# 設置（設置業者様へ）

壁や天井に本機を設置する際には、本機および金具類などの重量を支えるのに十分な強度があることを確認してください。本機の質量は「仕様」を参照ください。

誤った設置、改造、自然災害による損傷につきましては、保証の対象範囲外です。

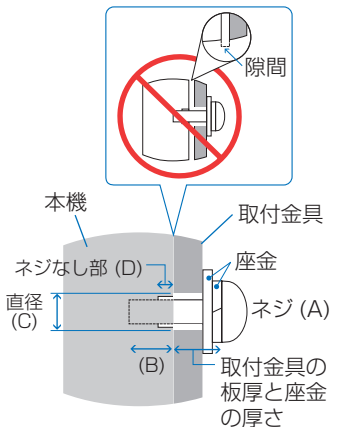
以上の推奨事項に従わなかった場合、保証書は無効になることがあります。

通風口を取付金具などの器具でふさがないようにご注意ください。

## ■ 取付金具について

**警告** 「安全のために必ず守ること」を参照ください。

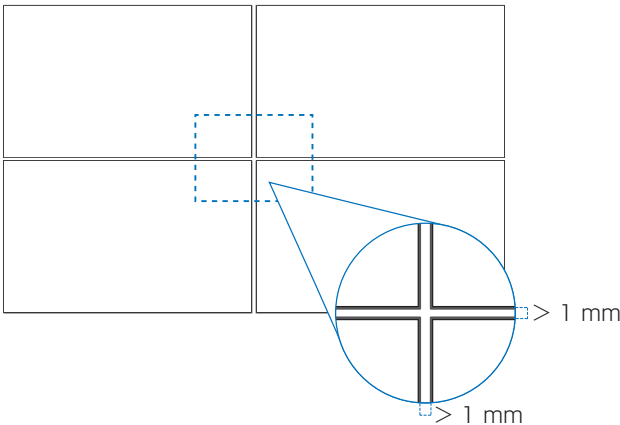
- 市販品は必ず VESA 規格に準拠した取付金具を使用してください。
- 金具取り付け面の強度を十分確認して設置してください。
- 市販の取付金具は、本機を支えるのに十分なものを選んでください。
- 取り付け前に、強度など安全性の確認をおこなってください。
- 金具の一部がディスプレイの通風口をふさがないようにご注意ください。
- 取り付け方法、安全な設置方法の詳細は、市販の取付金具の取扱説明書を参照ください。
- 取付穴は背面に 4 個あります。取り付けの際は上下左右均等に取り付けてください。（推奨取り付け例は「壁掛け用や天吊り用として使用する場合」を参照ください）
- ディスプレイへの金具の取り付けには以下のサイズのネジを使用し、しっかりと締めてください。



	ネジサイズ		ネジ穴直径 (C)	ネジなし部 (D)	締付トルク
	(A)	(B)			
M431	M6	10 ~ 12 mm	+ 取付金具の板厚と座金の厚さ	≤ Ø 8.5 mm	390 ~ 670 N・cm
M491					
M551					
M651	M8	16 ~ 18 mm	≤ Ø 12 mm	5.0 mm	950 ~ 1600 N・cm

## お願い

ディスプレイをマルチスクリーン構成で設置し長時間使用した場合、本機の内部温度の変化によりディスプレイが若干膨張することがあります。隣り合うディスプレイとの間に 1 mm 以上の隙間をあけて設置されることをおすすめします。



## ■ 落下防止対応のお願い

ディスプレイを壁掛けや天吊りで設置する場合は、市販の壁掛け・天吊り金具を使用し、さらに落下防止用ワイヤーを設置してください。

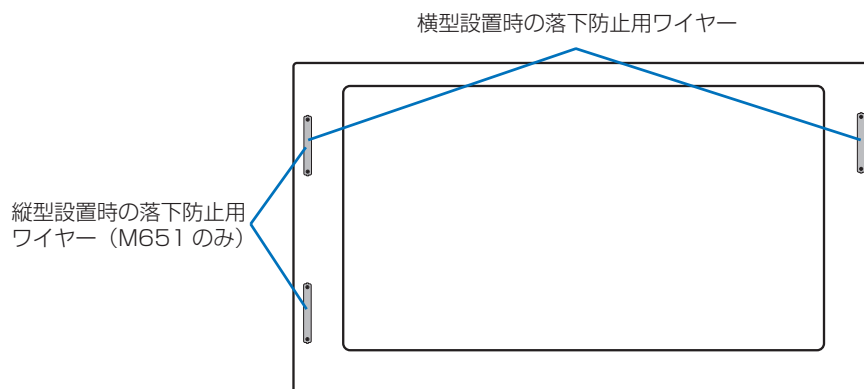
**⚠ 警告** 警告 11 を参照ください。

**⚠ 注意** 注意 7 を参照ください。

本体のハンドルに落下防止用ワイヤーを取り付ける場合は下図で示したハンドル位置を使用してください。  
(締付トルク 120 ~ 190 N・cm)

## ■ 落下防止用ワイヤー取り付け可能ハンドル位置

落下防止用ワイヤーは下図で示したハンドルを使用して取り付けてください。



## 取り付け場所について

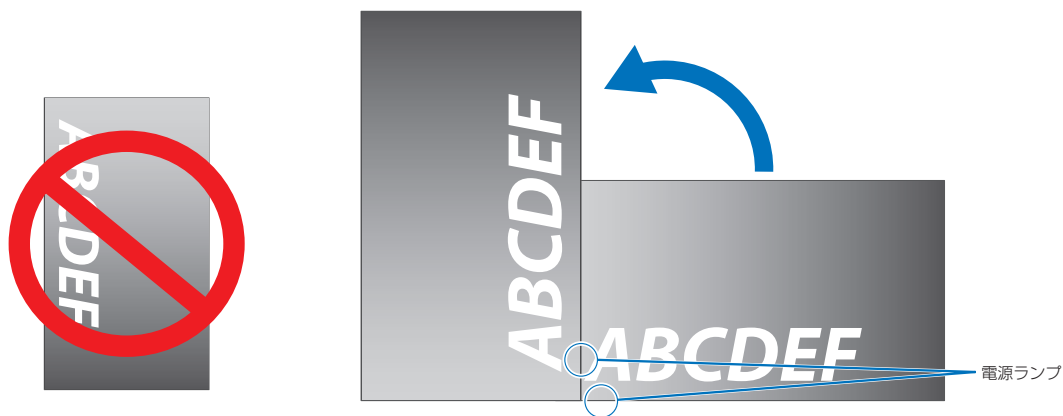
**⚠ 警告** 警告 10 を参照ください。

### お願い

設置の場所や状態によって本機内部に熱がこもらないように、空調や通風には十分配慮してください。

## 取り付け向きについて

本機を縦型設置で使用するときは、必ず正面から見て右側面を上側に、左側面が下側になるよう反時計回りに回転してください。誤った向きに設置すると、本体内部に熱がこもることがありディスプレイの寿命が縮む可能性があります。上下逆さまでの設置はできません。

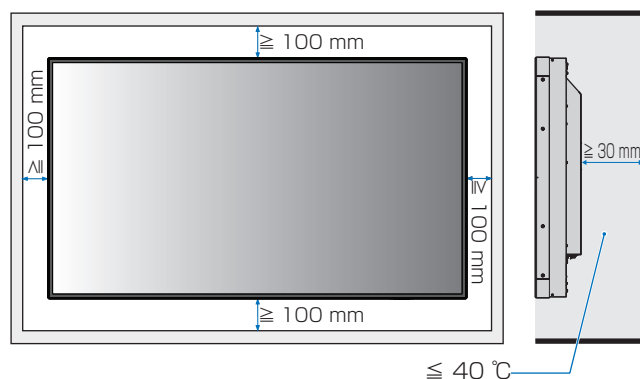


**警告** 警告 10 を参照ください。



## 据付条件

熱がこもるのを防ぐため、狭い場所（壁埋め込みなど）に設置する場合は、ディスプレイの周囲は下図のように壁から離してください。



### お知らせ

本機の使用環境温度の最大値は 40 °C です。  
本機は温度センサーを内蔵しています。

### お願い

内部温度が高温になると「警告」が表示されます。「警告」が表示されたら本機の使用を中止して電源を切り、温度が下がるのを待ってください。

本機をケースなどの中でお使いの場合、あるいは液晶パネルの表面をアクリル板などで覆っている場合は、本機の周囲温度をチェックしてください。周囲温度が本機の動作温度を上回ったときは、OSD メニューの「ファン制御」（90 ページ参照）により冷却ファンを「オン」にしてください。

## 壁掛け用や天吊り用として使用する場合

### ■ 壁掛け・天吊り時の注意事項

**⚠ 警告** 警告 11 を参照ください。

壁掛け・天吊りの設置をする前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

- 壁や天井の構造や強度により取り付けできない場合がありますので、取り付け場所については工事専門業者または販売店にご確認ください。

### ■ 設置方法

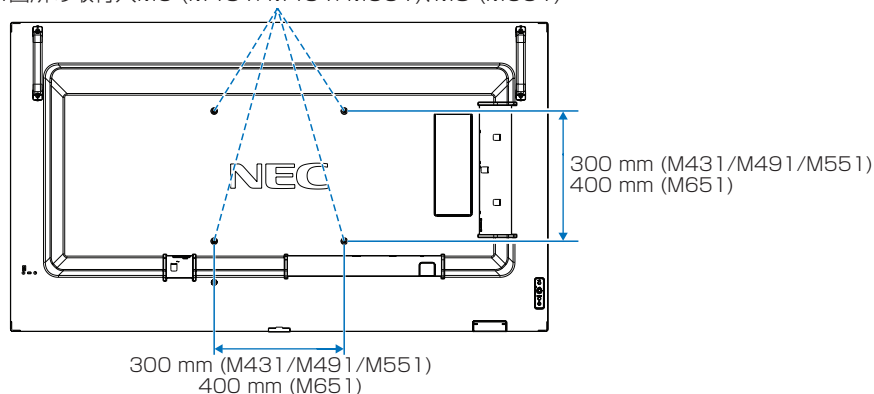
**⚠ 警告** 警告 10 を参照ください。

- 机の上のような平らな場所にマットや毛布など柔らかいものを敷きます。

#### お願い

- 必ずディスプレイより大きい場所の上に置いてください。
  - 取り付け時に、本機に手を置いたり、力をかけたりしないでください。ディスプレイが変形するおそれがあります。
- ディスプレイをその上に置きます。
  - 市販の取付金具を取り付けてください。

4箇所の取付穴M6 (M431/M491/M551)、M8 (M651)



## 別売の自立スタンドを使用する場合

### ■ 自立スタンドの取り付け

**警告** 警告 10 を参照ください。

**注意** 注意 5 を参照ください。

本機をマットや毛布など柔らかいものを敷いた上にディスプレイをパネル面が下になるように置いてください。

スタンドの取り付けにはスタンドの取扱説明書を良くお読みください。

M431、M491、および M551 には、ST-401/ST-43M を使用します。M651 には、ST-65M を使用します。

ST-401 または ST-43M をご使用の場合は、スタンドに付属のネジをお使いください。

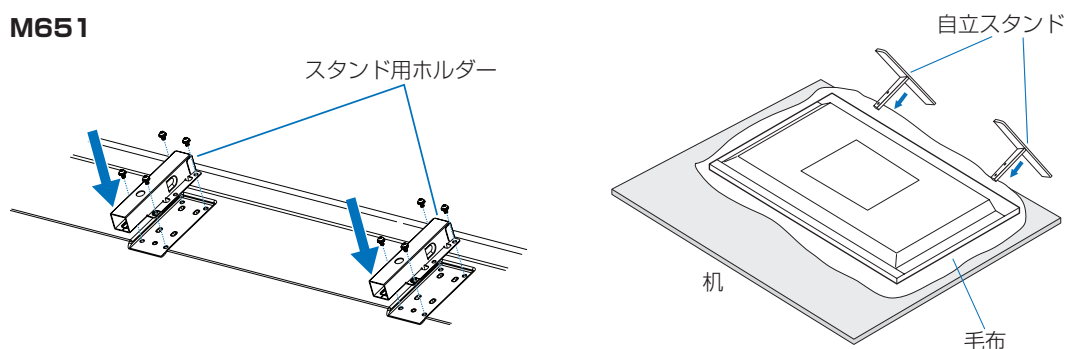
ST-65M をご使用の場合は、スタンドに付属の自立スタンド摘み付きネジを使用し、スタンド用ホルダーを取り付けてお使いください。

### お知らせ

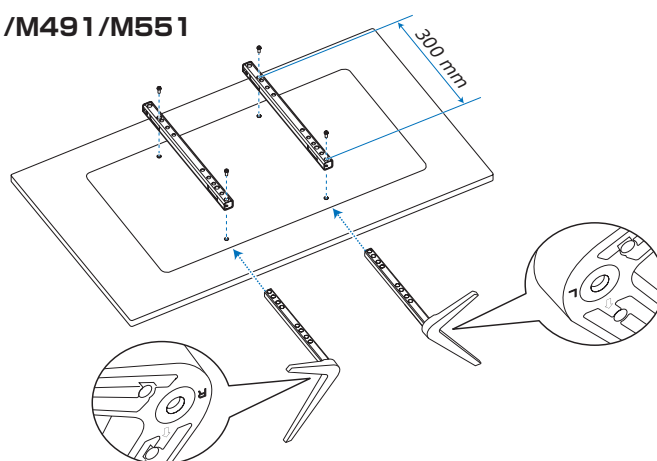
横型設置のみ対応です。

M431 M491 M551	ST-401 または ST-43M (ネジ付属)
M651	ST-65M (摘み付きネジ、ネジ、スタンドホルダー付属)

#### M651



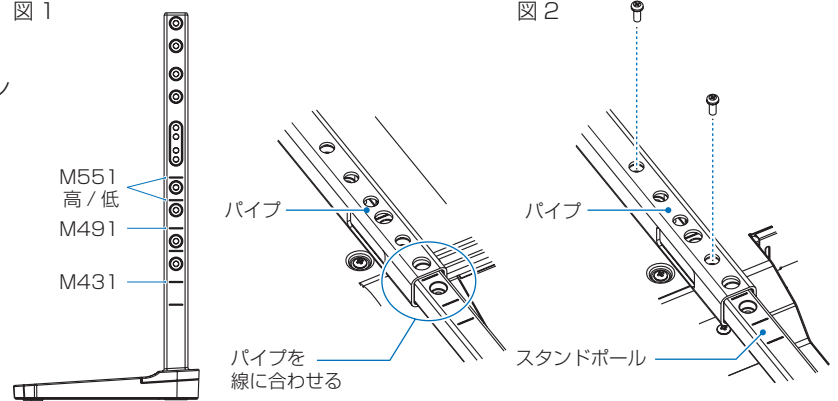
#### M431/M491/M551



## ■ スタンドの高さを調節する場合 (M551)

1. パイプ下部をスタンドボールの高または低い線に合わせ、設置高さを決めます。(図 1)
2. 高さを決めたらスタンドに付属のネジでスタンドボールを 2 箇所固定します。  
スタンドボールは必ず 2 箇所を固定してください。(図 2)

**⚠ 注意** 注意 5 参照ください。



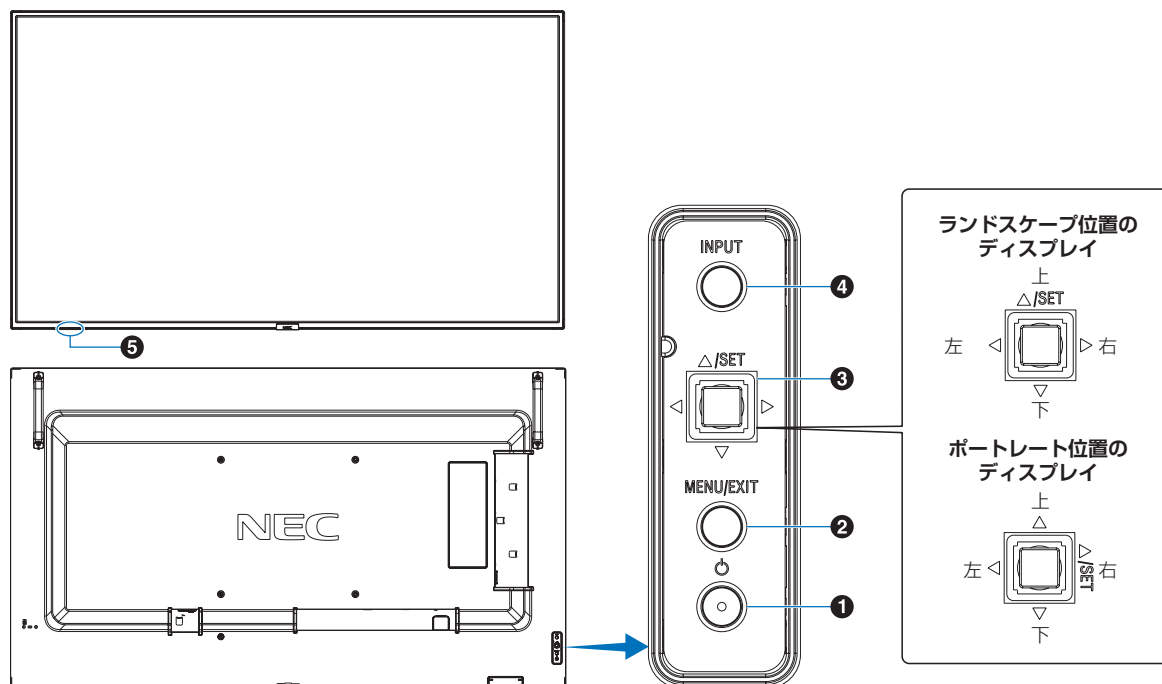


## 2 章 各部の名称

この章の内容：

- ⇒ コントロールパネル (23 ページ)
- ⇒ ターミナルパネル (24 ページ)
- ⇒ リモコン (26 ページ)

# コントロールパネル



## ① 電源ボタン (電源ボタン)

電源をオン/スタンバイするときに押します。

## ② MENU/EXIT ボタン

OSD 画面が表示されていないときに押すと、OSD 画面を表示します。  
OSD 画面が表示されているときは、ひとつ前の OSD 画面に戻ります。

## ③ Joystick キー \*<sup>1</sup>

◀/▶：OSD コントロールメニューを左または右に移動します。  
OSD メニューをオフにしたまま、左右キーを動かすことによって、音量を直接調節することができます。  
また、調節値を増減させます。  
▽/△：OSD コントロールメニューを上または下に移動します。  
SET：OSD メニューが開いているときに選択を実行するための設定ボタンとして機能します。

\*<sup>1</sup>：◀、▶、△、▽の機能は、ディスプレイの向き（ランドスケープ/ポートレート）によって変化します。

## ④ INPUT ボタン (入力切替ボタン)

INPUT：以下の映像入力を切り替えます。

[DisplayPort]、[HDMI1]、[HDMI2]、  
[Media Player]、[OPTION]\*<sup>1</sup>、[COMPUTE  
MODULE]\*<sup>2</sup> 名称は工場出荷時のものです。

\*<sup>1</sup>：対応するオプションボード装着時のみ。対応可能なオプションボードについては販売店へお問い合わせください。

\*<sup>2</sup>：動作しません。

## ⑤ リモコン受光部、外光センサー、電源ランプ

ワイヤレスリモコンの信号受光部です。

電源ボタン入：青色点灯 \*<sup>1</sup>

主電源スイッチ切時：消灯

スケジュール待機時：緑色と橙色交互に点滅 \*<sup>1</sup>

異常検出時（自己診断）：赤色点滅または赤色と青色の点滅

外光センサー：周囲の明るさを検知するセンサーです。「外光センサー」で「オン」を設定した場合に使用します。

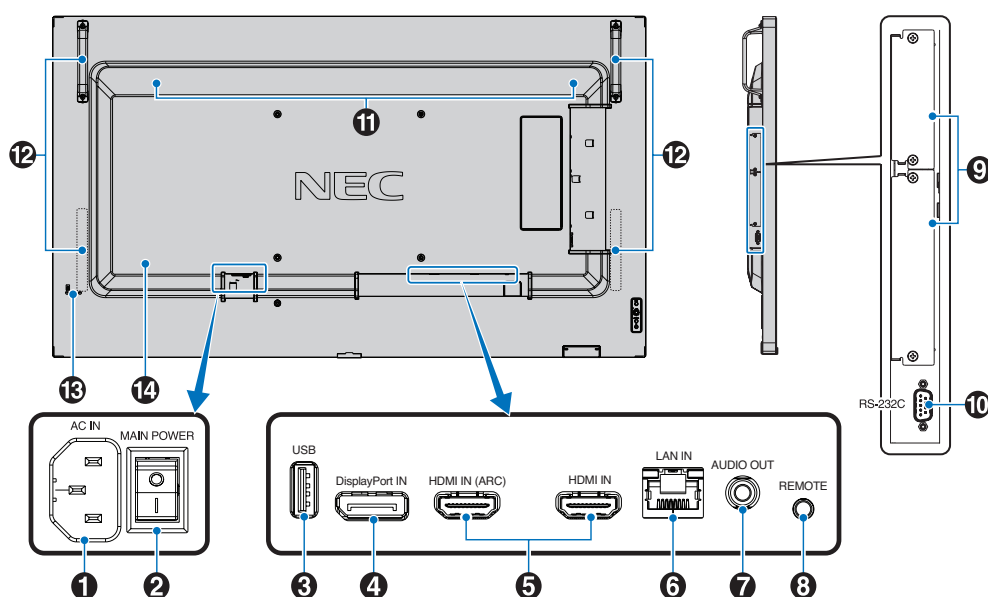
「オン」選択時には障害物の陰にならないよう注意してください。

\*<sup>1</sup>：OSD メニューの「システム」→「電源ランプ」で「オフ」が選択されている場合は電源ランプは消灯となります。

## お知らせ

電源ランプについては、本取扱説明書の機能「電源オンモードと電源オフモード」を参照ください。

# ターミナルパネル



## ① 電源入力コネクタ (3 極アース端子付き)

電源コードを接続します。

## ② 主電源スイッチ

主電源をオン／オフするときに押します。

↑：オン   ○：オフ

出荷時はオフになっています。

## ③ USB ポート

各 USB ポートについては USB 機器との接続 (35 ページ) を参照ください。

USB：電源供給用としても使えます。

メディアプレーヤーで再生する USB ストレージデバイスを接続します。

## ④ DisplayPort 入力コネクタ

他のディスプレイのデジタル映像インターフェースの DisplayPort 出力コネクタと接続します。

## ⑤ HDMI 入力コネクタ (HDMI1 (ARC)/HDMI2)

デジタル映像インターフェースの HDMI 規格に準拠した機器と接続します。HDMI1 端子は ARC (オーディオリターンチャンネル) 機能に対応しています。ARC に対応した HDMI ケーブルを接続してください。

ARC 対応のオーディオ機器は HDMI1 (ARC) 端子に接続してください。

### お知らせ

ARC (オーディオリターンチャンネル) とは、音声を HDMI 端子からオーディオ機器に送る機能です。

付属の ARC 対応 HDMI ケーブル 1 本で、本機の音声を AV アンプなど ARC 対応のオーディオ機器から出力することができます。付属のリモコンを使用してオーディオ機器の音声などを調節することができます。

## ⑥ LAN ポート (RJ-45)

HTTP サーバー機能を利用し、コンピュータで Web ブラウザーを使用して本機の LAN 設定を制御することができます。

### お知らせ

- ・本機の有線 LAN ポートは公衆回線 (電気通信事業者から貸与またはレンタルされたルーターを含む) に直接接続することを意図して設計されていません。そのため有線 LAN ポートを公衆回線に直接接続することは電気通信事業法で禁止されています。

## ⑦ オーディオ出力コネクタ (ステレオミニジャック)

選択されている音声を出力します。

### お知らせ

ヘッドホン用端子ではありません。

## ⑧ リモート入力コネクタ (ステレオミニジャック)

コネクタに別売のコントロールキットのセンサーユニットを接続すると、センサーユニット上のリモコン受光部を利用してリモコンで制御できます。

### お願い

指定のもの以外は使用しないでください。

## ⑨ オプション用スロット

インテル® スマート・ディスプレイ・モジュール (インテル® SDM) の仕様に対応した市販のオプションボードが装着できます。

### お知らせ

対応可能なオプションボードについては販売店にお問い合わせください。

#### ⑩ RS-232C 入力コネクタ (D-SUB 9 ピン)

コンピューターを接続します。詳細は本取扱説明書の「RS-232C リモートコントロール」を参照ください。

#### ⑪ 内蔵スピーカー

#### ⑫ ハンドル

M431、M491、M551 : 2 個

M651 : 4 個

#### ⑬ セキュリティーロット

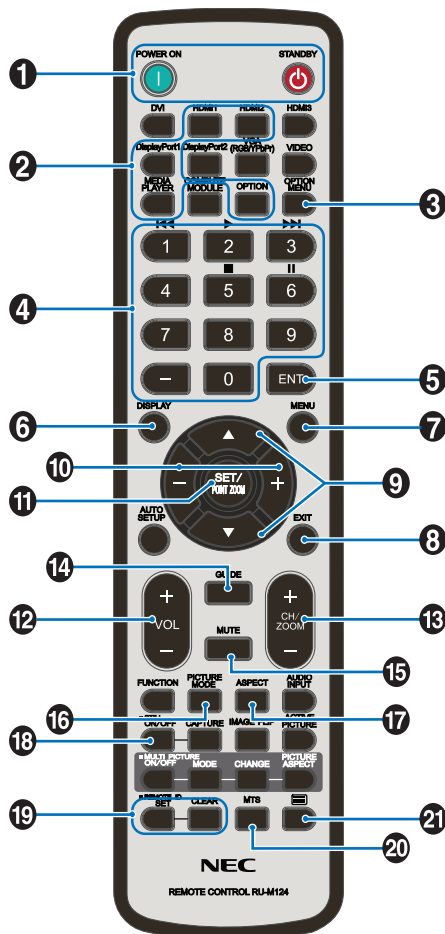
セキュリティーロットは、市販のケンジントン社製セキュリティーケーブルに対応しています。

##### **お知らせ**

製品については、ケンジントン社のホームページを参照ください。

#### ⑭ ラベル

# リモコン



## ① POWER ON ボタン /STANDBY ボタン

POWER ON ボタンで電源をオンにします。  
STANDBY ボタンでディスプレイをスタンバイ状態にします。

## ② 入力切替ボタン

入力信号を選択します。  
入力信号の名称は工場出荷時のものです。

## ③ OPTION MENU ボタン

対応するオプションボード装着時のみ機能します。対応可能なオプションボードについては販売店へお問い合わせください。

## ④ 数字ボタン

パスワードやリモコン ID の番号入力に使用します。  
一部の数字ボタンを本機に接続した HDMI-CEC 機器やメディアプレーヤー機能の操作に使用します。  
HDMI-CECは 31ページを、メディアプレーヤー機能は 43ページを参照ください。

## ⑤ ENT ボタン

メディアプレーヤー使用時に自動再生するフォルダーを決定します。  
HDMI-CEC 機器の操作に使用します。

## ⑥ DISPLAY ボタン

画面情報を表示します。  
OSD メニューの「プロテクト」→「ロック設定」でボタンをロックした場合、DISPLAY ボタンを 5 秒以上押し続けるとロックを解除できます。

## ⑦ MENU ボタン

OSD 画面をオン / オフします。

## ⑧ EXIT ボタン

ひとつ前の OSD 画面に戻ります。

## ⑨ ▲ボタン (アップボタン) ▼ボタン (ダウンボタン)

OSD 画面の調節項目の選択、OSD 画面の表示位置の調節に使用します。

## ⑩ - ボタン (マイナスボタン) + ボタン (プラスボタン)

OSD 画面で選択した項目の調節、OSD 画面の表示位置の調節に使用します。

## ⑪ SET/POINT ZOOM ボタン

SET : OSD 画面で調節した内容を決定します。

## ⑫ VOL - ボタン (音量調節マイナスボタン) VOL + ボタン (音量調節プラスボタン)

音量の大 / 小を調節します。

## ⑬ CH/ZOOM - ボタン (チャンネル / ズーム調節マイナスボタン) / CH/ZOOM + ボタン (チャンネル / ズーム調節プラスボタン)

オプションボード装着時に使います。ボタンの動きは、本機に装着したオプションボードにより異なります。

## ⑭ GUIDE ボタン

オプションボード装着時に使います。ボタンの動きは、本機に装着したオプションボードにより異なります。

## ⑮ MUTE ボタン

音声や映像の出力をとめます。  
もう一度押すと音声や映像を出力します。  
詳細は「ミュート設定」(93 ページ) を参照ください。

## ⑯ PICTURE MODE ボタン

ピクチャーモードを選択します。  
「標準」、「店舗」、「会議室」、「高輝度」、「交通機関」、「CUSTOM」から選択できます。  
ピクチャーモードについての詳細は本取扱説明書の機能「ピクチャーモードの切り替え」を参照ください。

## ⑰ ASPECT ボタン

画像のアスペクトを「標準」、「フル」、「ワイド」、「1:1」、「ZOOM」から選択します。

## お知らせ

- 入力信号が [Media Player] の場合は動作しません。

### ⑮ STILL ボタン（画面静止ボタン）

ON/OFF ボタン：スチル機能をオン / オフします。

### ⑯ REMOTE ID ボタン（リモコン ID ボタン）

リモコンのモードを切り替えます。

ノーマルモード：モニター ID に関係なく、すべての当社リモコンナンバリング機能があるディスプレイをリモコンで制御できます。

ID モード：リモコン ID と同じ番号のモニター ID を持つディスプレイのみをリモコンで制御できます。

SET ボタン：2 秒以上押し続けると、リモコンを ID モードにします。

ボタンを押しながら 0 ～ 100 までの数字を入力すると、リモコン ID が設定できます。

CLEAR ボタン：2 秒以上押し続けると、ノーマルモードになります。

### ⑰ MTS ボタン

オプションボード装着時に使います。ボタンの動きは、本機に装着したオプションボードにより異なります。

### ⑱ ㊦ ボタン \*

VIDEO 系の入力に対してのみ字幕を表示します。

\*: ボタンの動きは、本機に装着したオプションボードにより異なります。詳しくはオプションボードの取扱説明書を参照ください。

## お知らせ

説明のないボタンは動作しません。

## 3 章 接続

### この章の内容：

- ⇒ 配線図（29 ページ）
- ⇒ コンピューターとの接続（30 ページ）
- ⇒ HDMI 出力機器との接続（30 ページ）
- ⇒ DisplayPort 出力機器との接続（30 ページ）
- ⇒ HDMI 出力端子のある機器との接続（31 ページ）
- ⇒ ARC 機能のあるオーディオ機器との接続（31 ページ）
- ⇒ HDMI-CEC（Consumer Electronics Control）（31 ページ）
- ⇒ HDMI-CEC 対応コマンド（33 ページ）
- ⇒ 内部映像ソース（34 ページ）
- ⇒ メディアプレーヤー（34 ページ）
- ⇒ 本機で利用できるオプションボード（34 ページ）
- ⇒ USB 機器との接続（35 ページ）

### お願い

本機または外部機器の主電源がオンの場合、ケーブルの抜き差しはおこなわないでください。

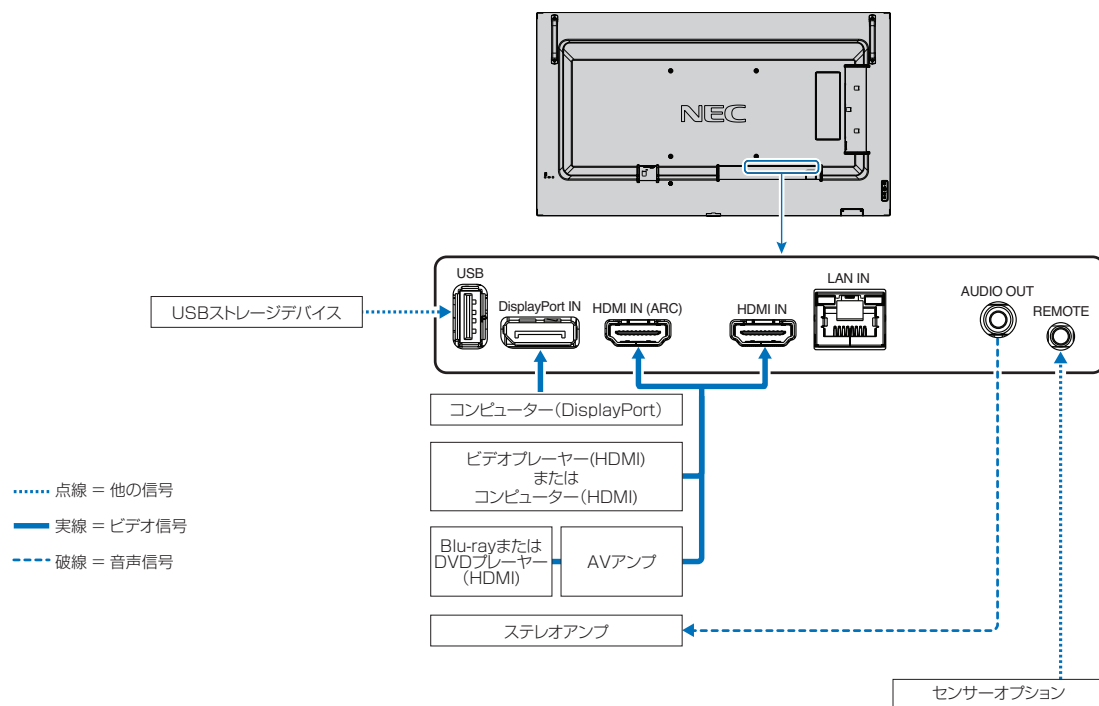
### 接続する前に

- ・ コンピューターに接続する前に、本機、コンピューターおよび周辺機器の主電源を切ってください。
- ・ それぞれの機器の取扱説明書を参照してください。

### お知らせ

- ・ 接続するオーディオ機器の端子の形状がステレオミニジャックの場合は、オーディオケーブルは抵抗なしを使用してください。
- ・ 抵抗ありのオーディオケーブルを使用した場合、音量が大きくならなかったり、音が出ない場合があります。
- ・ USB ストレージデバイスは本機の主電源がオフのときに抜き差しすることをおすすめします。

# 配線図





# コンピューターとの接続

---

## HDMI 出力機器との接続

---

本機は HDMI 出力付きプレーヤーやコンピューターなどと接続して使用することができます。詳しくは、プレーヤーなどの取扱説明書を参照ください。

- HDMI ケーブルは HDMI ロゴがついているものをご使用ください。
- HDMI 機器によっては、映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- ビデオカードまたはドライバーによっては映像を正しく表示することができない場合があります。
- HDMI 出力付きコンピューターと接続して使用する場合は、OSD メニューの「入力」→「アドバンスド」→「オーバースキャン」を「自動」もしくは「オフ」に設定してください。
- 接続しているコンピューターの電源を入れ、その後本機の主電源を入ると映像が表示されないことがあります。その場合は、接続しているコンピューターの電源を入れ直してください。
- 入力信号の解像度が 4K(50 Hz/60 Hz) または HDCP 2.2 または HDR の場合は、OSD メニューの「入力」→「アドバンスド」→「HDMI」→「設定 2」を設定してください。
- 4K 信号を入力するときはハイスピード対応の HDMI ケーブルをご使用ください。

## DisplayPort 出力機器との接続

---

本機は DisplayPort 出力付きコンピューターなどと接続して使用することができます。

詳しくは各コンピューターの取扱説明書を参照してください。

- DisplayPort ケーブルは DisplayPort 認証ロゴがついているものを使用することを推奨します。
- コンピューターによっては、映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- DisplayPort ケーブルはロック付きのものがあります。ケーブルを取り外す際は、ケーブルコネクタ上部にあるボタンを押しながら、ケーブルを抜いてください。
- 信号変換アダプターを使用した機器からの信号を DisplayPort に接続しても映像が表示されない場合があります。
- 接続しているコンピューターの電源を入れ、その後本機の主電源を入ると映像が表示されないことがあります。その場合は、接続しているコンピューターの電源を入れ直してください。

# HDMI 出力端子のある機器との接続

---

Blu-ray プレーヤー、ストリーミングメディアプレーヤーやゲーム機器などの高品質の映像と音声を 1 本の HDMI ケーブルで接続して使用することができます。接続した映像機器が 4K UHD の品質に対応している場合、コンテンツは 4K UHD で表示されます。本機の映像入力機能は HDCP (High-Bandwidth Digital Content Protection) で保護された映像コンテンツに対応しています。

## お知らせ

- HDMI ケーブルを接続するときは、HDMI 機器と本機の電源をオフにします。
- HDMI ケーブルは HDMI ロゴがついているものをご使用ください。
- HDMI の仕様により、お使いの HDMI ケーブルや HDMI 機器では映像を正しく表示することができない場合があります。
- HDCP の規格変更などがおこなわれた場合、本機が故障していなくても、デジタル入力信号の映像が表示されないことがあります。

## ARC 機能のあるオーディオ機器との接続

---

付属の ARC 対応 HDMI ケーブルを使用して本機の HDMI1 (ARC) 端子と ARC 対応のオーディオ機器を接続することにより、オーディオ機器に接続しているスピーカーから音声を聴くことができます。

- HDMI1 (ARC) 端子から出力される音声信号には、OSD メニューの音声設定の調節は反映されません。
- ARC が有効になっているとき、本機のスピーカーから音声は出力されません。
- 画面に表示している映像の音声は HDMI1 (ARC) 端子を通してオーディオ機器に出力されます。表示している映像の入力端子が対応していない音声信号は、HDMI1 (ARC) 端子から出力されません。各入力端子の対応信号については「仕様」を参照ください。

## HDMI-CEC (Consumer Electronics Control)

---

HDMI-CEC により、HDMI ケーブルで接続した映像機器と本機との間のコントロール連携が可能になります。例えば、Blu-ray プレーヤーの電源をオンにするとディスプレイの電源もオンになり、リモコンを使わずに映像入力を Blu-ray プレーヤーに切り替えることができます。ただし、すべての機器間でコントロール連携がおこなわれるわけではなく、映像機器のメーカーによっては自社製のディスプレイやテレビのみにコントロール連携をおこなう場合があります。「HDMI CEC 対応コマンド」(33 ページ) を参照してください。

映像機器と本機のコントロールが連携する場合、本機リモコンで映像機器を操作できます。

## お知らせ

OSD メニューを使って CEC に関する設定をおこなうことができます。CEC に関する設定は、ディスプレイの Web ページからおこなうこともできます。Web ページと OSD メニューで、機能の名称や表示される位置は同じです。

## CEC を有効にする

1. HDMI-CEC 対応機器を HDMI 端子に接続する。  
リモコンの HDMI ボタンを押してください。
2. MENU ボタンを押して OSD 画面を表示する。
3. OSD メニューの「入力」→「アドバンスト」を選択する。
4. OSD メニューの「CEC」→「設定 1」または「設定 2」を選択する。
5. OSD メニューの「デバイス検索」→「する」を選択する。  
デバイス検索が完了すると、機器を接続した HDMI コネクタとデバイス名が表示されます。  
CEC 対応機器が検出されなかったときは、以下をご確認ください。
  - ・ 機器が接続されているか
  - ・ 機器の電源がオンになっているか
  - ・ 機器が CEC に対応しているか
  - ・ CEC が有効になっているか機器のメーカーによっては、CEC 機能を別の呼びかたで示している場合があります。機器の取扱説明書を参照ください。
6. リモコンの EXIT ボタンを押す。

# HDMI-CEC 対応コマンド

HDMI-CEC 対応機器を HDMI 端子に接続してください。

OSD メニュー	HDMI-CEC コマンド	動作内容	操作手順
CEC (Consumer Electronics Control)	One Touch Play	HDMI-CEC 対応機器の電源をオンにすると、HDMI ケーブルで接続されたディスプレイの電源がオンになります。「入力」が「HDMI2」に自動で切り替わります。ディスプレイの電源が既にオンしている場合は「入力」のみ切り替わります。	 <p>CEC メニューの設定は以下の手順でおこないます。            ▲▼ボタンで「入力」→「アドバンスト」→「CEC」を選び、            SET/POINT ZOOM ボタンで「CEC」を選択します。            +/ーボタンで「設定 1」または「設定 2」を選び、SET/POINT ZOOM ボタンで「設定 1」または「設定 2」を選択します。</p>
	Remote Control Pass Through	リモコンによるボタン操作などを HDMI ケーブルで接続した HDMI-CEC 対応機器に転送することができます。 例) リモコンにて、HDMI-CEC 対応機器のメニューの一部を操作します。	
	Power Status	接続されている HDMI-CEC 対応デバイスから本機がオン状態にあるかスタンバイ状態にあるかの情報を取得する機能です。	
	System Information	接続されているデバイスの情報 (CEC version, Physical Address など) を取得する機能です。また本機の OSD 言語を切り替えたら、接続しているデバイスのメニュー言語も追従して切り替わる「Change Language」機能に対応します。(Change Language 機能は接続されるデバイスが多言語対応している必要があります。)	
自動電源オフ	System Standby	リモコンにてディスプレイの電源をオフにすると、HDMI ケーブルで接続された HDMI-CEC 対応機器も連動して電源がオフになります。 接続されているレコーダーが TV 番組を録画している場合は、ディスプレイからのシステムスタンバイの信号によらず、レコーダーの電源はオン状態のままとなる場合があります。 詳しくは、レコーダーのマニュアルを参照ください。	▲▼ボタンで「自動電源オフ」を選びます。  +/ーボタンで「する」を選び、SET/POINT ZOOM ボタンで「する」を選択します。
オーディオレシーバー	System Audio Control	ARC 対応のオーディオ機器を付属の ARC 対応 HDMI ケーブルを使用して本機の HDMI1 (ARC) 端子に接続してください。リモコンにある VOL+/VOL- ボタンを操作することで、HDMI ARC 対応のオーディオ機器に接続されているスピーカーの音量を調節することができます。このとき本機のスピーカーから音声は出ず、MUTE 状態になります。	▲▼ボタンで「オーディオレシーバー」を選び、SET/POINT ZOOM ボタンで「オーディオレシーバー」を選択します。  +/ーボタンで「許可」を選び、SET/POINT ZOOM ボタンで「許可」を選択します。
デバイス検索	Device OSD Name Transfer	接続されているデバイスの名称を取得する機能です。	▲▼ボタンで「デバイス検索」を選びます。  +/ーボタンで「する」を選び、SET/POINT ZOOM ボタンで「する」を選択します。
	Routing Control	デバイス検索で表示された名称を選択し、HDMI-CEC 操作対象のデバイス入力を切り替える機能です。入力を切り替えた後のリモコン操作は選択したデバイスにのみ転送します。	

本機の CEC 機能は Feature Abort に対応しています。

詳細は本取扱説明書の「配線図」を参照ください。

# 内部映像ソース

## メディアプレーヤー

本機内蔵のメディアプレーヤー機能で、USB ストレージデバイスに保存している音声や映像ファイルを再生することができます。メディアプレーヤーの使い方については [43 ページ](#) を参照ください。

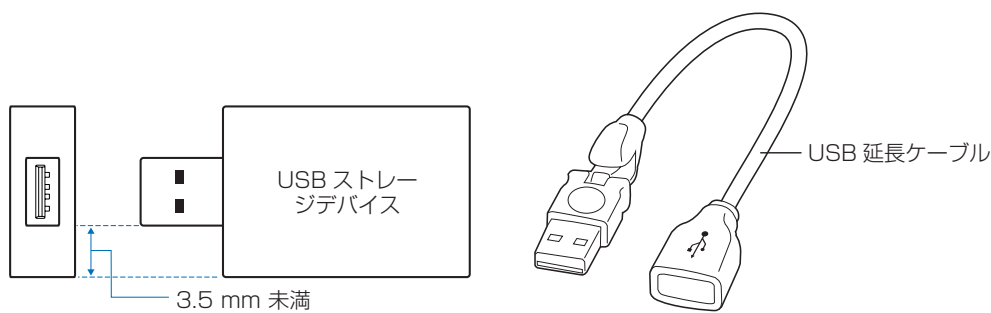
### 対応 USB ストレージデバイス

本機に接続した USB ストレージデバイスが認識されない場合は、フォーマット形式を確認してください。メディアプレーヤーで使用する USB ストレージデバイスは NTFS 形式、FAT32 形式または FAT16 形式でフォーマットしてください。フォーマット方法については、お使いの Windows® の取扱説明書またはヘルプファイルを参照ください。

使用する USB ストレージデバイスのサイズは下図を参照ください。

これより大きいサイズを使用する場合は市販の USB 延長ケーブルをご使用ください。

本体の USB ポートに USB ストレージデバイスを接続してください。



#### お知らせ

- ・市販されているすべての USB ストレージデバイスの動作を保証するものではありません。

#### お願い

- ・USB ストレージデバイスを USB ポートに接続しているかご確認ください。

## 本機で利用できるオプションボード

オプションボードをディスプレイに装着すると、OSD メニューの「入力」に使用可能デバイスとして表示されます。オプションボードはそれぞれ別個に使用可能で、ディスプレイに装着する必要があります。この取扱説明書は、オプション機器なしでのディスプレイの使い方を説明しています。オプションボードの装着場所は、ターミナルパネル ([24 ページ](#)) に記載されています。オプションボードについての詳細は、付属の取扱説明書または当社 Web サイトを参照ください。

#### お知らせ

使用可能なオプションボードについては販売店へお問い合わせください。

# USB 機器との接続

---

メディアプレーヤー機能を使用して画像や動画を表示する際はこのポートに USB ストレージデバイスを接続してください。電源供給用のポートとしても使えます。供給電力についての詳細は本取扱説明書の「仕様」を参照ください。ファームウェア更新の際はこのポートをご使用ください。「クローン設定」を使用する際はこのポートに USB ストレージデバイスを接続してください。

 **注意** [注意 2](#) を参照ください。

## お願い

- USB ケーブルのコネクター形状および向きをよく確かめてから接続してください。
- 本機の電源がオンのときに USB ストレージデバイスを本機に接続しないでください。本機の故障やデバイスに保存されたファイルの破損を避けるために、本機の電源がオフのときにデバイスを接続することをおすすめします。

## 4 章 基本操作

### この章の内容：

- ⇒ 電源オンモードと電源オフモード (37 ページ)
- ⇒ リモコンの使用範囲 (38 ページ)
- ⇒ パワーマネージメント機能 (38 ページ)
- ⇒ インフォメーション (39 ページ)
- ⇒ Plug&Play 機能 (DisplayPort および HDMI) (39 ページ)
- ⇒ ピクチャーモードの切り替え (39 ページ)
- ⇒ アスペクト変更 (40 ページ)
- ⇒ 画面調節 (OSD 機能) (41 ページ)
- ⇒ メディアプレーヤーメニューの使い方 (43 ページ)
- ⇒ メディアプレーヤーメニュー (43 ページ)

# 電源オンモードと電源オフモード

本体の  ボタン、またはリモコンの POWER ON ボタンを押して本機をオンにします。

本体の電源ランプが、電源の状態を示します。電源ランプと本機の状態とその復帰方法については、以下の表を参照ください。

電源ランプ色と点灯パターン	状態	復帰方法
青色点灯	通常動作時	
緑色点滅 * <sup>1</sup>	選択している映像信号がない状態で一定時間経過した場合で以下の状態のどれかを満たした場合 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ オプションボードが装着されている場合 *<sup>2</sup></li> <li>・ 「自動入力切替」(OSD 機能) が「オフ」以外になっている場合</li> <li>・ 「USB 電源」が「オン」になっている場合</li> <li>・ 「スロット電源」が「オン」になっている場合</li> <li>・ 「クイック起動」が「許可」になっている場合</li> </ul>	(1) リモコンもしくは本体のボタンで本機をオンする。 (2) 映像信号を入力する。
橙色点灯	ネットワーク信号があり、選択している映像信号がない状態で一定時間経過した場合	(1) リモコンもしくは本体のボタンで本機をオンする。
橙色点滅	ネットワーク信号および選択している映像信号がない状態で一定時間経過した場合	(2) 映像信号を入力する。 * <sup>3</sup> (3) 信号ケーブルを再接続する。
赤色点灯	ネットワーク機器や映像信号機器との接続状態に関わらず、リモコンなどで本機をオフした場合	(1) リモコンもしくは本体のボタンで本機をオンする。

\*1： 本機がパワーセーブに移行する時間は、OSD メニューの「保護設定」→「パワーセーブ設定」→「時間設定」で設定できます。

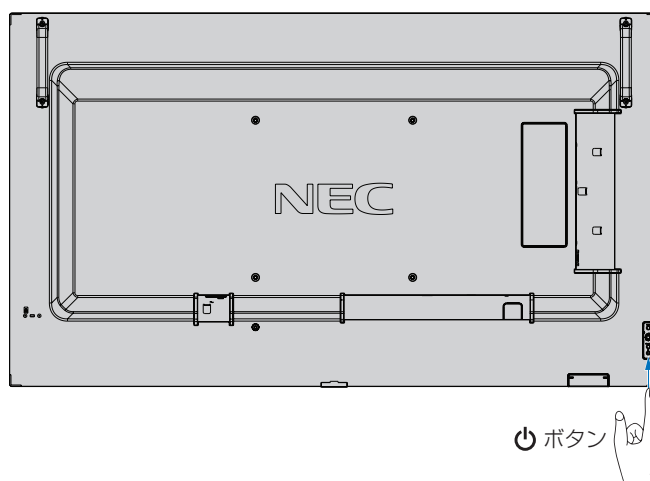
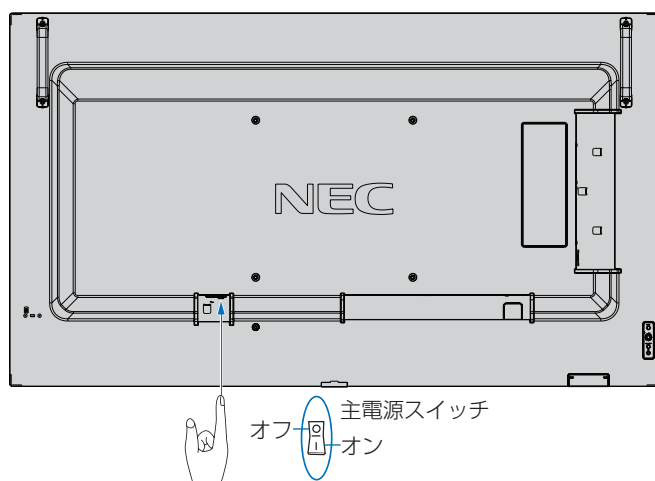
\*2： 「スロット電源」が「オン」または「自動」の場合。

\*3： 「通常省電力」(89 ページ) の場合のみ。

## お知らせ

- ・ 電源ランプが短い点灯と長い点灯の組み合わせで赤色に点滅した場合は故障の可能性があります。販売店へお問い合わせください。
- ・ 通常動作時は青色に点灯します。LED を消灯したい場合は「コントロール」→「システム」で「オフ」を設定してください。

主電源スイッチがオン (I) になっていることを確認してから操作してください。





## リモコンの使用範囲

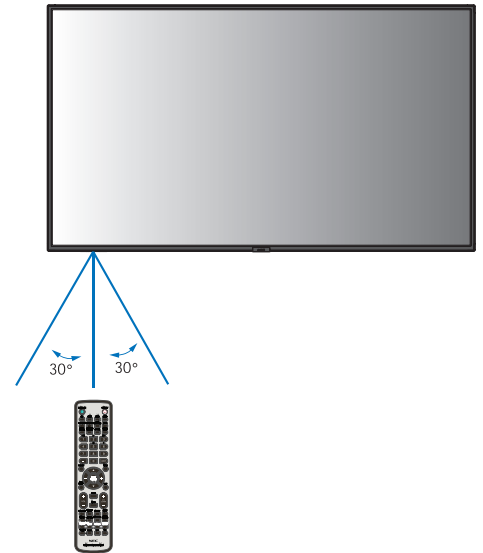
リモコンの操作をするときは本機のリモコン受光部の方向にリモコンの先を向けてください。  
リモコンは、リモコン受光部から 7 m 以内、上下左右 30° では 3.5 m 以内でご使用ください。

### お知らせ

太陽の直射日光や強い光の当たるところ、または、蛍光灯の近くでは、リモコン操作がきかない場合があります。

### リモコンの取り扱いについて

- 強い衝撃を与えないでください。
- 水に濡らさないでください。もし濡れた場合は、すぐにふき取ってください。
- 熱やスチームなどにあてないでください。
- 電池を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。
- 電池交換のとき以外はリモコンのふたを開けないでください。



## パワーマネージメント機能

本機の主電源を入れたままでも、コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を減少させる機能です。

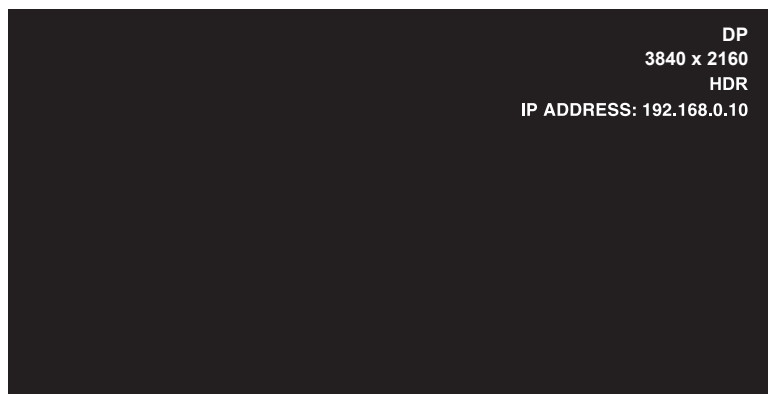
ビデオカードによっては正しく動作しない場合があります。OSD メニューの「保護設定」→「パワーセーブ」の「許可」を選択した場合、入力信号が失われてから設定した時間が経過すると、自動的にパワーマネージメント機能に入ります。

### お知らせ

- お使いのコンピューターやビデオカードによっては、パワーマネージメント機能が働かないことがあります。
- 映像信号が途絶えると、設定した時間の経過後ディスプレイは自動的にオフになります。
- 本機の電源オン、電源オフおよびスタンバイ状態へ移行するまでのスケジュールを設定することができます。[47 ページ](#)を参照ください。
- パワーマネージメント機能に関しては「保護設定」→「パワーセーブ設定」を参照ください。

# インフォメーション

リモコンの DISPLAY ボタンを押すと、選択されている映像入力端子、音声入力端子、画面のアスペクトなどの情報を表示します。



- ① 入力名称
- ② 解像度情報
- ③ HDR 情報
- ④ IP アドレス \*

\* 「IP 情報」が「オン」の場合：  
緑表示 - LAN 接続時  
赤表示 - LAN 非接続時

## お知らせ

入力信号が [Media Player] の場合、インフォメーション OSD は表示されません。

## Plug&Play 機能（DisplayPort および HDMI）

VESA の DDC（Display Data Channel）2B 規格または DisplayPort 規格に対応したコンピューターと接続した場合には、本機の表示画素数、周波数、色特性などの情報をコンピューターが読み出し、本機に最適な画面が自動的に設定されます。

詳しくはコンピューターの取扱説明書を参照ください。

## お知らせ

本機が以下の状態のとき DDC 通信はできなくなります。

- ・ 主電源がオフになっているとき。
- ・ 「パワーセーブ設定」の「モード」で「最大省電力」を設定している状態で、電源をオフにしたりパワーセーブに移行したとき。

## ピクチャーモードの切り替え

### リモコンの PICTURE MODE ボタンで選択する場合

ボタンを押すと各表示モードが「標準」、「店舗」、「会議室」、「高輝度」、「交通機関」、「CUSTOM」で切り替わります。

ピクチャーモードは、ディスプレイの一般的な使用を前提としてあらかじめ設定されています。ピクチャーモード設定については「ピクチャーモードの使い方」（[48 ページ](#)）を参照してください。

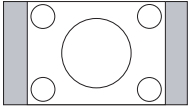
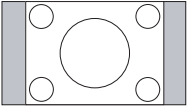
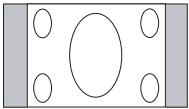
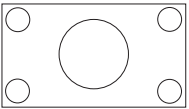
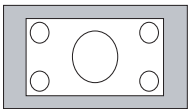
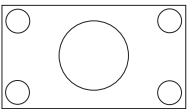
# アスペクト変更

OSD メニューの「映像設定」→「アドバンスト」→「アスペクト」またはリモコンの ASPECT ボタンで画面のアスペクトを選択することができます。

## お知らせ

- 入力信号が [Media Player] の場合は動作しません。

「フル」→「ワイド」→「1:1」→「ZOOM」→「標準」  
↑

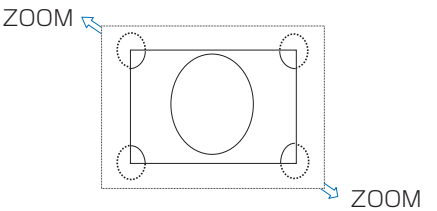
画面のアスペクト	変更前*2	推奨されるアスペクト設定*2	説明
4:3		「標準」	 比率を変えずに、できるだけ大きく表示します。
スクイーズ		「フル」	 比率を変えて、画面いっぱいに表示します。
レターボックス		「ワイド」	 16:9 レターボックス信号を画面いっぱいに表示します。

\*2： 図の灰色の部分は画像表示に使用されない領域です。

「1:1」： 画像サイズそのままに表示します。

「ZOOM」

- 画像は、画面の有効表示領域を超えて拡大されます。有効表示領域を超えた部分は見ることができません。



## お知らせ

- 営利目的または公衆に視聴されることを目的として喫茶店、ホテルなどにおいてアスペクト変更等を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどをおこないますと著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害するおそれがありますのでご注意ください。
- もとの信号と異なる画面のアスペクトで使用したいときは画面に歪みが発生します。  
例) 4:3 信号をフルにした場合は横長画面となります。

# 画面調節（OSD 機能）

本機には画面の調節が簡単にできる OSD（On Screen Display）機能がついています。  
OSD 機能により画面上に表示されるメニューを操作し、明るさなどの画面調節などをおこないます。

**OSD 画面の構成** OSD 画面は、以下に示すような構成になっています。



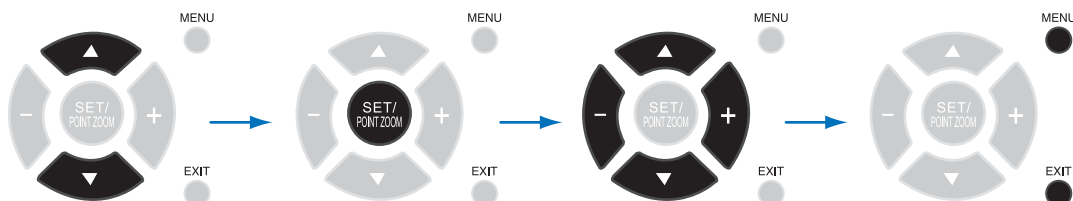
▲または▼ボタンを押してサブメニューを選びます。

SET/POINT ZOOM ボタンを押して決定します。

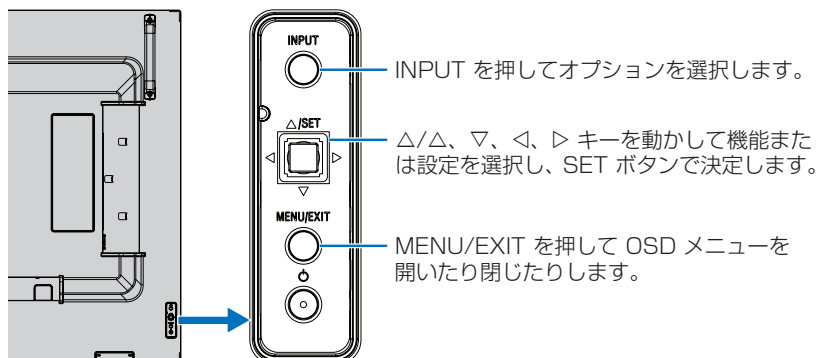
▲、▼、+、- ボタンを押して調節、または調節項目を選択します。

MENU または EXIT を押します。

リモコン



本体コントロールパネル



以下に、各 OSD メニュー項目の機能を簡単に示します。メニュー内容の詳細は「OSD 調節リスト」(78 ページ)に一覧表示されています。



**入力**：入力信号、Media Player に関する設定をおこないます。



**映像設定**：規定のピクチャーモードの選択、色設定の手動調節、アスペクト比調節など、映像に関する設定をおこないます。



**音声設定**：音量やバランス、イコライザーの調節など、音声に関する設定をおこないます。



**スケジュール**：本機の電源制御のスケジュール作成およびオフタイマーの設定をおこないます。



**スロット**：装着したオプションボードに関する設定をおこないます。



**ネットワーク**：ネットワーク情報、セキュリティなどに関する設定をおこないます。



**保護設定**：冷却ファンの制御設定、パワーセーブおよび電源オンへの移行時間設定、アラートメールなどに関する設定をおこないます。



**システム**：モニターインフォメーション表示、日付時刻や言語などの設定およびサマータイムの設定、工場出荷時状態へのリセットをおこないます。

# メディアプレーヤーメニューの使い方

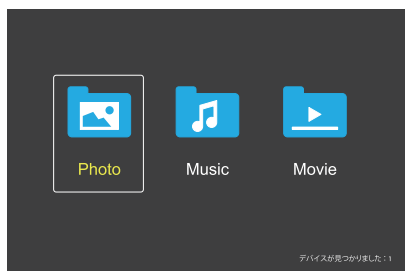
メディアプレーヤーは、本機の USB ポート (24 ページ) に接続した USB ストレージデバイスに保存されている動画、音楽、写真 (静止画) ファイルを再生する機能です。リモコンの MENU ボタンを押し、「入力選択」から「Media Player」を選択してメディアプレーヤーメニューを表示します。

## お願い

- ファイルが保存された USB ストレージデバイスを、USB ポートに装着してください。
- ディスプレイの設置方向に合わせた動画や静止画を保存してください。
- メディアプレーヤーメニューは常に横型設置向けで表示されます。「OSD 方向」の「ポートレート」を設定しても、メディアプレーヤーメニューの表示方向は変わりません。

## メディアプレーヤーメニュー

USB ストレージデバイスに保存された動画、音楽、写真 (静止画) ファイルを表示することができます。



動画、音楽、写真から再生するファイルの種類を選択します。

## ファイル選択操作

- ファイル再生  
リモコンの▲、▼、←、→ ボタンで ファイルを選び、▶ ボタンを押します。
- ファイル選択再生
  - リモコンの▲、▼、←、→ ボタンでファイルを選択します。
  - SET/POINT ZOOM ボタンを押して、選択したファイルにチェックマークを付けます。
  - チェックマークを付けたファイルは再生リストとして USB ストレージデバイスに保存されます。

## お知らせ

- 選択したファイルは、フォルダーに表示されている順番で再生します。
- ファイルの名称は半角英数字を使用してください。
- ファイル再生画面では、MENU ボタンを押しても OSD 画面は表示されません。OSD 画面を表示する際は以下の操作をおこなってください。
  - ファイル再生画面で EXIT ボタンを押します。
  - ファイル選択画面で MENU ボタンを押します。

## ■ 操作ボタン

- ファイル再生中に SET/POINT ZOOM ボタンを押すと、画面上に OSD 操作メニューが表示されます。
- OSD 操作メニューの選択項目を切り替えるときは、←、→ で項目を選び、SET/POINT ZOOM ボタンで決定します。
- OSD 操作メニューを非表示にするときは、EXIT ボタンまたは ▼ ボタンを押します。

## スライドショー操作

- スライドショーを開始するときは▲、▼、←、→ ボタンでファイルを選び、▶ ボタンを押します。一時停止するときは || ボタンを押します。
- OSD 操作メニューでスライドショーを一時停止するときは、|| を選択します。再生を再開するときは、▶ を選択します。
- 前の画像に戻るときは ◀ を選択するか ◀◀ ボタンを押します。
- 次の画像に進むときは ▶ を選択するか ▶▶ ボタンを押します。
- スライドショーを停止するときは ■ を選択するか ■ ボタンを押します。

## ■ リピート再生

ファイル再生のリピートを選択できます。選択できるのは、以下のモードです。

### Repeat Off - リピートなし

- フォルダー内のすべてのファイルが順番に 1 回再生されます。
- 複数のファイルにチェックマークを付けると、マークが付いたファイルが並び順に 1 回再生されます。

### Repeat 1 - 1 ファイルリピート

- 再生中のファイルが繰り返し再生されます。再生していない場合は、選択しているファイルが繰り返し再生されます。
- 複数のファイルにチェックマークを付けると、マークが付いたファイルのうち並び順が最初のファイルが繰り返し再生されます。

### Repeat ALL - 全リピート





- フォルダー内のすべてのファイルが順番に繰り返し再生されます。
- 複数のファイルにチェックマークを付けると、マークが付いたファイルが並び順に繰り返し再生されます。

## ■ ランダム再生






- 「On」を選択するとリピート再生で設定したファイルがランダムに再生されます。







## ■ その他の機能

- ・  を選択すると、ファイルの再生リストを確認できます。また、再生するファイルをリストから選択できます。
- ・ 再生中に  を選択すると、表示中のファイル情報を表示できます。
- ・ 表示中の画像を回転させるときは  または  を選択します。

## ■ ズーム機能

- ・ 画像サイズを切り替えるときは  または  を選択します。  
8、4、2、1、1/2、1/4
- ・ 拡大時に画面位置を移動するときには、 を選択します。

## 動画/音楽表示操作

- ・ スライドショーを開始するときには▲、▼、－、＋ ボタンでファイルを選び、▶ ボタンを押します。一時停止するときには、|| ボタンを押します。
- ・ OSD 操作メニューでスライドショーを一時停止するときには、 を選択します。再生を再開するときには、▶ ボタンを押します。
- ・ 早送りするときには  を選択します。  
2 倍速、4 倍速、8 倍速、16 倍速、32 倍速  
(音声は出力されません。)
- ・ 早戻しするときには  を選択します。  
2 倍速、4 倍速、8 倍速、16 倍速、32 倍速  
(音声は出力されません。)
- ・ 前のファイルに戻るときは  を選択するか ◀◀ ボタンを押します。
- ・ 次のファイルに進むときは  を選択するか ▶▶ ボタンを押します。
- ・ 再生を停止するときには  を選択するか ■ ボタンを押します。

## ■ リピート再生

ファイル再生のリピートを選択できます。選択できるのは、以下のモードです。

### - リピートなし

- ・ フォルダー内のすべてのファイルが順番に 1 回再生されます。
- ・ 複数のファイルにチェックマークを付けると、マークが付いたファイルが並び順に 1 回再生されます。




### - 1 ファイルリピート

- ・ 再生中のファイルが繰り返し再生されます。再生していない場合は、選択しているファイルが繰り返し再生されます。
- ・ 複数のファイルにチェックマークを付けると、マークが付いたファイルのうち並び順が最初のファイルが繰り返し再生されます。

### - 全リピート

- ・ フォルダー内のすべてのファイルが順番に繰り返し再生されます。
- ・ 複数のファイルにチェックマークを付けると、マークが付いたファイルが並び順に繰り返し再生されます。

### (動画のみ) - リピート AB

- ・ 動画の特定の部分をループ再生することができます。  
 で開始点、 で終了点を指定します。  
 で特定の部分のループ再生を終了します。

## ■ ランダム再生





- ・ 「On」を選択するとリピート再生で設定したファイルがランダムに再生されます。

## ■ スライド設定



- ・ 一枚の画像の表示時間を設定します。  
短く：5 秒  
中：10 秒  
長く：15 秒

## ■ その他の機能

- ・  を選択すると、ファイルの再生リストを確認できます。また、再生するファイルをリストから選択できます。
- ・ 再生中に  を選択すると、表示中のファイル情報を表示できます。

## お知らせ

- ・ 電源をオフしたりメディアプレーヤーメニューを終了すると再生リストの選択がリセットされます。再度メディアプレーヤーを使用する際は、改めてファイルを選択してください。
- ・ 電源オン時にファイルを自動的に再生する場合は、「入力信号設定」の「Media Player」(80 ページ) で再生したいコンテンツを選択してください。
- ・ 使用できるのは USB マスストレージクラスのデバイスのみです。
- ・ 全ての USB 機器に対して、その動作を保証するものではありません。
- ・ USB ハブは使用しないでください。
- ・ 複数のパーティションがある USB ストレージデバイスには対応していません。
- ・ USB2.0 タイプ A コネクタ (DC 5 V、最大 2 A) に対応しています。2 A を超える USB 機器の場合は、USB 機器に付属の AC 変換アダプターか外部電源を使用してください。
- ・ NTFS (New Technology File System) でフォーマットされた USB デバイスの使用をおすすめします。
- ・ FAT16 または FAT32 でフォーマットされた USB ストレージデバイスをコンピューターに接続すると、「スキャンして修復」のメッセージが表示されることがあります。その場合は、「スキャンおよび修復」を実行してください。

## USB のデータ形式

対応ファイルシステム	FAT16(最大 2 GB)、 FAT32(最大 4 GB)、 NTFS					
最大フォルダー階層数				9		
最大写真枚数				997		
写真モード						
拡張子	データ形式	画像最小解像度 (横 x 縦)	画像最大解像度 (横 x 縦)			
JPEG、JPG、JPE	ベースライン JPEG	75x75 ピクセル	15,360x8,640 ピクセル			
音楽モード						
拡張子	データ形式	最大ビットレート	最大チャンネル数			
MP3	MPEG1/2 Layer3(MP3)	320 Kbps	2ch			
動画モード						
コンテナフォーマット	対応映像コーデック		対応音声コーデック			
MPG、MPEG	MPEG1、MPEG2、MPEG4		LPCM、MP3、AAC			
TS	MPEG2、H.264、HEVC/H.265		LPCM、MP3、AAC			
MP4	MPEG2、MPEG4、H.263、H.264、HEVC/H.265		LPCM、MP3、AAC			
WMV	H.264、Windows Media Video 9		WMA 9、WMA 10 Pro			
映像コーデック	映像最大ビットレート * <sup>2</sup>	最大解像度 (横 x 縦)				
MPEG1	40 Mbps	1920x1080 @ 30 Hz				
MPEG2	40 Mbps	1920x1080 @ 30 Hz				
MPEG4	40 Mbps	1920x1080 @ 30 Hz				
H.263	40 Mbps	1920x1080 @ 30 Hz				
H.264	135 Mbps	3840x2160 @ 60 Hz				
HEVC/H.265	100 Mbps	3840x2160 @ 60 Hz				
Windows Media Video 9 (WMV3)	40 Mbps	1920x1080 @ 30 Hz				
音声コーデック	音声最大ビットレート * <sup>2</sup>	最大チャンネル数				
LPCM	1.5 Mbps	5.1ch* <sup>1</sup>				
MPEG1/2 Layer3(MP3)	320 Kbps	2ch				
AAC	AAC-LC:576 Kbps HE-AAC v1: 288 Kbps HE-AAC v2: 144 Kbps	5.1ch* <sup>1</sup>				
WMA 9 Standard	320 Kbps	2ch				
WMA 10 Pro M0	192 Kbps	2ch				
WMA 10 Pro M1	384 Kbps	5.1ch* <sup>1</sup>				
WMA 10 Pro M2	768 Kbps	5.1ch* <sup>1</sup>				

\*1：2ch に変換して再生されます。

\*2：映像、音声の最大ビットレートを組み合わせた場合、スムーズに再生されない場合があります。

### お知らせ

- 上記の条件が満たされていても、動画ファイルを再生できないことがあります。  
ビットレートによっては、ファイルを正しく再生できないことがあります。  
本機が対応していないコーデックで作成された動画ファイルは再生できません。



## 5 章 高度な操作

### この章の内容：

- ⇒ 電源スケジュールの作成（47 ページ）
- ⇒ ピクチャーモードの使い方（48 ページ）
- ⇒ セキュリティー設定とボタン操作のロック（49 ページ）
- ⇒ パスワードによるセキュリティー（50 ページ）
- ⇒ ボタン操作のロック（51 ページ）
- ⇒ リモコン ID モード機能について（53 ページ）

# 電源スケジュールの作成

スケジュール機能により、本機の電源オンとスタンバイ状態を任意の時刻に切り替えることができます。

## スケジュールの作成：

- OSD メニューの「スケジュール」を表示する。
  - リモコンの ▲ / ▼ ボタンで「スケジュール情報」(86 ページ) を選択します。
  - SET/POINT ZOOM ボタンまたは+ ボタンを押して「設定」に移動します。
  - + / - ボタンでスケジュール番号を選択し、SET/POINT ZOOM ボタンを押します。
  - 番号のとなりの四角が黄色表示になります。  
これで、スケジュールの作成が可能になります。
- ▼ ボタンで「電源制御」を選択し、+ / - ボタンで「オン」を選択する。  
電源オフのスケジュールを設定する場合は「オフ」を選択します。
- ▼ ボタンで「時刻」を選択し、+ / - ボタンで時刻を設定する。
- ▲ / ▼ ボタンで「入力」を選択し、+ / - ボタンで入力信号を選択する。
- ▼ ボタンで「日付」、「毎週」、を選択し、作成するスケジュールに対応するメニュー項目を選択して SET/POINT ZOOM ボタンを押す。

特定の日にスケジュールを設定するときは「日付」にカーソルを合わせ、SET/POINT ZOOM ボタンを押します。  
特定の曜日にスケジュールを設定する場合は上下ボタンで「毎週」を選択して SET/POINT ZOOM ボタンを押します。  
続けて特定の曜日を設定します。
- ひとつのスケジュールの作成が完了すると、別のスケジュールの作成が可能になる。MENU ボタンを押して OSD メニューを終了するか、EXIT ボタンを押してひとつ前の OSD 画面に戻る。



## お知らせ

- 複数のスケジュールで日時が重なり合う場合は、番号の大きいスケジュールが優先されます。  
例えば、番号 7 のスケジュールが番号 1 のスケジュールより優先されます。

# ピクチャーモードの使い方

ピクチャーモードは「ピクチャーモード一覧」表のような用途に向けて設定されています。

## ピクチャーモードを変更する：

OSD メニューの「映像設定」→「ピクチャーモード」、またはリモコンの PICTURE MODE ボタンで表示モードを選択します。

DisplayPort、HDMI1、HDMI2、Media Player、COMPUTE MODULE\*<sup>1</sup>、OPTION 選択時

- 標準 → 店舗 → 会議室 → 高輝度 → 交通機関 → CUSTOM



\*<sup>1</sup> 動作しません。

## ピクチャーモード一覧

ピクチャーモード	目的
標準	標準の映像設定
店舗	サイネージ、ブランディングに適した映像設定
会議室	テレビ会議等に適した映像設定
高輝度	外光の明るい環境に適した映像設定
交通機関	公共施設等の設置に適した映像設定
CUSTOM	任意の設定

## お知らせ

OSD メニューの「映像設定」で設定した内容は、現在選択されている「入力」に対し保存されます。

# セキュリティ設定とボタン操作のロック

通常、ディスプレイはリモコンや本体コントロールパネルのボタンを使って誰でも操作できます。セキュリティを設定し、ロックをかけることで、権限を持たない人による本機の使用や設定の変更を禁止することができます。

以下のセキュリティ機能、ロック機能を説明します。

- パスワードの設定
- パスワードによるセキュリティ機能を有効にする
- リモコンのボタン操作をロックする
- 本体コントロールパネルのボタン操作をロックする

## お知らせ

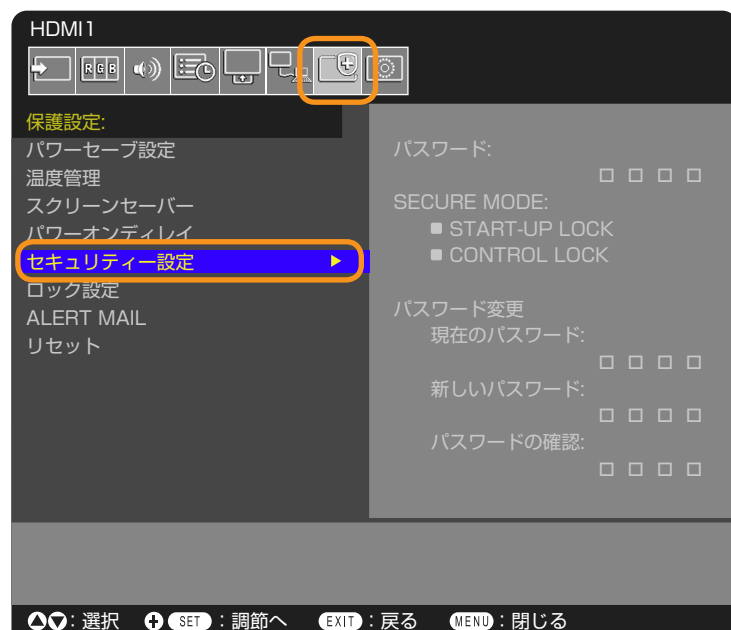
ここでは、本体のボタン操作のロックのしかたについて説明します。本機のその他のセキュリティ設定については、以下を参照ください。

- 「ネットワーク設定」(59 ページ) – ディスプレイの Web ページのセキュリティ設定

## 設定メニューの表示位置

ディスプレイの OSD メニューを使ってセキュリティとロックに関する設定をおこなう方法を説明します。セキュリティとロックに関する設定は、ディスプレイの Web ページによりおこなうこともできます。Web ページと OSD メニューで、機能の名称や表示される位置は同じです。Web ページを使った OSD メニュー操作 (58 ページ) を参照してください。

OSD メニューおよび Web ページで、セキュリティとロックの設定は OSD メニューの「保護設定」でおこないます。



## パスワードによるセキュリティ

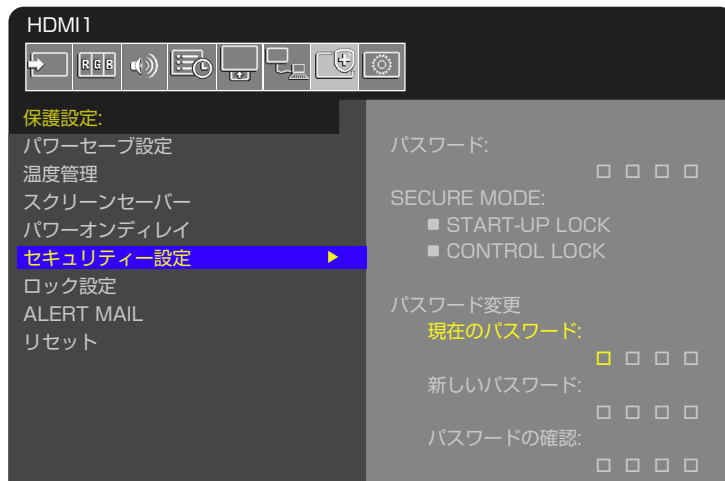
パスワードによるセキュリティを有効にすると、主電源をオンにするときや OSD メニューを表示するときに 4 桁のパスワード入力が必要になります。パスワードを入力すると、本機を通常どおりに使用できます。30 秒間パスワードの入力が無いと、本機は自動的に SECURE MODE に入り、再度パスワード入力が必要です。

### お知らせ

パスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを記録し安全な場所に保管してください。パスワードを忘れてしまった場合はロックを解除するためのパスワードが必要になります。パスワードについては販売店にお問い合わせください。

## 本機のパスワードを設定する

パスワードを変更する場合、以下の操作をおこなってください。



1. OSD メニューの「保護設定」→「セキュリティ設定」→「パスワード変更」を選択する。
2. 「現在のパスワード」に現在のパスワードを入力する（パスワードの初期値：0000）。
3. 「新しいパスワード」に新しいパスワードを入力し、「パスワードの確認」にもう一度新しいパスワードを入力する。
4. 新しいパスワードが保存される。

## パスワードによるセキュリティを有効にする



1. OSD メニューの「保護設定」→「セキュリティ設定」を選択する。
2. 「パスワード」にパスワードを入力し、「SECURE MODE」の設定に進む。
3. 「SECURE MODE」の種類を選択する。
  - START-UP LOCK – 主電源をオンにするときにパスワードが要求されます。  
主電源スイッチの操作時や停電後の電源再投入時にのみパスワードが要求されます。リモコンや本体コントロールパネルの電源ボタンによる電源オン時、スタンバイ移行時はパスワードは要求されません。
  - CONTROL LOCK – リモコンや本体のボタンを押したときにパスワードが要求されます。

## ボタン操作のロック

リモコンや本体コントロールパネルのボタンを操作しても本機が動作しないようロックすることができます。設定の変更に必要なボタンにはロックをかけないようにすることもできます。ボタン操作のロックやロック解除時のパスワードは不要です。

### リモコンのボタン操作をロックする

「ロック設定」により、リモコンのボタンによる本機の操作をロックします。「IR」を選択すると本体コントロールパネルのボタン操作をロックすることはできません。



- OSD メニューの「保護設定」→「ロック設定」→「SELECT」→「IR」を選択する。
- 「モード」でロックの有効範囲を選択する。
  - **ALL LOCK** - すべてのボタンをロックします。
  - **CUSTOM LOCK** - 以下のボタンは個別にロック設定をし、それ以外のボタンをすべてロックします。
    - **電源** - リモコンのボタンをロックしても、「有効」を選択すると電源ボタンは動作します。「無効」を選択すると電源ボタンもロックされます。
    - **音量** - リモコンのボタンをロックしても、「有効」を選択するとVOL +、VOL - ボタンで音量調節が可能になります。「無効」を選択すると音量調節はできません。  
音量調節をロックすると、ディスプレイの音量は最低音量に切り替わります。
    - **最小音量設定 / 最大音量設定** - 音量調節ボタンが動作し、設定された最低音量と最大音量の範囲内で音量の調節ができます。  
「音量」は有効に設定しておいてください。
    - **入力** - 「有効」を選択すると入力切替ボタンが動作します。入力切替ボタンをロックするときは「無効」を選択します。
- 「実行」を選択する。  
「実行」を押すと設定が反映されます。

### リモコンのボタン操作のロックを解除する

- **リモコン** - ロックを解除して通常のボタン動作に戻すには、DISPLAY ボタンを5秒以上押してください。

## 本体コントロールパネル上のボタン操作をロックする

「ロック設定」により、本体コントロールパネル上のボタンによる本機の操作をロックします。「KEY」を選択するとリモコンのボタン操作をロックすることはできません。



- OSD メニューの「保護設定」→「ロック設定」→「SELECT」→「KEY」を選択する。
- 「モード」でロックの有効範囲を選択する。
  - **ALL LOCK** – すべてのボタンをロックします。
  - **CUSTOM LOCK** – 以下のボタンは個別にロックの設定をし、それ以外のボタンをすべてロックします。
    - **電源** – ボタンをロックしても、「有効」を選択すると ボタンは動作します。
    - **音量** – ボタンをロックしても、「有効」を選択すると キーで音量調節が可能になります。「無効」を選択すると音量調節はできません。  
音量調節をロックすると、ディスプレイの音量は最低音量に切り替わります。
    - **最小音量設定 / 最大音量設定** – キーが動作し、設定された最低音量と最大音量の範囲内で音量の調節ができます。  
「音量」は有効に設定しておいてください。
    - **入力** – 「有効」を選択すると INPUT/SET ボタンで入力の切り替えが可能になります。
- 「実行」を選択する。  
「実行」を押すと設定が反映されます。

## 本体のボタン操作のロックを解除する

- **本体のボタン** – ロックを解除して通常のボタン動作に戻すには、本体コントロールパネルの SET キーと MENU/EXIT ボタンを同時に 3 秒以上押すと、すべての本体コントロールパネルのボタン / キーのロックを解除できます。
- **OSD メニュー** – ロックを解除して通常の動作に戻すには、OSD メニューの「保護設定」→「ロック設定」→「選択」で「KEY」を選択します。次に「モード」→「UNLOCK」→「実行」を選択します。

## リモコンのボタンと本体コントロールパネル上のボタン / キー操作をロックする

リモコンのボタンと本体コントロールパネル上のボタン / キー操作をロックします。

- OSD メニューの「保護設定」→「ロック設定」→「選択」→「KEY & IR」を選択する。

以降の設定手順やロックが有効になるボタン / キー、ロックの解除方法は [ リモコンのボタン操作をロックする ] と [ 本体コントロールパネル上のボタン / キー操作をロックする ] を参照ください。

# リモコン ID モード機能について

このリモコンには、モニター ID と同様の ID 番号を設定することができます。

複数台のディスプレイが並んだ場所で使用する場合、リモコンを ID モードで動作させ ID を切り替えることにより、ディスプレイを個別に操作することができます。

## ■ ディスプレイ本体の設定

モニター ID で ID 番号を設定する。

## ■ リモコンを ID モードにする。

リモコンの REMOTE ID の SET ボタンを 2 秒以上押すとリモコンは ID モードで動作します。

このとき、ID 番号は以前に設定した ID 番号で動作します。ID 番号の初期値は 1 です。

また、リモコンの ID 番号を設定した場合も ID モードで動作します。

なお、ID モード時のリモコンのボタン操作は、通常と同じです。

リモコンが ID モードのときに REMOTE ID の SET ボタンを押すと、画面の中央にモニター ID が表示されます。

## ■ リモコンをノーマルモードにする。(ID モードを解除する)

リモコンの REMOTE ID の CLEAR ボタンを 2 秒以上押すとリモコンはノーマルモードに戻ります。

リモコンの初期状態はノーマルモードです。

## ■ リモコンの ID 番号を設定する。

下記の手順で ID モード時の ID 番号を設定することができます。

### ● リモコンの REMOTE ID の SET ボタンを押した状態で

- ・ リモコンの “1” または “0” ボタンで ID 番号の 3 桁目を押す。
- ・ リモコンの “1-9、0” ボタンで ID 番号の 2 桁目を押す。
- ・ リモコンの “1-9、0” ボタンで ID 番号の 1 桁目を押す。

ID 番号を押した後、REMOTE ID の SET ボタンを放すと ID 番号が記憶されます。

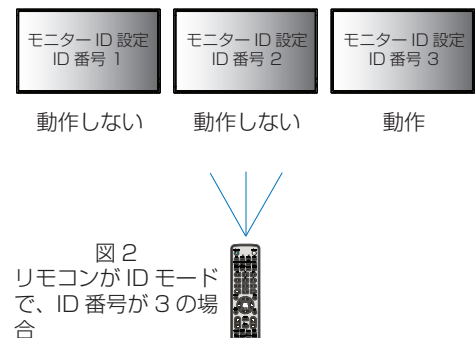
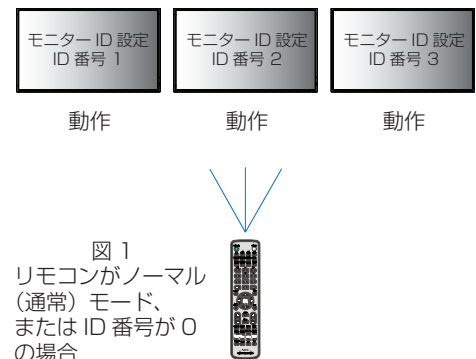
- ・ ID 番号入力時は時間をあけずに操作してください。
- ・ 設定できる ID 番号は 0 ～ 100 までです。
- ・ 0 を設定するとモニター ID の設定にかかわらずすべてのディスプレイが選択されます。
- ・ リモコンの ID 番号の設定が 0 以外で、リモコンの ID 番号がモニター ID の設定と一致しない場合は、リモコンでの操作はできません。

## ■ リモコンで特定のディスプレイのみを制御する方法

1. 制御したいディスプレイで OSD 画面を表示します。OSD メニュー「システム」→「外部制御」→「モニター ID」で ID 番号を設定します。モニター ID は 1 ～ 100 まで設定することができます。  
先頭から、順番に 1,2,3.... と連続で ID を設定されることをおすすめします。
2. リモコンの REMOTE ID の SET ボタンを押したまま、リモコンの ID 番号を入力します。リモコンの ID 番号は、制御したいディスプレイのモニター ID 番号と一致している必要があります。
3. リモコンを、制御したいディスプレイのリモコン受光部に向けて、REMOTE ID の SET ボタンを押します。画面中央にモニター ID 番号が赤色で表示されることを確認してください。  
モニター ID 番号が白色で表示される場合は、モニター ID 番号とリモコンの ID 番号は一致していません。

## お知らせ

リモコンではグループ ID を指定できません。





## 6 章 外部制御

### この章の内容：

- ⇒ RS-232C 経由でのディスプレイ制御 (55 ページ)
- ⇒ LAN 経由でのディスプレイ制御 (56 ページ)
- ⇒ HTTP を使用したブラウザーによるネットワークの設定 (57 ページ)
- ⇒ コマンド (63 ページ)
- ⇒ Proof of Play 機能 (64 ページ)

### 外部機器との接続方法

ディスプレイとコンピューターなどの外部機器との接続方法には、次の 2 つがあります。

- RS-232C 端子を使用した接続  
RS-232C 端子を使用して、ディスプレイとコンピューターを接続します。
- ネットワーク (LAN) 経由での接続  
LAN ケーブルを使用して、ディスプレイとコンピューターを接続します。

# RS-232C 経由でのディスプレイ制御

本機の RS-232C 端子とコンピューターの RS-232C 端子をリバースタイプ（クロスタイプ）の RS-232C ケーブル（市販）で接続するとコンピューターから次のような操作が可能になります。

- 電源を入れるまたは本機をスタンバイ状態にする
- 入力の切替
- ミュート（消音）の切替

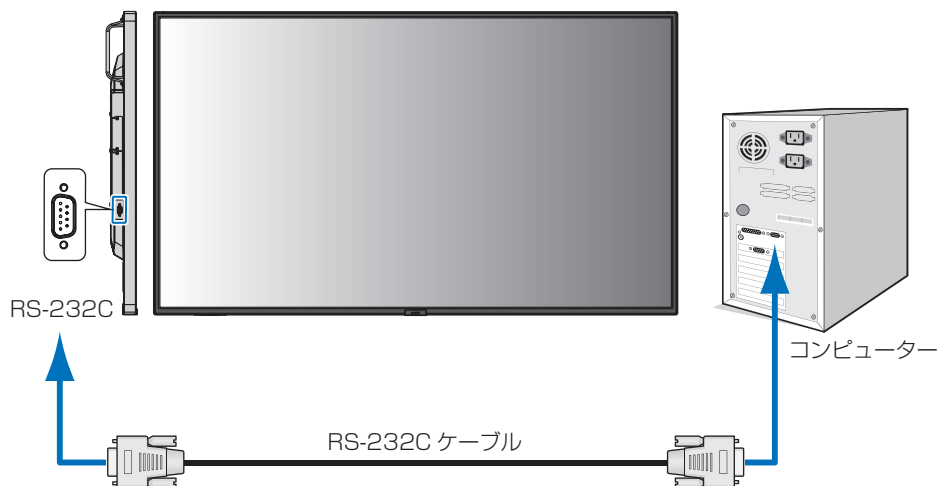
## お知らせ

「外部制御」の「外部制御端子」を「RS-232C」に設定してください（[92 ページ](#)）。

## 接続方法

本機とコンピューター

- 接続はコンピューターと本機の主電源を切ってからおこなってください。
- 最初にコンピューターを立ち上げてから本機の主電源を入れてください。（これをおこなわないと com ポートが正常に動作しない場合があります。）
- RS-232C で接続されたディスプレイを制御する場合は、本取扱説明書の「外部制御」内の「コントロールコマンド」もしくは当社 Web サイトの External\_control\_J.pdf（「付録 A 外部のリソース」[77 ページ](#)）を参照ください。



## お知らせ

- コンピューターの 25 ピンシリアルポートと接続する場合は変換アダプターが必要です。
- 変換アダプターについてはお買い上げの販売店へお問い合わせください。
- ピン配列については「2) RS-232C input/output」を参照してください。

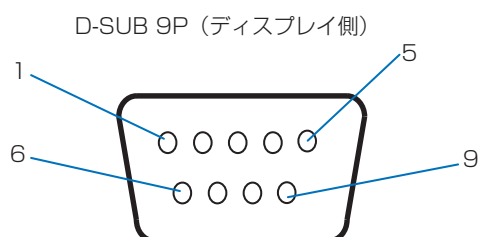
本機は RS-232C コントロール用として RXD、TXD および GND ラインを使用します。

リバースタイプ（クロスタイプ）の RS-232C ケーブル（市販）を使用してください。

## ピンの配列

RS-232C input / output

Pin No	Name
1	NC
2	RXD
3	TXD
4	NC
5	GND
6	NC
7	NC
8	NC
9	NC



ディスプレイは RS-232C の制御に RXD、TXD、GND を使用します。

## LAN 経由でのディスプレイ制御

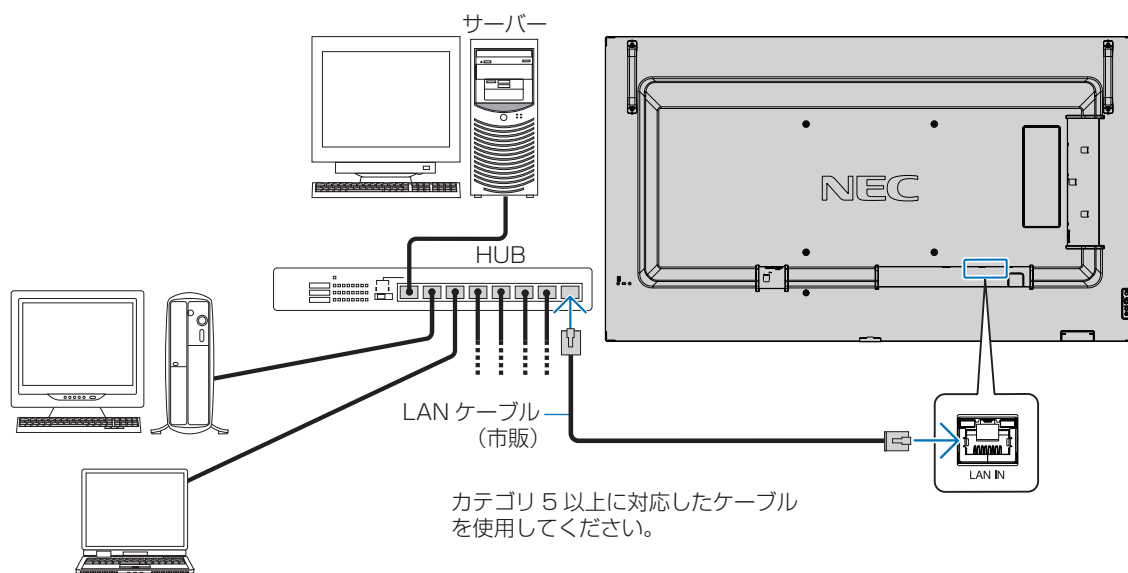
本機には LAN ポート (RJ-45) が標準装備されています。本機をネットワークに接続すると、本機からメール通知をおこなったり、コンピュータからネットワークを経由して本機を制御することができます。本機を LAN 環境で使用する場合は、本機に IP アドレスなどを設定する必要があります (88 ページ)。

DHCP ネットワークに接続した場合自動的に本機の IP アドレスを取得します。

### お知らせ

「外部制御」の「外部制御端子」を「LAN」に設定してください (92 ページ)。

### 接続例



# HTTP を使用したブラウザーによるネットワークの設定

## 概要

LAN ケーブル（市販）を接続すると HTTP サーバー機能を使って本機に LAN の設定がおこなえます。

本機は「JavaScript」および「Cookie」を利用していますので、これらの機能が利用可能な設定をブラウザーに対しておこなってください。設定方法はバージョンにより異なりますので、それぞれのソフトウェアにあるヘルプなどの説明を参照ください。

HTTP サーバー機能へのアクセスは、本機とネットワークで接続されたコンピュータで Web ブラウザーを起動し、以下の URL を入力することでおこなえます。

## ネットワーク設定

http://〈本機の IP アドレス〉/index.html

### お知らせ

- ・コントロールソフトは、当社 Web サイトからダウンロードしてください。
- ・工場出荷時の IP アドレス取得の設定は「自動」です。リセット後も IP アドレスは自動的に取得されます。
- ・ご使用のネットワーク環境によっては、表示速度やボタンの反応が遅くなったり、操作を受け付けなかったりすることがあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。  
また続けてボタン操作をおこなうとディスプレイが応答しなくなることがあります。その場合はしばらく待ってから再度操作をおこなってください。しばらく待っても応答が無い場合は、本機の主電源を入れなおしてください。
- ・Web ブラウザーでネットワーク設定画面が表示されない場合は、[Ctrl] + [F5] キーを押して Web ブラウザーの画面表示を更新してください。
- ・LAN で接続されたディスプレイを制御する場合は、Web サイトの External\_control\_J.pdf（「付録 A 外部のリソース」[77 ページ](#)）を参照ください。それでも表示されない場合は Web ブラウザーのキャッシュを消去してください。

## 使用前の準備

ブラウザーによる操作をおこなう前にあらかじめ本機に市販の LAN ケーブルを接続してください。

プロキシサーバーの種類や設定方法によっては、プロキシサーバーを経由したブラウザー操作ができないことがあります。プロキシサーバーの種類にもよりますがキャッシュの効果により実際に設定されているものが表示されない、ブラウザーから設定した内容が反映しないなどの現象が発生することがあります。プロキシサーバーはできるだけ使用しないことをおすすめします。

## ブラウザーによる操作のアドレスの扱い

以下の場合、ホスト名がそのまま利用できます。

- ・ブラウザーによる操作に際しアドレスまたは URL 欄に入力する実際のアドレスについてネットワーク管理者によってドメインネームサーバーへ本機の IP アドレスに対するホスト名が登録されている。
- ・使用しているコンピュータの「HOSTS」ファイルに本機の IP アドレスに対するホスト名が設定されている。

（例 1）本機のホスト名が「pd.nec.co.jp」と設定されている場合  
ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ  
http://pd.nec.co.jp/index.html と指定します。

（例 2）本機の IP アドレスが「192.168.73.1」の場合  
ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ  
http://192.168.73.1/index.html と指定します。

## ブラウザによる画面調節

以下の URL を入力し HOME 画面を表示します。HOME 画面左側にある各リンクをクリックして設定画面に入ります。  
http://〈本機の IP アドレス〉/index.html

## ブラウザによるリモコン操作

REMOTE CONTOROL：リモコンボタンと同等の操作をおこないます。

## Web ページを使った OSD メニュー操作

以下のリンクでは OSD メニューにあるすべての機能と同等の設定ができます。

「INPUT」、「PICTURE」、「AUDIO」、「SCHEDULE」、「SLOT」、「NETWORK」、「PROTECT」、「SYSTEM」

NEC

HOME  
REMOTE CONTROL  
INPUT  
PICTURE  
AUDIO  
SCHEDULE  
SLOT  
PROTECT  
SYSTEM  
NETWORK  
MAIL  
SNMP  
AMX  
CRESTRON  
NAME  
NETWORK SERVICE  
UPDATE FIRMWARE

**PICTURE**

PICTURE MODE ☒ NATIVE ☐ HIGHBRIGHT ☐ RETAIL ☐ CONFERENCING ☐ TRANSPORTATION ☐ CUSTOM

APPLY

BACKLIGHT 50 (0 - 100)

APPLY

BACKLIGHT DIMMING ☒ ON ☐ OFF

APPLY

VIDEO BLACK LEVEL 70 (0 - 100)

APPLY

GAMMA ☒ NATIVE ☐ 2.2 ☐ 2.4 ☐ 5 GAMMA ☐ DICOM SIM. ☐ PROGRAMMABLE1 ☐ PROGRAMMABLE2 ☐ PROGRAMMABLE3

APPLY

### お知らせ

- 設定画面に表示されるボタンの説明：

[APPLY] 設定を適用します。

[CANCEL] 各項目の設定を編集前の状態に戻します。

### お知らせ

- APPLY ボタンを押した後は、編集前の状態に戻りません。

[RELOAD] 表示しているページの設定値を再読み込みします。

[RESET] 各項目の設定が工場出荷の状態に戻ります。

ネットワーク設定

HOME 画面左側にある NETWORK をクリックして設定画面に入ります。

HOME

REMOTE CONTROL

INPUT

PICTURE

AUDIO

SCHEDULE

SLOT

PROTECT

SYSTEM

NETWORK

MAIL

SNMP

AMX

CRESTRON

NAME

NETWORK SERVICE

UPDATE FIRMWARE

NETWORK SETTINGS

IP SETTING	<input type="radio"/> AUTO <input checked="" type="radio"/> MANUAL
IP ADDRESS	<div>192<div>168</div><div>0</div><div>10</div></div>
SUBNET MASK	<div>255<div>255</div><div>255</div><div>0</div></div>
DEFAULT GATEWAY	<div><div><div></div></div><div><div></div></div><div><div></div></div><div><div></div></div></div>
DNS	<input type="radio"/> AUTO <input checked="" type="radio"/> MANUAL
DNS PRIMARY	<div><div><div></div></div><div><div></div></div><div><div></div></div><div><div></div></div></div>
DNS SECONDARY	<div><div><div></div></div><div><div></div></div><div><div></div></div><div><div></div></div></div>

APPLY

RESET

IP SETTING	<p>IP アドレスの設定方法を選択します。</p> <p>AUTO： IP アドレスを自動的に取得します。</p> <p>MANUAL： IP アドレスを手動で設定します。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <p>・ 接続に関して問題が発生した場合は、ネットワーク管理者にご確認ください。</p>	
IP ADDRESS	「IP SETTING」が「MANUAL」の場合に、本機を接続するネットワークにおける本機の IP アドレスを設定します。	
SUBNET MASK	「IP SETTING」が「MANUAL」の場合に、本機を接続するネットワークのサブネットマスクを設定します。	
DEFAULT GATEWAY	「IP SETTING」が「MANUAL」の場合に、本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。	設定を削除する場合は、[0.0.0.0] を設定します。
DNS	DNS サーバーの IP アドレスの設定方法を選択します。	
	AUTO： DNS サーバーの IP アドレスを自動的に取得します。	
	MANUAL： DNS サーバーの IP アドレスを手動で設定します。	
PRIMARY DNS	本機を接続するネットワークの優先 DNS サーバーの IP アドレスを設定します。	
	<b>お知らせ</b>	
	設定を削除する場合は、[0.0.0.0] を設定します。	
SECONDARY DNS	本機を接続するネットワークの代替 DNS サーバーの IP アドレスを設定します。	
	<b>お知らせ</b>	
	設定を削除する場合は、[0.0.0.0] を設定します。	

## メール通知設定

HOME 画面左側にある MAIL をクリックして設定画面に入ります。

本機をネットワークに接続して使用しているとき、各種エラーが発生した場合に、本機の状態をEメールでコンピューターなどへ通知します。

ALERT MAIL	エラーが発生した場合、本機から RECIPIENT'S ADDRESS へメール通知をおこないます。STATUS MESSAGE が ENABLE に設定されていると、本機が無信号状態になった場合もメール通知をおこないます。 ENABLE…以下の設定に基づいてメール通知機能が働きます。 DISABLE…メール通知機能が停止します。	—
STATUS MESSAGE	ALERT MAIL に無信号状態のメール通知を含むかどうかを設定します。 ENABLE…以下の設定に基づいて無信号状態を通知する機能が働きます。 DISABLE…本機が無信号状態を通知する機能が停止します。	—
SENDER'S ADDRESS	差出人アドレスを設定します。 Eメールの「from」にあたるアドレスです。	英数字、記号 最大 60 文字
SMTP SERVER	メール送信に使用する SMTP サーバーを設定します。	英数字 最大 60 文字
RECIPIENT'S ADDRESS 1 ～ 3	宛先のアドレスを設定します。宛先は 3 つまで設定できます。 Eメールの「to」にあたるアドレスです。	英数字、記号 最大 60 文字
AUTHENTICATION METHOD	メール送信の認証方式を選択します。	—
POP3 SERVER	メールの認証に使用する POP3 サーバーのアドレスを指定します。	—
USER NAME	メール送信に認証が必要な場合、認証サーバーにログインするためのユーザー名を設定します。	英数字 最大 60 文字
PASSWORD	メール送信に認証が必要な場合、認証サーバーにログインするためのパスワード名を設定します。	英数字 最大 60 文字
TEST MAIL	メール設定通知を確認するために、テストメールを送信します。	—

### お願い

- 送信テストをおこなって、送信エラーになったりメールが届かない場合は、ネットワーク設定の設定内容を確認してください。
- 宛先のアドレスが間違っている場合は、送信テストでエラーにならないことがあります。テストメールが届かない場合は、宛先アドレスを確認してください。

## Alert Mail 一覧

エラー番号 Error Code	Alert Mail メッセージ	説明	対策
70h ~ 7Fh	The monitor's power supply is not functioning normally.	電源異常	販売店または修理受付 / アフターサービス窓口へご相談ください。
80h ~ 8Fh	The cooling fan has stopped.	冷却ファン異常	販売店または修理受付 / アフターサービス窓口へご相談ください。
90h ~ 9Fh	The monitor's back light unit is not functioning normally.	バックライト異常	販売店または修理受付 / アフターサービス窓口へご相談ください。
A0h ~ AFh	The monitor is overheated.	温度異常	販売店または修理受付 / アフターサービス窓口へご相談ください。
B0h ~ BFh	The monitor doesn't have the input signal.	NO SIGNAL	「困ったとき」の「画面に何も映らない」「電源ランプが青色に点灯または青色以外に点灯もしくは点滅している場合」を参照してください。
D0h	The remaining capacity of the error log decreased.	Proof of Play ログ容量が少なくなっています	外部コマンドを使用して、ログを取得してください。詳細は本取扱説明書の「Proof of Play 機能」を参照ください。
D1h	The battery for clocks is empty	バッテリーが切れています。	本機を電源コンセントにつなぎ充電してください。OSD メニューの「日付 / 時刻設定」を設定してください。
E0h ~ EFh	The system error occurred in the monitor.	システムエラー	販売店または修理受付 / アフターサービス窓口へご相談ください。

## SNMP 設定

HOME 画面左側にある SNMP をクリックして設定画面に入ります。

SNMP はネットワークに接続された機器を管理するための情報通信方法です。

SNMP を設定することにより、管理対象の機器の情報取得や設定変更がおこなえます。

### バージョン

SNMP v1 コミュニティ名による平文の認証、Trap 再送確認なし

SNMP v2c コミュニティ名による平文の認証、Trap 再送確認あり

### コミュニティ

初期設定のコミュニティ名は public です。値を読むことのみが可能です。コミュニティ名は 3 つまで設定することができます。

### Trap 送信

管理対象の機器にエラーが発生した場合、指定されたアドレスに Trap 送信をおこなうことができます。

Trap 選択項目	説明	エラーコード
Temperature	温度異常	0xA0, 0xA1, 0xA2
Fan	冷却ファン異常	0x80, 0x81
Power	電源異常	0x70, 0x71, 0x72, 0x78
Inverter/Backlight	バックライト異常	0x90, 0x91
No Signal	NO SIGNAL	0xB0
PROOF OF PLAY	Proof of Play ログ容量の残量減少	0xD0
System Error	システムエラー	0xE0



## AMX 設定

HOME 画面左側にある AMX をクリックして設定画面に入ります。

AMX BEACON	本機を AMX 社の NetLink コントロールシステムに対応したネットワークに接続した場合、AMX Device Discovery からシステムへのビーコン送信機能の有効 (ENABLE)/ 無効 (DISABLE) を設定します。
------------	---

### お知らせ

AMX Device Discovery は、対応した機器を接続すると自動的に検出し、制御に必要な Device Discovery Module を AMX のサーバからダウンロードする仕組みです。

## CRESTRON 設定

HOME 画面左側にある CRESTRON をクリックして設定画面に入ります。

ROOMVIEW	コンピューターで制御する場合に設定します。 ON: ROOMVIEW を有効にします。 OFF: ROOMVIEW を無効にします。
CRESTRON CONTROL	コントローラーで制御する場合に設定します。 ON: CRESTRON CONTROL を有効にします。 OFF: CRESTRON CONTROL を無効にします。
CONTROLLER IP ADDRESS	CRESTRON SERVER の IP ADDRESS を設定します。
IP ID	CRESTRON SERVER の IP ID を設定します。

### お知らせ

- CRESTRON の項目は、CRESTRON ROOMVIEW を使用する場合に設定します。  
CRESTRON ROOMVIEW については、Crestron 社のホームページをご覧ください。  
(英語のみ) <http://www.crestron.com>

## NAME 設定

HOME 画面左側にある NAME をクリックして設定画面に入ります。

MONITOR NAME	本機の名称を設定します。初期設定はモデル名です。 この名称はアプリケーション使用時に同じネットワーク上の機器を検索すると表示されます。	英数字 最大 16 文字
HOST NAME	本機のホスト名を設定します。	英数字 最大 15 文字
DOMAIN NAME	本機のドメイン名を設定します。	英数字 最大 60 文字

## NETWORK SERVICE 設定

HOME 画面左側にある NETWORK SERVICE をクリックして設定画面に入ります。

PJLink CLASS	使用する PJLink (ピージェイリンク) のクラスを指定します。 <b>お知らせ</b> <ul style="list-style-type: none"><li>PJLink (ピージェイリンク) とは社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会 (略称 JBMA) が制定したネットワーク (通信) インターフェイス規格です。 <a href="http://pjlink.jbmia.or.jp/index.html">http://pjlink.jbmia.or.jp/index.html</a> 本機は、PJLink class 1, class 2 のすべてのコマンドに対応しています。</li></ul>
NOTIFY FUNCTION ENABLE	ディスプレイのネットワークの変化を通知する機能の有効 / 無効を設定します。 PJLink class 2 で使用する機能です。
NOTIFY ADDRESS	ディスプレイの変化を通知する先の IP アドレスを設定します。 PJLink class 2 で使用する機能です。
PJLink PASSWORD	PJLink を使用する場合に、パスワードを設定します。パスワードは最大 32 文字までの英数字で設定してください。
HTTP PASSWORD	HTTP サーバーを使用する場合に、パスワードを設定します。 パスワードは最大 32 文字までの英数字で設定してください。
HTTP PASSWORD ENABLE	HTTP サーバーにログインする際のパスワード入力の有無を設定します。パスワードを入力する際は、USER NAME に本機の名称を設定します。

# コマンド

RS-232C 端子やネットワーク（LAN）経由で接続した外部機器とコマンドを送受信することでディスプレイの制御ができます。それぞれのコマンドフォーマットは、当社 Web サイトの External\_Control\_J.pdf（「付録 A 外部のリソース」[77 ページ](#)）を参照ください。

## RS-232C 端子を使用した接続

項目	詳細
プロトコル	RS-232C
ボーレート	9600 [bps]
データ長	8 [bits]
パリティ	なし
ストップビット	1 [bit]
フロー制御	なし

## ネットワーク（LAN）経由での接続

項目	詳細
プロトコル	TCP
ポートナンバー	7142
コミュニケーション速度	自動設定（10/100 Mbps）

## ASCII コントロールコマンドについて

本機は、External\_Control\_J.pdf に記載されたコマンドの他に、当社のディスプレイまたはプロジェクターを制御するための共通 ASCII コントロールコマンドに対応しています。コマンドの詳細は当社 Web サイトを参照ください。

## 本機で使用するパラメーター

入力コマンド		
入力信号名称	レスポンス	パラメーター
HDMI1	hdmi1	hdmi1 または hdmi
HDMI2	hdmi2	hdmi2
DisplayPort	displayport	displayport
Media Player	mp	mp
OPTION	option	option
COMPUTE MODULE*	compute_module	compute_module

\*: 動作しません。

ステータスコマンド	
レスポンス	エラー状態
error:temp	温度異常
error:fan	冷却ファン異常
error:light	バックライト異常
error:system	システムエラー

# Proof of Play 機能

表示状態をセルフチェックし、ネットワークを通じて本機の状態を通知する機能です。詳しくは当社 Web サイトの External\_Control\_J.pdf (「付録 A 外部のリソース」 [77 ページ](#)) を参照ください。

以下のセルフチェックをおこないます。

チェック項目		通知内容
①	選択されている映像入力	DisplayPort、HDMI1、HDMI2、Media Player、COMPUTE MODULE* <sup>1</sup> 、OPTION* <sup>2</sup>
②	入力信号の解像度	(例) (H)1920, (V)1080, (H)3840, (V)2160 or No signal or Invalid signal
③	入力されているオーディオ信号の有無	Audio in or No Audio in or N/A
④	映像の出力状態	Normal Picture or No Picture
⑤	オーディオの出力状態	Normal Audio or No Audio
⑥	年月日時間	年 / 月 / 日 / 時間 ( h ) / 分 ( m ) / 秒 ( S )
⑦	EXPANSION DATA	00h: Normal Proof of Play event 01h: Proof of Play event is "last power on time" 10h: MEDIA PLAYER is stop 11h: MEDIA PLAYER is start 12h: MEDIA PLAYER is pause 13h: MEDIA PLAYER error occur 40h: Human detected (Human sensor Status) 41h: Human detect cleared (Human Sensor Status)

\*1：動作しません。

\*2：対応するオプションボード装着時のみ切り替わります。対応可能なオプションボードについては販売店へお問い合わせください。

## 通知メッセージ例

- ① HDMI1
- ② 3840 x 2160
- ③ Audio in
- ④ Normal Picture
- ⑤ Normal Audio
- ⑥ 2020/1/1/0h/0m/0s
- ⑦ 10h: MEDIA PLAYER is stop

## 7 章 困ったとき

### この章の内容：

- ⇒ 故障かな？と思ったら… (66 ページ)
- ⇒ 表示されないときは… (66 ページ)
- ⇒ 表示がおかしいときは… (67 ページ)
- ⇒ 案内画面／注意画面が表示されたら… (68 ページ)
- ⇒ その他（コンピューターと接続している場合）(68 ページ)
- ⇒ その他（リモコン、スピーカー）(68 ページ)
- ⇒ その他（RS-232C または LAN で接続している）(69 ページ)
- ⇒ メディアプレーヤーを使用するとき (69 ページ)
- ⇒ 映像機器を使用するとき (69 ページ)

# 故障かな？と思ったら…


このようなときは、チェックしてください。

## 表示されないときは…

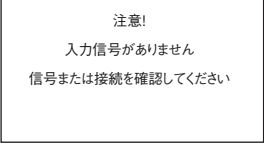
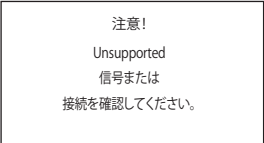
症 状	状 態	原因と対処	参照
画面に何も映らない	電源ランプが赤色に点滅している場合	本機の故障である可能性があります。販売店または修理受付 / アフターサービス窓口にご相談ください。	P.95
	電源ランプが点灯しない場合 OSDメニューの「システム」→「電源ランプ」が「オン」の場合	電源コードが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P.12
		電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。	
		主電源スイッチがオフになっている可能性がありますので、確認してください。	P.37
	電源ランプが青色に点灯している場合	信号入力が無い入力コネクタが選択されている可能性があります。入力切替ボタンを押して、入力コネクタを切り替えてください。	P.23
		OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P.41
		● OSD 画面が表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または修理受付 / アフターサービス窓口にご相談ください。	P.95
		● OSD 画面が正常に表示されれば故障ではありません。「映像設定」の「バックライト」と「コントラスト」を調節してください。	P.82
		● OSD 画面が正常に表示され、「バックライト」と「コントラスト」を調節しても画面が表示されない場合は、接続している機器が正しい動作状態にあることを確認してください。コンピューターと接続している場合は、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P.30
	電源ランプが青色以外に点灯もしくは点滅している場合	パワーマネジメント機能が作動している可能性があります。キーボードの適当なキーを押すか、マウスを動かす、ケーブルを差しなおす、またはリモコンの POWER ON ボタンを押してください。	P.26, P.37, P.38
		信号ケーブルが本機または接続機器のコネクタに正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P.29
		変換アダプターが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P.30
		接続しているコンピューターや映像機器の電源が入っていない可能性がありますので、確認してください。	
画面が表示されなくなった	正常に表示されていた画面が、暗くなったり、ちらつくようになったり、表示しなくなった場合※	新しい液晶パネルとの交換が必要です。販売店または修理受付 / アフターサービス窓口にご相談ください。	P.95

※ ディスプレイに使用しているバックライトには寿命があります。

## 表示がおかしいときは…

症 状	原因と対処	参照
画面上に黒点(点灯しない点)や輝点(点灯したままの点)がある	液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P.1
画面表示の明るさにムラがある	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面に薄い縦縞の陰が見える	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
細かい模様を表示するとモアレが生じる	細かい模様を表示するとこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面を見る角度によって色がおかしい	視野角(画面を見る角度)によっては、色相の変化が大きくなります。	P.72~75
画面の表示状態が変わっていく	ディスプレイは使用時間の経過に伴い表示状態が少しずつ変化します。また周囲の温度によっては画面の表示状態に影響を受けることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P.26
画面を切り替えても前の画面の像が薄く残っている	長時間同じ静止画面を表示すると、このような残像が起こることがあります。本機をリモコンのSTANDBY ボタンまたは  ボタンでスタンバイ状態にするか、変化する画面を表示していれば、残像は1日程度で自然に消えます。長時間に渡って静止画面を表示すると、残像が消えなくなる場合がありますが、故障ではありません。使用しないときには電源を切ることをおすすめします。	
表示色がおかしい	OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P.41
	● OSD 画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。 販売店または修理受付 / アフターサービス窓口にご相談ください。	P.95
	● OSD 画面が正常に表示されれば故障ではありません。「色のこさ」を選択し、お好みで色の割合を調節していただくか、または映像設定の「アドバンスト」のリセットをおこなって工場出荷値に戻してください。	P.82, P.85
	● OSD 画面が正常に表示され、「映像設定」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P.29, P.71
画面がざらつく(上記以外の場合)、または映像が一瞬途切れる	中継器、分配器、長いケーブルを使用した場合、画面のざらつきや映像が一瞬途切れることがあります。ご使用のケーブルをシールド付きの物に交換する、もしくは中継器、分配器を使用せずに直接ディスプレイ本体にケーブルを接続してください。ツイストペアケーブル延長器をご利用の際はシールド付きケーブルに対応したものをご使用ください。また、使用環境や使用ケーブルによって画面にノイズが現れたり映像が途切れることがあります。このような場合、当社 Web サイト内「ディスプレイの設置と接続に関するご注意」をご確認ください。	
	OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P.41
	● OSD 画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。 販売店または修理受付 / アフターサービス窓口にご相談ください。	P.95
	● HDMI 入力を使用し、解像度 3840 × 2160 または 4096 × 2160 にて入力した際に映像が途切れる場合は、4K 対応の HDMI ケーブルをご使用ください。	
自動的に電源が切れてしまう	「オフタイマー」の設定を確認してください。 「CEC」の設定を「オフ」にしてください。	P.86, P.80
スケジュール機能で設定したとおり に動作しない	「オフタイマー」の設定を確認してください。 「オフタイマー」が「オン」と設定されている場合は、スケジュール機能は動作しません。	P.86
画面が乱れる	電源を入れたとき、または設定を変更したときに画像が乱れることがありますが、故障ではありません。	
OSD 項目が見つからない	OSD メニューを「ポートレート」で表示している場合、一部の機能は表示されません。「ランドスケープ」に設定の上、確認してください。	P.92

## 案内画面／注意画面が表示されたら…

症 状	原 因	対 処	参照
画面に「注意」が表示された※ <sup>1</sup> 	信号ケーブルが本体またはコンピューターのコネクタに正しく接続されていない可能性があります。	信号ケーブルを本体およびコンピューターのコネクタに正しく接続してください。	P.29
	HDMI入力が切り替わった可能性があります。	「CEC」の設定を「オフ」にしてください。	P.80
	信号ケーブルが断線している可能性があります。	信号ケーブルが断線していないか確認してください。	
	コンピューターの電源が切れている可能性があります。	コンピューターの電源が入っているか確認してください。	
	コンピューターのパワーマネジメント機能が作動している可能性があります。	マウスを動かすかキーボードのキーを押してください。	
※ <sup>2</sup> 	本機に適切な信号が入力されていない可能性があります。	入力周波数またはコンピューターの解像度を変更してください。	P.30
	本機の対応する解像度よりも高い解像度の信号を入力しています。	入力周波数またはコンピューターの解像度を変更してください。	P.30
画面に「温度警告！！」が表示された	周りの環境が保証温度を超えた状態になっています。	故障の原因となりますので、電源を切ってください。	

※<sup>1</sup> コンピューターによっては、解像度や入力周波数を変更しても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば、入力信号は適正です。

※<sup>2</sup> コンピューターによっては電源を入れても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば入力信号の周波数は適正です。

## その他（コンピューターと接続している場合）

症 状	原 因	対 処
解像度や色数の変更ができない／固定されてしまう	うまく信号が入出力できないことがまれにあります。	本機とコンピューターの電源をいったん切り、もう一度電源を入れ直してください。
	ビデオカードのドライバーがOSに正しく認識されていない可能性があります。	ビデオカードのドライバーを再インストールしてください。再インストールに関しては、コンピューターの取扱説明書を参照いただくか、コンピューターのサポート機関にお問い合わせください。

## その他（リモコン、スピーカー）

症 状	原因と対処	参照
リモコンで操作できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● リモコンの乾電池が消耗していませんか。</li> <li>● リモコンの乾電池の＋が逆に入っていませんか。</li> <li>● ディスプレイ本体またはリモート入力コネクタに接続したセンサーユニットの受光部に正しく向けていますか。</li> <li>● 「ロック設定」の選択が「IR」または「KEY &amp; IR」が設定されていませんか。</li> <li>● リモコンがIDモードになっていませんか。</li> <li>● モニターIDとリモコンIDの番号はあっていますか。</li> </ul>	P.11, P.53, P.91



映像は出るが、音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オーディオケーブルが正しく接続されているか確認してください。また音声バランスが片側によっていないか調べてください。片側によっている場合はバランス設定をセンターに戻してください。オーディオ出力コネクタの音声は、「サラウンド」と「イコライザー」の調節はできません。</li> <li>● 消音状態になっていませんか。本体またはリモコンのミュートボタンを押して、音が出るかどうかを確認してください。</li> <li>● 音量が最小になっていませんか。本体の＋ボタンまたはリモコンの音量調節プラスボタン(+)、音量調節マイナスボタン(－)で音量を調節してください。</li> <li>● DisplayPort 接続している機器によっては音声出力非対応の場合があります。</li> </ul>	P.24, P.26, P.30, P.85, P.86
--------------	--	--

## その他（RS-232C または LAN で接続している）

症 状	原因と対処	参照
RS-232C で制御できない	リバースタイプ(クロスタイプ)のRS-232C ケーブルが正しく接続されているかを確認してください。	P.55
LAN で制御できない	LAN ケーブル (Cat.5 以上) が正しく接続されているかを確認してください。	P.56
	ネットワーク設定が正しく設定されているか確認してください。	P.56

## メディアプレーヤーを使用するとき

症 状	原因と対処	参照
メディアプレーヤー機能で USB ストレージデバイスが認識されない	USB に USB ストレージデバイスが正しく接続されていることを確認してください。	P.34

## 映像機器を使用するとき

症 状	原因と対処	参照
映像も音も出ない	プレーヤーなどの外部機器は正しく接続し、正しく操作していますか。詳しくは外部機器の取扱説明書をご覧ください。	P.29
	本機のパワーマネージメント機能が作動している可能性があります。外部機器側が動作(再生)状態になっているかご確認ください。	P.38
色がつかない、色がおかしい	「色のこさ」の調節をしてください。	P.82
画面が縦長に見える	16：9 の映像が 4：3 に圧縮され、縦長の映像として表示されている場合(スクイーズ信号)があります。 正しい比率で見るために、画面の「アスペクト」を「ワイド」に設定してください。	P.83



## 8 章 仕様

### この章の内容：

- ⇒ 対応信号一覧（71 ページ）
- ⇒ M431（72 ページ）
- ⇒ M491（73 ページ）
- ⇒ M551（74 ページ）
- ⇒ M651（75 ページ）

# 対応信号一覧

信号名	解像度	走査周波数		HDMI		DisplayPort	備考
		水平	垂直	設定 1	設定 2		
VGA	640 × 480	31.5 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	
SVGA	800 × 600	37.9 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	
XGA	1024 × 768	48.4 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	
HD	1280 × 720	45.0 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	
WXGA	1280 × 768	47.8 kHz	60 Hz	Yes	No	Yes	
	1280 × 800	49.7 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	
SXGA	1280 × 1024	64 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	
WXGA	1360 × 768	47.7 kHz	60 Hz	Yes	No	Yes	
	1366 × 768	47.7 kHz	60 Hz	Yes	No	Yes	
SXGA+	1400 × 1050	65.3 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	
WXGA+	1440 × 900	55.9 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	
UXGA	1600 × 1200	75.0 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	
WSXGA+	1680 × 1050	65.3 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	
Full HD	1920 × 1080	67.5 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	
WUXGA	1920 × 1200	74.6 kHz	60 Hz	No	Yes	Yes	
4K/2	1920 × 2160	133.3 kHz	60 Hz	No	Yes	No	
4K	3840 × 2160	54.0 kHz	24 Hz	Yes	Yes	Yes	
	3840 × 2160	56.3 kHz	25 Hz	Yes	Yes	Yes	
	3840 × 2160	65.7 kHz	30 Hz	No	No	Yes	
	3840 × 2160	67.5 kHz	30 Hz	Yes	Yes	Yes	
	3840 × 2160	112.5 kHz	50 Hz	No	Yes	Yes*	
	3840 × 2160	133.3 kHz	60 Hz	No	No	Yes*	推奨信号タイミング
	3840 × 2160	135.0 kHz	60 Hz	No	Yes	Yes*	推奨信号タイミング
	4096 × 2160	54.0 kHz	24 Hz	Yes	Yes	Yes	簡易圧縮表示
	4096 × 2160	56.3 kHz	25 Hz	No	Yes	Yes	簡易圧縮表示
	4096 × 2160	67.5 kHz	30 Hz	No	Yes	Yes	簡易圧縮表示
	4096 × 2160	112.5 kHz	50 Hz	No	Yes	Yes*	簡易圧縮表示
	4096 × 2160	135.0 kHz	60 Hz	No	Yes	Yes*	簡易圧縮表示
HDTV(1080p)	1920 × 1080	27.0 kHz	24 Hz	Yes	Yes	Yes	
	1920 × 1080	28.1 kHz	25 Hz	Yes	Yes	Yes	
	1920 × 1080	33.8 kHz	30 Hz	Yes	Yes	Yes	
	1920 × 1080	56.3 kHz	50 Hz	Yes	Yes	Yes	
	1920 × 1080	67.5 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	
HDTV(1080i)	1920 × 1080 (interlace)	28.1 kHz	50 Hz	Yes	Yes	Yes	
	1920 × 1080 (interlace)	33.8 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	
HDTV(720p)	1280 × 720	37.5 kHz	50 Hz	Yes	Yes	Yes	
	1280 × 720	45.0 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	
SDTV(576p)	720 × 576	31.3 kHz	50 Hz	Yes	Yes	Yes	
SDTV(480p)	720 × 480	31.5 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	
SDTV(576i)	720 × 576 (interlace)	15.6 kHz	50 Hz	Yes	Yes	No	
SDTV(480i)	720 × 480 (interlace)	15.7 kHz	60 Hz	Yes	Yes	No	

\*： HBR2 選択時のみ

## お知らせ

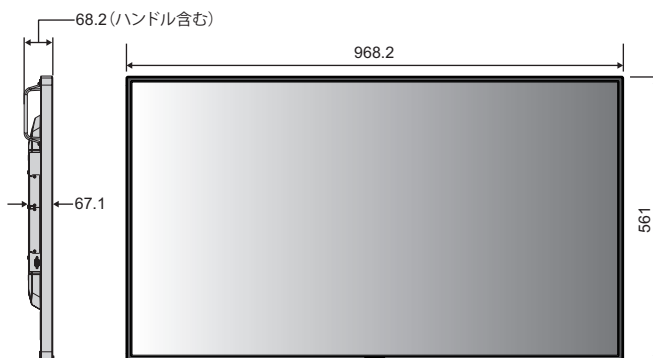
- ・ 入力される信号の解像度によっては、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。
- ・ ビデオカードまたはドライバーによっては映像を正しく表示することができない場合があります。

# M431

サイズ(表示サイズ)				43型(1080 mm) (対角)
液晶方式				アクティブマトリクス方式カラー TFT液晶
有効表示領域				941.18 × 529.42 mm
表示画素数				3840 × 2160
画素ピッチ				0.245 mm
表示色				約10億7374万色
視野角(標準値)				左右178°、上下178° (コントラスト比10)
輝 度				350 cd/m <sup>2</sup> (工場出荷設定標準値) 500 cd/m <sup>2</sup> (最大値) (周囲温度25℃)
コントラスト比(標準値)				1000:1
応答速度(標準値)				8 ms (G to G)
走査周波数	水平周波数			15 -136 kHz
	垂直周波数			23 - 76 Hz
ピクセルクロック				25 - 600 MHz (HDMI/DisplayPort)
入力端子	DisplayPort	DisplayPort コネクター	デジタルRGB信号	DisplayPort(最大4096x2160(60 Hz)、HDCP 1.3/2.2)
	HDMI	HDMI コネクター	デジタル色差信号 デジタルRGB信号	HDMI (最大4096x2160(60 Hz)、HDCP 1.4/2.2)
音声端子	オーディオ入力	DisplayPort コネクター	デジタル音声信号	PCM 32,44.1,48 kHz (16, 20, 24 bit)
		HDMI コネクター	デジタル音声信号	PCM 32,44.1,48 kHz (16, 20, 24 bit)
	オーディオ出力	3.5φステレオミニジャック×1	音声信号	入力選択された信号を出力：ステレオ L/R 0.5 Vrms
		HDMI (ARC) <sup>※2</sup>	デジタルオーディオ	PCM 32,44.1,48 kHz (16, 20, 24 bit)
音声出力				内蔵スピーカー：10 W + 10 W(ステレオ)
制御信号	制御入力コネクター			D-SUB9ピン(RS-232C) × 1
	LANポート			RJ-45 10BASE-T/100BASE-TX
	リモコン入力コネクター			3.5 φステレオミニジャック× 1
USBポート				メディアプレーヤー用、電力供給用 供給電圧：5 V、最大供給電流：2 A
使用環境条件	温 度			0～40℃
	湿 度			20～80 % (結露のないこと)
	高 度			0 - 3000 m
保管環境条件	温 度			-20～60℃
	湿 度			10～80 % (結露のないこと)
電 源	電源入力		AC100 V 50/60 Hz	
	消費電力 (オプション非使用時)	標準	80 W <sup>※1</sup>	
		パワーセーブ時	2.0 W以下 <sup>※1</sup>	
		スタンバイ時	0.5 W以下 <sup>※1</sup>	
オプションボード供給電力				12 V/3.4 A
質 量				約17.5 kg

外形寸法(突起部を除く)

- ※ 1 工場出荷時の設定条件
- ※ 2 HDMI1 のみ



仕様は予告なしに変更することがあります。

寸法: mm

# M491

サイズ(表示サイズ)				49型(1232 mm) (対角)
液晶方式				アクティブマトリクス方式カラー TFT液晶
有効表示領域				1073.80 × 604.00 mm
表示画素数				3840 × 2160
画素ピッチ				0.280 mm
表示色				約10億7374万色
視野角(標準値)				左右178°、上下178° (コントラスト比10)
輝 度				350 cd/m <sup>2</sup> (工場出荷設定標準値) 500 cd/m <sup>2</sup> (最大値) (周囲温度25℃)
コントラスト比(標準値)				1100:1
応答速度(標準値)				8 ms (G to G)
走査周波数	水平周波数			15 -136 kHz
	垂直周波数			23 - 76 Hz
ピクセルクロック				25 - 600 MHz (HDMI/DisplayPort)
入力端子	DisplayPort	DisplayPort コネクター	デジタルRGB信号	DisplayPort(最大4096x2160(60 Hz)、HDCP 1.3/2.2)
	HDMI	HDMI コネクター	デジタル色差信号 デジタルRGB信号	HDMI (最大4096x2160(60 Hz)、HDCP 1.4/2.2)
音声端子	オーディオ入力	DisplayPort コネクター	デジタル音声信号	PCM 32、44.1、48 kHz (16, 20, 24 bit)
		HDMI コネクター	デジタル音声信号	PCM 32、44.1、48 kHz (16, 20, 24 bit)
	オーディオ出力	3.5φステレオミニジャック×1	音声信号	入力選択された信号を出力：ステレオ L/R 0.5 Vrms
		HDMI (ARC) <sup>*2</sup>	デジタルオーディオ	PCM 32、44.1、48 kHz (16, 20, 24 bit)
音声出力				内蔵スピーカー：10 W + 10 W(ステレオ)
制御信号	制御入力コネクター			D-SUB9ピン(RS-232C) × 1
	LANポート			RJ-45 10BASE-T/100BASE-TX
	リモコン入力コネクター			3.5φステレオミニジャック×1
USBポート				メディアプレーヤー用、電力供給用 供給電圧：5 V、最大供給電流：2 A
使用環境条件	温 度			0 ～ 40℃
	湿 度			20 ～ 80 % (結露のないこと)
	高 度			0 - 3000 m
保管環境条件	温 度			-20 ～ 60℃
	湿 度			10 ～ 80 % (結露のないこと)
電 源	電源入力			AC100 V 50/60 Hz
	消費電力 (オプション非使用時)	標準		95 W <sup>*1</sup>
		パワーセーブ時		2.0 W以下 <sup>*1</sup>
		スタンバイ時		0.5 W以下 <sup>*1</sup>
オプションボード供給電力				12 V/5.5 A
質 量				約21.8 kg

外形寸法(突起部を除く)

- ※ 1 工場出荷時の設定条件
- ※ 2 HDMI1 のみ



仕様は予告なしに変更することがあります。

寸法: mm

# M551

サイズ(表示サイズ)				55型(1388 mm) (対角)
液晶方式				アクティブマトリクス方式カラー TFT液晶
有効表示領域				1209.60 × 680.40 mm
表示画素数				3840 × 2160
画素ピッチ				0.315 mm
表示色				約10億7374万色
視野角(標準値)				左右178°、上下178° (コントラスト比10)
輝 度				350 cd/m <sup>2</sup> (工場出荷設定標準値) 500 cd/m <sup>2</sup> (最大値) (周囲温度25℃)
コントラスト比(標準値)				1100:1
応答速度(標準値)				8 ms (G to G)
走査周波数	水平周波数			15 -136 kHz
	垂直周波数			23 - 76 Hz
ピクセルクロック				25 - 600 MHz (HDMI/DisplayPort)
入力端子	DisplayPort	DisplayPort コネクター	デジタルRGB信号	DisplayPort(最大4096x2160(60 Hz)、HDCP 1.3/2.2)
	HDMI	HDMI コネクター	デジタル色差信号 デジタルRGB信号	HDMI (最大4096x2160(60 Hz)、HDCP 1.4/2.2)
音声端子	オーディオ入力	DisplayPort コネクター	デジタル音声信号	PCM 32, 44.1, 48 kHz (16, 20, 24 bit)
		HDMI コネクター	デジタル音声信号	PCM 32, 44.1, 48 kHz (16, 20, 24 bit)
	オーディオ出力	3.5φステレオミニジャック×1	音声信号	入力選択された信号を出力：ステレオ L/R 0.5 Vrms
		HDMI (ARC) <sup>*2</sup>	デジタルオーディオ	PCM 32, 44.1, 48 kHz (16, 20, 24 bit)
音声出力				内蔵スピーカー：10 W + 10 W(ステレオ)
制御信号	制御入力コネクター			D-SUB9ピン(RS-232C) × 1
	LANポート			RJ-45 10BASE-T/100BASE-TX
	リモコン入力コネクター			3.5φステレオミニジャック×1
USBポート				メディアプレーヤー用、電力供給用 供給電圧：5 V、最大供給電流：2 A
使用環境条件	温 度			0 ～ 40℃
	湿 度			20 ～ 80 % (結露のないこと)
	高 度			0 - 3000 m
保管環境条件	温 度			-20 ～ 60℃
	湿 度			10 ～ 80 % (結露のないこと)
電 源	電源入力			AC100 V 50/60 Hz
	消費電力 (オプション非使用時)	標準		110 W <sup>*1</sup>
		パワーセーブ時		2.0 W以下 <sup>*1</sup>
		スタンバイ時		0.5 W以下 <sup>*1</sup>
オプションボード供給電力				12 V/5.5 A
質 量				約26.4 kg

外形寸法(突起部を除く)

- ※ 1 工場出荷時の設定条件
- ※ 2 HDMI1のみ



仕様は予告なしに変更することがあります。

寸法: mm

# M651

サイズ(表示サイズ)				65型(1639 mm) (対角)
液晶方式				アクティブマトリクス方式カラー TFT液晶
有効表示領域				1428.48 × 803.52 mm
表示画素数				3840 × 2160
画素ピッチ				0.372 mm
表示色				約10億7374万色
視野角(標準値)				左右178°、上下178° (コントラスト比10)
輝 度				350 cd/m <sup>2</sup> (工場出荷設定標準値) 500 cd/m <sup>2</sup> (最大値) (周囲温度25℃)
コントラスト比(標準値)				1100:1
応答速度(標準値)				8 ms (G to G)
走査周波数	水平周波数			15 -136 kHz
	垂直周波数			23 - 76 Hz
ピクセルクロック				25 - 600 MHz (HDMI/DisplayPort)
入力端子	DisplayPort	DisplayPort コネクター	デジタルRGB信号	DisplayPort(最大4096x2160(60 Hz)、HDCP 1.3/2.2)
	HDMI	HDMI コネクター	デジタル色差信号 デジタルRGB信号	HDMI (最大4096x2160(60 Hz)、HDCP 1.4/2.2)
音声端子	オーディオ入力	DisplayPort コネクター	デジタル音声信号	PCM 32、44.1、48 kHz (16, 20, 24 bit)
		HDMI コネクター	デジタル音声信号	PCM 32、44.1、48 kHz (16, 20, 24 bit)
	オーディオ出力	3.5φステレオミニジャック×1	音声信号	入力選択された信号を出力：ステレオ L/R 0.5 Vrms
		HDMI (ARC) <sup>*2</sup>	デジタルオーディオ	PCM 32、44.1、48 kHz (16, 20, 24 bit)
音声出力				内蔵スピーカー：10 W + 10 W(ステレオ)
制御信号	制御入力コネクター			D-SUB9ピン(RS-232C) × 1
	LANポート			RJ-45 10BASE-T/100BASE-TX
	リモコン入力コネクター			3.5φステレオミニジャック×1
USBポート				メディアプレーヤー用、電力供給用 供給電圧：5 V、最大供給電流：2 A
使用環境条件	温 度			0～40℃
	湿 度			20～80％(結露のないこと)
	高 度			0 - 3000 m
保管環境条件	温 度			-20～60℃
	湿 度			10～80％(結露のないこと)
電 源	電源入力			AC100 V 50/60 Hz
	消費電力 (オプション非使用時)	標準		120 W <sup>*1</sup>
		パワーセーブ時		2.0 W以下 <sup>*1</sup>
		スタンバイ時		0.5 W以下 <sup>*1</sup>
オプションボード供給電力				12 V/5.5 A
質 量				約37.1 kg

外形寸法(突起部を除く)

- ※ 1 工場出荷時の設定条件
- ※ 2 HDMI1のみ



仕様は予告なしに変更することがあります。

寸法: mm

# 付録 A 商標・ライセンスについて

Microsoft® および Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。  
DisplayPort および DisplayPort ロゴは、Video Electronics Standards Association の米国その他の国における商標です。  
HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。  
PjLink および PjLink ロゴは、一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会の日本、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。  
CRESTRON、CRESTRON ROOMVIEW は Crestron Electronics, Inc. の米国その他の国における登録商標または商標です。  
MultiSync は NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。  
その他の社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。  
NaViSet は NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。  
Blu-ray は、Blu-ray Disc Association の商標です。  
TILE COMP および TILE MATRIX は NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。  
Intel および Intel ロゴは、Intel Corporation またはその子会社の商標です。



## 【お知らせ】 本製品で使用している MPEG-4 AVC、MPEG-4 Visual ライセンスについて

### 1. MPEG AVC

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://WWW.MPEGLA.COM)

### 2. MPEG-4 Visual

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NONCOMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://WWW.MPEGLA.COM).

# 付録 B 外部のリソース

本機の仕様、アクセサリやオプションのソフトウェアに関するドキュメントで、取扱説明書にも記載されているものは以下のとおりです。

## 当社の Web サイト

日本 : <https://www.nec-display.com/jp/>

## 補足ドキュメント

### 「NEC LCD Monitor - External Control」(PDF 形式)

RS-232C または LAN を介してディスプレイを外部制御したりディスプレイへの問い合わせをするための通信プロトコルについて記載しています。このプロトコルは符号化バイナリを用いており、チェックサム計算が必要で、ディスプレイのほぼすべての機能を制御できるコマンドです。

詳細は当社 Web サイトを参照ください。

### 「Projector / Monitor Common ASCII Control Command - Reference Manual」(PDF 形式)

LAN を介して、シンプルな英語に似たシンタックスのコマンドでディスプレイの基本機能を外部制御するための通信プロトコルについて記載しています。既存の制御システムに少ない手間ですべて統合化するのに向いています。電源の状態、ビデオ系入力、音量やディスプレイの状態に関する制御や問い合わせといった機能を利用することができます。プロトコルは ASCII にエンコードされており、チェックサム計算は不要です。

詳細は当社 Web サイトを参照ください。

## ソフトウェア

以下ソフトウェアは当社 Web サイトからダウンロードできます。

[https://www.nec-display.com/dl/jp/dp\\_index.html](https://www.nec-display.com/dl/jp/dp_index.html)

### 「NaViSet Administrator」ソフトウェア



当社のディスプレイおよびプロジェクターをネットワークを介して高度に、かつパワフルに制御・監視し、資産を管理するフリーソフトです。Windows および macOS 環境下で動作します。

最新バージョンの「NaViSet Administrator」ソフトウェアは、当社 Web サイトをご確認ください。

## ハードウェア

### MDSVSENSOR 3 USB カラーセンサー

当社製品向けにキャリブレーションされた X-Rite カラーセンサーです。対応アプリケーションで使用できます。詳細については販売店にお問い合わせください。



# 付録 C OSD 調節リスト

## この章の内容：


- ⇒ 入力 (79 ページ)
- ⇒ 映像設定 (81 ページ)
- ⇒ 音声設定 (85 ページ)
- ⇒ スケジュール (86 ページ)
- ⇒ スロット (87 ページ)
- ⇒ ネットワーク (88 ページ)
- ⇒ 保護設定 (89 ページ)
- ⇒ システム (92 ページ)

初期設定値は、当社の Web サイトを参照ください。

# 入力

入力	
入力選択	
DisplayPort	入力信号を選択します。
HDMI 1	
HDMI 2	
Media Player	
COMPUTE MODULE*4	
OPTION*1	
入力設定	
入力名称	現在表示中の入力端子名称を変更できます。アルファベット、数字、一部の記号が使えます。最大文字数は14 文字です。
自動入力切替*2	複数の入力がある場合に、入力信号があるコネクタに自動的に切り替える機能です。選択されているコネクタはリモコンのDISPLAY ボタンを押すとインフォメーションOSD に表示されます。 <div><b>お知らせ</b></div> <ul style="list-style-type: none"><li>「入力信号検出」の動作時に「人感センサー」を実行すると「入力信号検出」は解除されます。</li></ul>
オフ	入力端子を手動で切替えます。
FIRST DETECT*3	現在表示しているコネクタの入力信号が無くなった場合は、入力信号のある他の端子を探して自動的に切り替えます。 現在表示している端子とは別の端子から新たに信号が入力された場合でも、表示は切り替えません。
LAST DETECT*3	現在表示しているコネクタの入力信号が無くなった場合は、入力信号のある他の端子を探して自動的に切り替えます。 現在表示している端子とは別の端子から新たに信号が入力された場合は、表示を切り替えます。
CUSTOM DETECT	入力信号を自動で切り替えるときの優先順位を設定できます。 <div><b>お知らせ</b></div> <ul style="list-style-type: none"><li>「CUSTOM DETECT」を選択すると、「優先順位」を設定していない入力信号には切り替えられません。</li><li>Media Player 入力端子は USB ストレージデバイスが接続されている場合のみ動作します。</li></ul>

入力	
アドバンスド	
入力信号設定	
DisplayPort	
ビットレート	「HBR」または「HBR2」を選択します。
HDMI	HDMI入力の機能を選択します。 設定1:最大解像度3840x2160(30 Hz) 設定2:最大解像度3840x2160(60 Hz)、HDCP 2.2またはHDR
Media Player	<p>メディアプレーヤーの自動再生の設定をおこないます。</p> <p>オフ:自動再生しません。 写真:写真(静止画)ファイルを自動的に再生します。 音楽:音楽ファイルを自動的に再生します。 動画:動画ファイルを自動的に再生します。</p> <p>「オフ」以外を設定すると、以下のような場合にUSBストレージデバイスに保存した「AUTO_PLAY」フォルダー内のファイルを自動的に再生することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「Media Player」を入力信号に設定した状態で電源オフ、オンした場合。</li> <li>・「入力選択」で「Media Player」を設定した場合。</li> </ul> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再生する順番は、ファイル名により決定されます。優先順位は、1. ファイル名の数字(昇順)、2. アルファベット(昇順)です。</li> <li>・「自動入力切替」と合わせて使用すると、入力信号がなくなった際「Media Player」に切り替わり、選択したファイルを自動的に再生することができます。</li> </ul>
オーバースキャン*3	<p>画像表示エリアを選択します。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「スクリーンセーバー」の「モーション」が設定されていると、この機能は操作しません。</li> </ul>
オン	入力信号の約95 %を表示します。
オフ	<p>入力信号のほぼ100 %を表示します。信号によっては、画面の端にノイズが出る場合があります。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HDMI 出力に対応したコンピューターと接続して使用する場合は、「オフ」にしてください。</li> </ul>
自動	入力画像表示エリアを自動設定します。
ビデオレンジ*3	表示する階調範囲を映像信号にあわせ、映像の白飛びや黒浮きを改善します。
ノーマル	コンピューター用の設定です。入力信号の0 ~ 255階調をすべて表示します。
エキスパンド	AV機器用の設定です。入力信号の16 ~ 235階調を0 ~ 255階調に拡張して表示します。
自動	映像信号を検出し「ノーマル」と「エキスパンド」を自動的に切り替えます。通常はこちらを選択してください。
CEC	HDMI-CEC 対応機器を本機に接続する場合に設定します。 CEC はConsumer Electronics Control の略称です。
CEC	<p>「設定1」または「設定2」を選択するとHDMI コネクタに接続したHDMI-CEC 対応機器をリモコンで操作することができます。「設定1」または「設定2」を選択した場合、以下の項目を設定します。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <p>CEC で「設定1」または「設定2」を選択すると以下の動作を実行します。接続する機器によっては正しく動作しない場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HDMI コネクタに接続している HDMI-CEC 対応機器を再生すると、本機の電源が連動してオンし入力信号を HDMI に切り替えます。本機の電源がオンの場合は、入力信号を HDMI に切り替えます。</li> <li>・リモコンで HDMI コネクタに接続している HDMI-CEC 対応機器を操作することができます。</li> <li>・対応するリモコンボタンは以下になります。 設定1: 1 (◀◀)、2 (▶)、3 (▶▶)、5 (■)、6 (⏮)、ENT、EXIT、▲、▼、+、-、MUTE、VOL+、VOL-。 設定2: 0 ~ 9、数字ボタンの-、ENT、EXIT、▲、▼、+、-、GUIDE、MUTE、SET/POINT ZOOM、VOL+、VOL-、CH/ZOOM+、CH/ZOOM-。</li> </ul>

入力		
	自動電源オフ	<p>本機をリモコンのSTANDBY ボタンまたは本体のボタンでスタンバイ状態にしたときに接続しているHDMI-CEC 対応機器の状態も連動してスタンバイ状態にします。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>接続している HDMI-CEC 対応機器が録画など作動中の場合は本機の状態に連動しない場合があります。</li> </ul>
	オーディオレシーバー	<p>ARC対応オーディオ機器を接続する場合、付属の ARC対応HDMIケーブルを使用して本機のHDMI1 (ARC) 端子に接続してください。</p> <p>「許可」を選択した場合は、接続した ARC対応オーディオ機器から音声を出力し、本機の内蔵スピーカーはミュート(消音)になります。</p> <p>「禁止」を選択した場合は、本機の内蔵スピーカーから音声を出力し、接続しているARC対応オーディオ機器の音声はミュート(消音)になります。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オーディオレシーバーの設定を切り替えると音声が出力されるまでに時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。</li> </ul>
	デバイス検索	<p>本体のHDMI コネクターに接続されているHDMI-CEC 対応機器を検索します。</p> <p>「する」を選択すると接続されているHDMI-CEC 対応機器を検索し、その種類と登録名称を表示します。</p> <p>検索が完了した場合または検索できなかった場合はデバイス検索の選択が「しない」に移動します。</p> <p>再度検索をおこなう場合は「する」を選択してください。検索後に表示されるデバイスを選択することで入力を切り替えることができます。</p>
	シグナルフォーマット	HDMI/DisplayPort入力時、信号の種類をRGBと色差から選択できます。通常は「自動」を選択してください。
	サイドパネル <sup>*3</sup>	<p>映像のない部分の色を調節します。</p> <p>+ボタンを押すと、白く(明るく)なり、-ボタンを押すと、黒く(暗く)なります。</p>
	リセット	「入力名称」、「自動入力切替」以外の入力の各設定が工場出荷時の状態に戻ります。

\*1： 対応するオプションボード装着時のみ。対応可能なオプションボードについては販売店へお問い合わせください。

\*2： 機器によっては正しく検出できない場合があります。

\*3： 「Media Player」を除く。

\*4： 動作しません。

## 映像設定

映像設定	
ピクチャーモード	使用する環境に適した映像設定にしたり、任意の設定ができます。
標準	標準の映像設定です。
店舗	サイネージ、ブランディングに適した映像設定です。
会議室	テレビ会議等に適した映像設定です。
高輝度	外光の明るい環境に適した映像設定です。
交通機関	公共施設等の設置に適した映像設定です。
CUSTOM	任意の設定をおこないます。

映像設定	
バックライト	<p>画像の明るさをバックライトで調節します。 +ボタンと-ボタンで画面をお好みの明るさに調節してください。通常の明るさ調節にはこちらをお使いください。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「外光センサー」で「オン」が選択されている場合は変更できません。</li> </ul>
バックライトデミング	「オン」を選択すると、映像内容に応じてバックライト制御を細分化し、画面の明るさを自動的に調節します。
ビデオブラックレベル	画面の黒レベルを設定します。液晶パネルの特性などにより目標値に達しない場合、文字色が緑色に変化します。
ガンマ	グレーなど、中間色の明るさを調節します。
NATIVE	ガンマ補正をオフし、液晶パネルの階調特性で表示します。
2.2	コンピュータで一般的な特性です。
2.4	DVD やBlu-ray などビデオ機器で一般的な特性です。
S GAMMA	暗い部分をより暗く、明るい部分をより明るく表示します。画像の明暗が強調されるため映画などに適します。実際の診断には使用しないでください。
DICOM SIM.	医療業界で用いられるDICOM に近似したガンマ調節値に設定します。
PROGRAMMABLE 1、2、3	対応するアプリケーションから詳細なガンマ特性を設定できます。
色のこさ	
色のこさ	<p>色のこさを調節します。 +ボタンを押すと濃くなり、-ボタンを押すと薄くなります。</p>
色温度	<p>白色の色温度を調節します。 色温度が低くなると画面が赤っぽくなり、高くなると画面が青っぽくなります。さらに細かい調節をおこなう場合、R/G/B レベルをそれぞれ変更できます。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ガンマ」で「PROGRAMMABLE 1」、「PROGRAMMABLE 2」または「PROGRAMMABLE 3」が選択されている場合は機能しません。</li> </ul>
カラーコントロール	指定の色の色相を調節します。例えば赤色を黄色もしくは紫色に変化させることができます。
コントラスト	<p>コントラストを調節します。 +ボタンと-ボタンで画面をお好みのコントラストに調節してください。</p>
アドバンスド	
HDR MODE	本機がHDR信号を検出した場合、「弱」、「中」、「強」からお好みのガンマ特性が選択できます。
シャープネス	<p>文字や画像のキレを調節します。 +ボタンを押すとシャープになり、-ボタンを押すとソフトになります。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調節によっては線が二重になる場合があります。この場合はシャープネスの設定を下げてください。</li> </ul>

映像設定		
	アスペクト	<p>画像のアスペクトを選択します。詳細は本取扱説明書の機能アスペクト変更を参照ください。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「スクリーンセーバー」を設定すると「アスペクト」は自動的に「フル」になります。スクリーンセーバーを解除すると、設定されたアスペクトになります。</li> <li>・「スクリーンセーバー」の「モーション」が設定されているとこの機能は操作しません。</li> <li>・ZOOM 機能において画面を縮小して使用した場合、画像が劣化する可能性があります。</li> <li>・画面を縮小して表示している場合、「水平位置」、「垂直位置」の設定を変更しても表示されている画像に変化はありません。</li> <li>・4K 信号を入力している場合、「ZOOM」は使用できません。</li> </ul>
	標準	比率を変えずに、できるだけ大きく表示します。
	フル	比率を変えて、画面いっぱいに表示します。
	ワイド	16:9 のレターボックス信号を画面いっぱいになるよう表示します。 画像のアスペクトによっては画像の一部が表示されない場合があります。
	1:1	画像サイズそのまま表示します。入力信号の解像度が推奨解像度を超える場合、画像サイズを小さくし画面に合うよう表示します。
	ズーム	<p>画像を拡大/ 縮小します。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拡大表示した場合、表示エリアから出た部分の画像は表示しません。縮小で表示した場合、画像が劣化することがあります。</li> </ul>
	ZOOM	水平、垂直比を維持して画像を拡大します。
	HZOOM	水平のみが拡大／縮小します。
	VZOOM	垂直のみが拡大／縮小します。
	H POS	[ + ] で右へ移動、[ - ] で左へ移動します。
	V POS	[ + ] で上へ移動、[ - ] で下へ移動します。
	アダプティブコントラスト*2	画像に合わせてコントラストを自動的に調節する機能です。「強」を選択すると明暗がはっきりした表示になりますが、明るさの変化が不自然になる場合があります。

映像設定	
オートデミング	画面の明るさを自動的に調節する機能です。
オートブライトネス	映像内容に応じて画面の明るさを自動的に調節する機能です。
外光センサー	<p>室内の明るさに応じて画面の明るさを自動的に調節する機能をもっています。「オン」に設定すると、室内の明るさの状態に応じてディスプレイの明るさを自動的に調節します。</p> <p>「オン」を選び、バックライトの最大値、明るいときと暗いときのバックライト値を設定します。</p> <p>明るい時:室内が明るい状態のときの設定 照度—室内が明るい状態での明るさのレベル バックライト—室内が明るい状態でのバックライトの最大値</p> <p>暗い時:室内が暗い状態のときの設定 照度—室内が暗い状態での明るさのレベル バックライト—室内が暗い状態でのバックライトの下限值</p> <p>状況:現在の「照度」と「バックライト」の状態</p> <p>「暗い時」での「バックライト」設定値</p> <p>「明るい時」での「バックライト」設定値</p> <p>バックライトの調節範囲</p> <p>バックライトの範囲</p> <p>0% 100%</p> <p>暗い 室内の明るさ 明るい</p> <p>L - 「暗い時」での「照度」設定値 H - 「明るい時」での「照度」設定値</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「オン」を選択すると「バックライト」は変更できません。</li> </ul> <p><b>お願い</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「外光センサー」選択時には、センサーが障害物の陰にならないよう注意してください。</li> </ul>
人感センサー*1	<p>人感センサーによる省電力機能を選択します。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「人感センサー」で「オートオフ」または「CUSTOM」が選択されている場合、パワーセーブ機能は動作しません。</li> <li>・「人感センサー」動作時に「入力信号検出」を実行すると「人感センサー」は解除されます。</li> </ul>
オフ	「人感センサー」を使用しません。
オートオフ	人が離れたことを感知し、設定した時間が経過すると、自動的にパワーオフの状態になります。人を感知すると元の状態に復帰します。
CUSTOM	人が離れたことを感知し、設定した時間が経過すると、自動的に画面の明るさ、音量、入力が「バックライト」、「音量」、「入力選択」で設定した値になります。人を感知すると明るさと音量は元の状態に戻り、入力選択で設定した入力信号が表示されます。

映像設定		
	タイルマトリクス	<p>タイルマトリクスは画面を分割してマルチスクリーンで表示する機能です。また、画像を水平および垂直に最大10分割できます。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「タイルマトリクス」を実行しているときに、メディアプレーヤーの画像を再生すると、各ディスプレイは同期していないため、表示タイミングに差が生じることがあります。</li> <li>・分配器を使って映像信号を各々のディスプレイへ接続することが必要です。</li> <li>・「アスペクト」で「ZOOM」が設定されている場合、「フル」の設定になります。「タイルマトリクス」実行後は設定された「アスペクト」の表示に戻ります。</li> <li>・「タイルマトリクス」動作時に「アスペクト」の設定を「ZOOM」に変更した場合、「タイルマトリクス」解除後に反映されます。</li> <li>・低い解像度の映像信号は多数のディスプレイを使用するマルチスクリーン表示には適していません。</li> <li>・「タイルマトリクス」動作時に「スクリーンセーバー」の「モーション」でオフ以外を実行すると「タイルマトリクス」は解除されます。</li> <li>・入力信号 4K 信号の場合、「タイルマトリクス」は動作しません。</li> </ul>
	水平モニター数	水平分割数を設定します。
	垂直モニター数	垂直分割数を設定します。
	位置	拡大したい部分を選択します。
	TILE COMP	<p>画面を複数のディスプレイに分割して表示する場合、より自然に見えるようにディスプレイのつなぎ目の表示方法を変更する機能を選択します。</p> <p>+ ボタンまたは-ボタンで表示画面の位置やサイズを微調節することもできます。</p>
	設定反映	「する」を選択した場合、タイルマトリクスの各設定を適用します。
	リセット	「ピクチャーモード」以外の映像設定の各設定が工場出荷時の状態に戻ります。

\*1：別売のリモートコントロールキットのセンサーユニット接続時のみ。センサーユニットについては販売店にお問い合わせください。

\*2：RGB 信号を除く。

## 音声設定

音声設定	
音声モード	使用する環境に適した音声効果の設定にしたり、任意の設定ができます。
標準	標準の音響設定です。
店舗	店舗等でのサイネージ用途に適した音響設定です。
会議室	電話会議やテレビ会議に適した音響設定です。
高輝度	視覚的なメッセージを強調するための音響設定です。無音状態になります。
交通機関	公共施設等の設置に適した音響設定です。無音状態になります。
CUSTOM	任意の設定をおこないます。
音量	音量を調節します。ラインアウトの音量は「サラウンド」が「オフ」で、「ラインアウト」が「連動」のときのみ調節できます。
バランス	音声の出力を「ステレオ」か「モノラル」かを設定します。
ステレオ/モノラル	「ステレオ」に設定すると左右の音声バランスが調節できます。「モノラル」に設定した場合、「バランス」は動作しません。
バランス	+ボタンを押すと右側の音が大きくなり、-ボタンを押すと左側の音が大きくなります。
サラウンド	スピーカー出力音声が擬似サラウンドになります。



音声設定	
イコライザー	
高音	高音域の音量を調節します。 +ボタンを押すと高い音が強くなり、-ボタンを押すと高い音が弱くなります。
低音	低音域の音量を調節します。 +ボタンを押すと低い音が強くなり、-ボタンを押すと低い音が弱くなります。
アドバンスト	
ラインアウト	「連動」を選択すると本体の+ / -ボタンまたはリモコンのVOL + /VOL -ボタンでオーディオ音量を調節できます。「固定」を選択すると音量は固定されます。
音声遅延	
音声遅延	「オン」を選択すると遅延時間が反映されます。
遅延時間	音声が出力されるまでの遅延時間を調節します。遅延時間は0 ～ 100 ミリ秒の間で設定できます。
内蔵スピーカー	「オフ」を選択すると内蔵スピーカーの出力を停止します。
リセット	「音声モード」以外の音声設定の各設定が工場出荷時の状態に戻ります。

## スケジュール

スケジュール	
スケジュール情報	<p>本機の動作スケジュールを設定します。 △ / ▽ボタンで項目を移動し、+ / -ボタンで調節します。 本体のINPUT/SET ボタンまたはリモコンのSET/POINT ZOOM ボタンでチェックボックスのチェックを「オン」/「オフ」することができます。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「スケジュール」を設定する前に、必ず「日付／時刻設定」で現在の日付を設定してください。</li> <li>・スケジュール設定画面を閉じると設定した値が保存されます。</li> <li>・複数のスケジュールが同時刻に設定されている場合は、プログラム番号の大きいスケジュールを優先します。</li> <li>・「オフタイマー」が動作中の場合は、「スケジュール設定」を実行しません。</li> <li>・スケジュール設定画面を開いている間スケジュールは実行されません。</li> </ul>
設定	最大14 件設定することができます。「オン」にするとスケジュールが有効になります。
電源制御	電源制御の「オン」、「オフ」を設定します。 スケジュールを設定した各チェックボックスごとに「オン」または「オフ」を設定してください。
時刻	スケジュールを実行する時間を設定します。
入力	スケジュールを実行時に使用する入力信号を設定します。スケジュール実行前に選択されていた入力信号から変更しない場合は「ー」を設定してください。 入力を設定する際は「電源制御」を「オン」に設定してください。
日付	特定の日付を指定する場合に年/ 月/ 日を設定します。
年	
月	
日	
毎週	毎週同じ曜日にスケジュールを実行する場合、実行する曜日のチェックボックスにチェックを付けます。
オフタイマー	<p>自動的に本機がスタンバイ状態になるまでの時間を設定します。設定可能時間は1 時間～24 時間です。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「オフタイマー」を「オン」にすると、スケジュールは動作しません。</li> </ul>
リセット	「サマータイム」と「オフタイマー」以外のスケジュールの各設定が工場出荷時の状態に戻ります。

# スロット

スロット	
ACTIVE SLOT	使用するオプション用スロットを選択します。
OPTION*1	接続されているオプションボードの設定をおこないます。
POWER CONTROL	
電源供給	オプション用スロットに接続されている機器への電力供給を設定します。
電源ボタン	接続されているオプションの電源ボタンと同様の動作をおこないます。
強制シャットダウン	「する」を選択するとオプション用スロットに接続されている機器の電源を強制的に切ります。 <b>お願い</b> オペレーティングシステムの問題などにより、手動で電源を切ることができない場合のみ使用してください。
リセット	「電源ボタン」、「強制シャットダウン」が機能しない場合のみ使用してください。 <b>お知らせ</b> 接続された機器のデータが破損する可能性があります。
Connection Status*3	オプション用スロットに接続されている機器の状態を表示します。
Power Status*3	オプション用スロットに接続されている機器の動作状態を表示します。
Module*3	オプション用スロットに接続されている機器の情報を表示します。
POWER SETTING	
AUTO POWER UP	ディスプレイが表示状態になったときに、接続されているオプションボードを起動します。
AUTO SHUTDOWN*2,*4	ディスプレイが待機状態になったときに、接続されているオプションボードの電源を切ります。
電源オフ遅延	「スロット電源」を「オフ」に設定している場合、「AUTO SHUT DOWN」実行後に電源供給を切断するまでの時間を設定します。
AUTO DISPLAY OFF	オプション用スロットに接続されている機器がスタンバイ状態やパワーセーブモードになるときに、本機も同期してスタンバイ状態やパワーセーブモードになるかを設定します。
OFF WARNING	オプション用スロットに接続されている機器への電力供給が無くなるときにメッセージを表示するかどうかを設定します。「電源供給」が「オフ」のときのみ設定できます。
COMPUTE MODULE	(本機は動作しません)
POWER CONTROL	
電源供給	
電源ボタン	
リセット	
Connection Status	
Power Status	
Module	
POWER SETTING	
AUTO POWER UP	
AUTO SHUTDOWN	
電源オフ遅延	
AUTO DISPLAY OFF	
OFF WARNING	
アドバンスト	
シャットダウン シグナル	
IR 信号	
モニタ制御	
WDT	

スロット		
	START UP TIME	
	PERIOD TIME	
スロット電源	<p>オプション用スロットに接続されている機器への電力供給を設定します。  自動:オプション用スロットに機器が接続されている場合は、本機がパワーセーブモード、スタンバイ状態でもオプション用スロットに電力を供給し続けます。  オプション用スロットに機器が接続されていない場合は、本機がパワーセーブモード、スタンバイ状態に移行すると、オプション用スロットに電力は供給されません。  オン:本機がパワーセーブモードまたはスタンバイ状態でも、オプション用スロットに電力を供給し続けます。  オフ:本機がパワーセーブモードまたはスタンバイ状態に移行すると、オプション用スロットに接続されている機器に電力は供給されません。</p> <p><b>お願い</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ オプションボードがコンピューターの場合は「自動」または「オン」に設定してください。</li> </ul>	
リセット	「電源供給」以外のスロットの各設定が工場出荷時の状態に戻ります。	

- \*1： オプション用スロットに対応するオプションボードが装着されているときのみ設定できます。対応可能なオプションボードについては販売店にお問い合わせください。設定を変更した場合は、本機の主電源を入れなおしてください。
- \*2： 対応するオプションボード装着時のみ。対応可能なオプションボードについては販売店へお問い合わせください。
- \*3： オプションボードによっては正しく表示されない場合があります。
- \*4： オプションボードがコンピューターのときは、コンピューター側のシャットダウン設定をご確認ください。

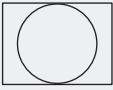
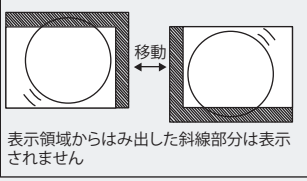
## ネットワーク

ネットワーク		
ネットワーク情報	ネットワークの設定をします。	
IP設定	<p>本機を接続するネットワークが、DHCP サーバーによってIP アドレスを自動的に割り当てる場合は、「自動」を選択します。自動的に割り当てられない場合は、「手動」を選択し、下の「IP アドレス」、「サブネットマスク」、および「デフォルトゲートウェイ」を設定してください。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「IP 設定」を「自動」にしている場合の IP アドレスは、ネットワーク管理者にご確認ください。</li> </ul>	
IPアドレス	「IP 設定」が「手動」の場合に、本機を接続するネットワークにおける本機のIP アドレスを設定します。	
サブネットマスク	「IP 設定」が「手動」の場合に、本機を接続するネットワークのサブネットマスクを設定します。	
デフォルトゲートウェイ	<p>「IP 設定」が「手動」の場合に、本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設定を削除する場合は、[0.0.0.0] を設定します。</li> </ul>	
DNS	<p>本機を接続するネットワークがDNS サーバーによってIP アドレスを自動的に割り当てる場合は、「自動」を選択します。自動的に割り当てられない場合は「手動」を選択し、下の「優先DNS サーバー」および「代替DNS サーバー」を設定してください。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「DNS」を「自動」に設定している場合の IP アドレスは、ネットワーク管理者にご確認ください。</li> </ul>	
優先DNSサーバー	<p>本機を接続するネットワークの優先DNS サーバーのIP アドレスを設定します。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設定を削除する場合は、[0.0.0.0] を設定します。</li> </ul>	
代替DNSサーバー	<p>本機を接続するネットワークの代替DNS サーバーのIP アドレスを設定します。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設定を削除する場合は、[0.0.0.0] を設定します。</li> </ul>	
MACアドレス	MAC アドレスを表示します。	
実行	[実行]を選択すると設定が反映されます。	

ネットワーク	
ネットワークセキュリティ	<p>ネットワーク経由でおこなう機能の「有効」/「無効」を設定します。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <p>ネットワーク経由でファームウェアのリビジョン更新をおこなう際は、「ディスプレイ」を「有効」に設定してください。</p>
ディスプレイ	<p>ディスプレイを制御する機能の「有効」/「無効」を設定します。</p> <p>無効に設定すると以下の機能が無効になります。</p> <p>外部制御、メール通知、HTTP サーバー機能、SNMP、Crestron、AMX、PJLink</p>
COMPUTE MODULE	(本機は動作しません)
APPLY	APPLY で「する」を選択すると設定した内容が反映されます。
PING	プリセットのIPアドレスで、通信の応答を確認します。
IPアドレス	PING を送る「IP アドレス」を設定します。
実行	設定した「IP アドレス」に対してPING を送信し、返答の有無を確認します。
リセット	「ネットワーク情報」と「PING」以外のネットワークの各設定が工場出荷時の状態に戻ります。

## 保護設定

保護設定	
パワーセーブ設定	
パワーセーブ	<p>パワーセーブの「許可」/「禁止」を設定します。</p> <p>「許可」を設定した場合、入力信号が失われてパワーセーブに移行すると「モード」で選択した状態になります。パワーセーブに移行するまでの時間を設定することができます。パワーマネジメント機能については本取扱説明書の機能「電源オンモードと電源オフモード」を参照ください。</p> <p>「禁止」を設定した場合、パワーセーブには移行しません。本体の電源ボタンまたはリモコンの電源ボタンをオフにしたり、スケジュール機能の「電源制御」や外部コマンドで本機の電源がオフになると、「モード」で選択した状態になります。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「人感センサー」*<sup>1</sup> で「オートオフ」または「CUSTOM」が選択されている場合、パワーセーブ機能は動作しません。</li> <li>入力信号が無い場合でもビデオカードによっては信号を送り続けてしまうことがあります。この場合、パワーセーブに移行しません。</li> </ul> <p>*<sup>1</sup>：別売のリモートコントロールキットのセンサーユニット接続時のみ。センサーユニットについては販売店にお問い合わせください。</p>
時間設定	パワーセーブに移行する時間を設定します。入力信号が失われ設定した時間が経過するとパワーセーブ機能が動作します。
モード	<p>「最大省電力」を設定した場合、接続している機器の信号が入力されても自動的に復帰しません。この場合、信号ケーブルを差しなおすか、リモコンまたは本体の電源ボタンでオンにしてください。</p> <p>「通常省電力」を設定した場合、接続している機器の信号が入力されると自動的に復帰します。外部制御(→<a href="#">54ページ</a>)をお使いの場合は「通常省電力」をおすすめします</p>
USB	
USB電源	<p>USB ポートへの電源供給の設定ができます。</p> <p>スタンバイ時に電源供給する場合は「オン」を選択してください。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>接続している USB 機器により消費電力は変わります。</li> </ul>
パワーセーブメッセージ	パワーセーブに入るときに表示されるメッセージの表示、非表示を設定します。
クイック起動	「許可」を設定した場合、消費電力は大きくなりますが、映像信号が入力したときのディスプレイの復帰時間が早くなります。

保護設定	
温度管理	
ファン制御	<p>冷却ファンの制御設定をおこないます。 「オン」を選択すると冷却ファンがファンスピードで設定された速さで常時動作します。 「自動」を選択すると内部センサー温度が設定温度以上になったときに、自動的に冷却ファンが動作します。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>冷却ファンは内部センサー温度が設定温度以上になったとき、または「ファン制御」で冷却ファン「オン」を選択したときに動作します。</li> </ul>
ファンスピード	<p>設定温度を超えたときのファンが回る速さを2種類から設定できます。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内部センサー温度が動作保証温度以上になったときは、ファンは常に「高速」のスピードで回ります。</li> </ul>
ディスプレイ	<p>本機の内部温度の状態を表示します。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内部温度が動作保証温度以上になったとき、画面が暗くなります。 この場合、画面上に「温度警告!!」の警告が表示されます。</li> </ul>
ファン可動状態	ディスプレイに取り付けられている内部ファンの状況を表示します。
内部温度	本機の内部温度を表示します。
スロット	オプション用スロットの内部温度を表示します。
ファン可動状態	オプション用スロットのファンの状態を表示します。
内部温度	オプション用スロットの内部温度を表示します。
システムファン条件	オプション用スロットからのシステムファン動作要求の有無を表示します。
OPTION	
COMPUTE MODULE	(本機は動作しません)
スクリーンセーバー	<p>スクリーンセーバーを設定します。 本機能は液晶パネルにかかる負担を軽減させるものです。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>画像の「アスペクト」は「フル」になります。「スクリーンセーバー」を解除すると、設定された「アスペクト」になります。</li> <li>「スクリーンセーバー」が動作している場合、「アスペクト」、「オーバースキャン」は動作しません。</li> <li>4K 信号を入力している場合、「スクリーンセーバー」は動作しません。</li> <li>リモコンの STILL ボタンを押したり「タイルマトリクス」を実行すると、「スクリーンセーバー」は解除されます。</li> </ul>
モーション	<p>表示内容をわずかに上下左右に動かして、液晶パネルの残像を軽減させる機能です。表示内容が動くため、画面端部分に表示されている内容は表示されない場合があります。常に全体を表示する場合は、「ズーム」で99% 以下を選択してください。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> <p>拡大率100%以上</p>  </div> <div style="margin-right: 10px;"> <p>モーション</p>  </div> </div> <p>表示領域からはみ出した斜線部分は表示されません</p>
パワーオンディレイ	スタンバイから電源オンモードになるまでの時間を設定します。
遅延時間	遅延時間は0 ～50 秒の間で設定できます。
ID連動	<p>[遅延時間] をディスプレイの ID にリンクします。これにより、複数のディスプレイが同時にオンになった場合に発生する可能性のある電力サージが抑えられます。 モニター ID の数が大きいほど、ディスプレイの電源がオンになるまでの遅延が長くなります。 たとえば、モニター ID が 20 で、[遅延時間] が 5 秒の場合は、POWER ON ボタンが押されてから、実際に電源がオンになるまでにかかる時間は 95 秒です。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <p>[遅延時間] が 0 秒に設定されている場合は、[ID 連動] の遅延はありません。電源を遅れてオンにするには、遅延時間を 1 秒以上にする必要があります。</p>

保護設定	
セキュリティ設定	セキュリティ機能を設定します。
パスワード	パスワードを入力します。
SECURE MODE	
START-UP LOCK	電源オン時にセキュリティ機能のパスワードを要求します。
CONTROL LOCK	本体のボタンまたはリモコンのボタンを押したときにセキュリティ機能のパスワードを要求します。
パスワード変更	セキュリティ機能のパスワードを変更します。パスワードの初期値は「0000」です。
現在のパスワード	現在のパスワードを入力します。
新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。
パスワードの確認	「パスワードの確認」にもう一度新しいパスワードを入力します。
ロック設定	<p>リモコン、本体のボタン、または両方の操作をロックする機能です。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「IR」はリモコンのボタンロック機能です。本体コントロールパネルのボタン操作を制限する機能ではありません。</li> <li>リモコンのDISPLAY ボタンを5 秒以上押し続けると、すべてのリモコンボタン操作が有効になります。</li> <li>コントロールロックモード機能により、ボタンをさわっても調節した画面が変わらないように操作ボタンをロックします。本体の▽ボタンと△ボタンを同時に3 秒間以上押すとロックできます。本体の▽ボタンと△ボタンを再度同時に3 秒間以上押すとロックを解除します。</li> </ul>
選択	操作をロックする対象を、「IR」、「KEY」または「KEY & IR」から選択します。
モード	「モード」で「UNLOCK」、「ALL LOCK」または「CUSTOM LOCK」を選択します。「実行」を選択すると設定が反映されます。
UNLOCK	すべてのボタンの操作が可能です。
ALL LOCK	すべてのボタンの操作がロックされます。
CUSTOM LOCK	電源、音量、入力の各ボタン操作を個別にロックすることができます。「CUSTOM LOCK」での設定を除き、すべてのボタンの操作はロックされます。
電源	「無効」を選択した場合、POWER ON ボタンがロックされます。
音量	<p>「選択」が「IR」の場合：</p> <p>有効：リモコンのVOL +ボタンとVOL –ボタンは動作します。</p> <p>無効：リモコンのVOL +ボタンとVOL –ボタンはロックされます。</p> <p>「選択」が「KEY」の場合：</p> <p>有効：本体の+ボタンと–ボタンは動作します。</p> <p>無効：本体の+ボタンと–ボタンはロックされます。</p> <p>「選択」が「KEY &amp; IR」の場合：</p> <p>有効：リモコンのVOL +ボタンとVOL –ボタン、本体の+ボタンと–ボタンは動作します。</p> <p>無効：リモコンのVOL +ボタンとVOL –ボタン、本体の+ボタンと–ボタンはロックされます。</p>
最小音量設定/ 最大音量設定	最低音量と最大音量を、VOL.0 からVOL.100 の間で設定します。設定した範囲内で、音量の調節ができます。
入力	<p>「選択」が「IR」の場合：</p> <p>有効：リモコンの入力切替ボタンが動作します。</p> <p>無効：リモコンの入力切替ボタンがロックされます。</p> <p>「選択」が「KEY」の場合：</p> <p>有効：本体のINPUT/SETボタンが有効になります。</p> <p>無効：本体のINPUT/SETボタンがロックされます。</p> <p>「選択」が「KEY &amp; IR」の場合：</p> <p>有効：リモコンの入力切替ボタンと本体のINPUT/SETボタンが有効になります。</p> <p>無効：リモコンの入力ボタンと本体のINPUT/SETボタンがロックされます。</p>
実行/解除	「実行」を選択すると設定が反映されます。
ALERT MAIL	有効にする場合は「オン」を選択してください。詳細は本取扱説明書の「HTTPを使用したブラウザーによるネットワークの設定」内の「メール通知設定」を参照ください。
リセット	「パワーオンディレイ」と「セキュリティ設定」以外のセキュリティ設定が工場出荷時の状態に戻ります。



# システム

システム	
モニターインフォメーション	モデル名、シリアルナンバー、CO2 削減量、CO2 排出量を表示します。CO2 削減量は電源オン時およびパワーマネジメント機能動作時の積算した省エネ効果をCO2 削減量(kg-CO2) で表示します。CO2 排出量は計算によって求めた概算値であり、実測値とは異なります。またオプション機器を接続していない場合の計算値です。 注: CO2 削減量は、OECD( 経済協力開発機構)2008 年Edition の世界標準CO2- 電力量換算値に基づいて算出しています。
ファームウェア	ファームウェアのリビジョンを表示します。
MACアドレス	MAC アドレスを表示します。
日付/時刻設定	
年	<b>お知らせ</b> 本機の主電源オフのまま約 2 週間以上経過すると時計機能が停止します。この場合は「日付 / 時刻設定」を再度おこなってください。
月	
日	
時刻	
日付時刻	現在の時刻を表示します。
サマータイム	
サマータイム	サマータイム(日本で使用する場合は設定しないでください)
開始月	「オン」を設定した場合、以下で設定した「サマータイム」を実行します。
終了月	サマータイムの開始月/ 日/ 時間を設定します。
時差	サマータイムの終了月/ 日/ 時間を設定します。
外部制御	「現在時刻」と「サマータイム」の時差を設定します。
モニターID	コントロール用のID 番号を与えます。モニターID 番号は1 ~100、グループID 番号はA ~J の間で選べます。 モニターID 番号は以下の場合に使用します。 ・ リモコンを ID モードで使用する場合 ・ グループ ID 番号は 1 つのディスプレイに複数設定できます。
グループID	
外部制御端子	
外部制御端子	制御する端子を選択します。
言語選択	
OSD	
OSD時間	OSD メニューを表示する時間の設定をします。 10 秒~240 秒の間で設定ができます。
OSD位置	OSD メニューを表示する位置を調節します。 +ボタンを押すと画面の右へ移動し、-ボタンを押すと画面の左へ移動します。 ▲ボタンを押すと画面の上へ移動し、▼ボタンを押すと画面の下へ移動します。
OSDサイズ	OSD画面の文字サイズを変更します。
インフォメーションOSD	インフォメーションOSD の表示を設定します。「インフォメーションOSD」は入力の切替えや入力信号の状態が変化したとき、または入力信号が異常なときに画面に表示されるメッセージです。
IP情報	「オン」を選択するとインフォメーションOSDにIPアドレスを表示します。 表示される内容はOSD メニューの「ネットワーク」→「ネットワーク情報」で設定します。
OSD方向	OSD メニューの表示方向を設定します。
ランドスケープ	横型設置した場合に見やすい方向でOSD メニューを表示します。 縦型設置した場合に見やすい方向でOSD メニューを表示します。 <b>お知らせ</b> 一部の機能は「ランドスケープ」表示時のみ設定変更可能です。「ランドスケープ」時の設定は、「ポートレート」時にも適用されます。
ポートレート	
キーガイド	OSD メニューを表示しているときにキーガイドを表示する機能です。

システム	
クローン設定	<p>現在制御中のディスプレイの設定値をUSBストレージデバイス(FAT16、FAT32)を使って他のディスプレイにコピーできます。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コピーされる項目については当社 Web サイトを参照ください。</li> </ul>
全入力信号	すべての入力ターミナルの設定をコピーします。初期設定は「しない」です。
入力	チェックが付いている項目がコピーの対象となります。
映像設定	
音声設定	
スケジュール	
スロット	
ネットワーク	
保護設定	
システム	
HTTP	
コピー開始 USB読み	USBストレージデバイスに書き込まれた設定を読み出し、接続したディスプレイに設定を上書きします。
コピー開始 USB書き	「する」にカーソルを合わせ、SET/POINT ZOOM ボタンを押してUSBストレージデバイスにコピーを開始します。
電源ランプ	「オフ」を選択すると電源ボタン入(青色点灯)のとき、電源ランプを消灯することができます。
ミュート設定	<p>ディスプレイの音声出力とビデオ出力をミュートすることができます。</p> <p>音声: リモコンの MUTE ボタンを押すと音声を出力しません。</p> <p>映像: リモコンの MUTE ボタンを押すと映像を出力しません。</p> <p>音声&amp;映像: リモコンの MUTE ボタンを押すと音声と映像を出力しません。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <p>以下の場合、ミュート設定が解除されます。</p> <p>「入力」を変更した場合、主電源スイッチのオフ / オン、リモコンや本体の電源ボタンでのオフ / オン、パワーセーブから復帰した場合、「ミュート設定」を変更した場合、「音声モード」を変更した場合、リモコンや本体キーで音量を変更した場合、映像信号(解像度 / 走査周波数)を変更した場合。</p>
ファームウェア更新	FIRMWAREイメージファイル(PACファイル)を保存したUSBストレージデバイス(FAT16、FAT32)を本機に接続し、ファームウェアをアップデートします。
リセット	「言語選択」、「OSD方向」、「キーガイド」、「日付/時刻設定」以外のシステムの各設定が工場出荷時の状態に戻ります。
オールリセット	
リセット	すべての設定が工場出荷の状態に戻ります。



# 付録 D その他

## この章の内容：

- ⇒ 本機を廃棄するには（リサイクルに関する情報）（95 ページ）
- ⇒ 保証とアフターサービス（95 ページ）

# 本機を廃棄するには（リサイクルに関する情報）

本製品は「資源有効利用促進法」に基づく指定再資源化製品です。希少資源の再利用のため、不要になった製品のリサイクルにご協力ください。詳しくは当社 Web サイトをご参照ください。

「ディスプレイのリサイクル」について

<https://www.nec-display.com/jp/environment/recycle/display.html>

## 法人のお客様（産業廃棄物として廃棄される場合）

当社は資源有効利用促進法に基づき、回収・リサイクルシステムを構築し、積極的に資源の有効利用につとめています。回収・リサイクルのお見積り・お申し込みについては上記 Web サイトをご参照ください。

## 個人のお客様

“PC リサイクルマーク”のシールが貼り付けられている当社製品は、ご家庭からの排出時、新たな料金負担を頂くことなく、当社が責任を持って回収・リサイクルいたします。

※ “PC リサイクルマーク”のない製品は、排出時、お客様に回収・リサイクル料金をご負担頂きます。

※ 本機をご購入いただいた個人のお客様には、お申込みいただくことにより、無償で“PC リサイクルマーク”を提供いたします。

お申し込み方法は上記 Web サイトをご参照ください。



リサイクル

PC リサイクルマーク

# 保証とアフターサービス

- この商品には保証書を添付しています。  
保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。  
内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店にご相談ください。  
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- その他、アフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店または修理受付 / アフターサービス窓口にご相談ください。

法人ユーザー様の窓口
NEC ビジネス PC 修理受付センター
フリーコール：0120-00-8283
携帯電話をご利用のお客様はこちらの番号へおかけください。 0570-064-211（通話料お客様負担）
受付時間：月～金 9:00 ～ 18:00 休日は、土曜・日曜・祝日および年末年始等の所定休日とさせていただきますので、ご了承願います。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- |                          |                       |
|--------------------------|-----------------------|
| ●お名前                     | ●製造番号（本機背面のラベルに記載）    |
| ●ご住所（付近の目標など）            | ●故障の症状、状況など（できるだけ詳しく） |
| ●電話番号                    | ●購入年月日または使用年数         |
| ●品 名：マルチシンク液晶ディスプレイ      |                       |
| ●型 名：M431/M491/M551/M651 |                       |